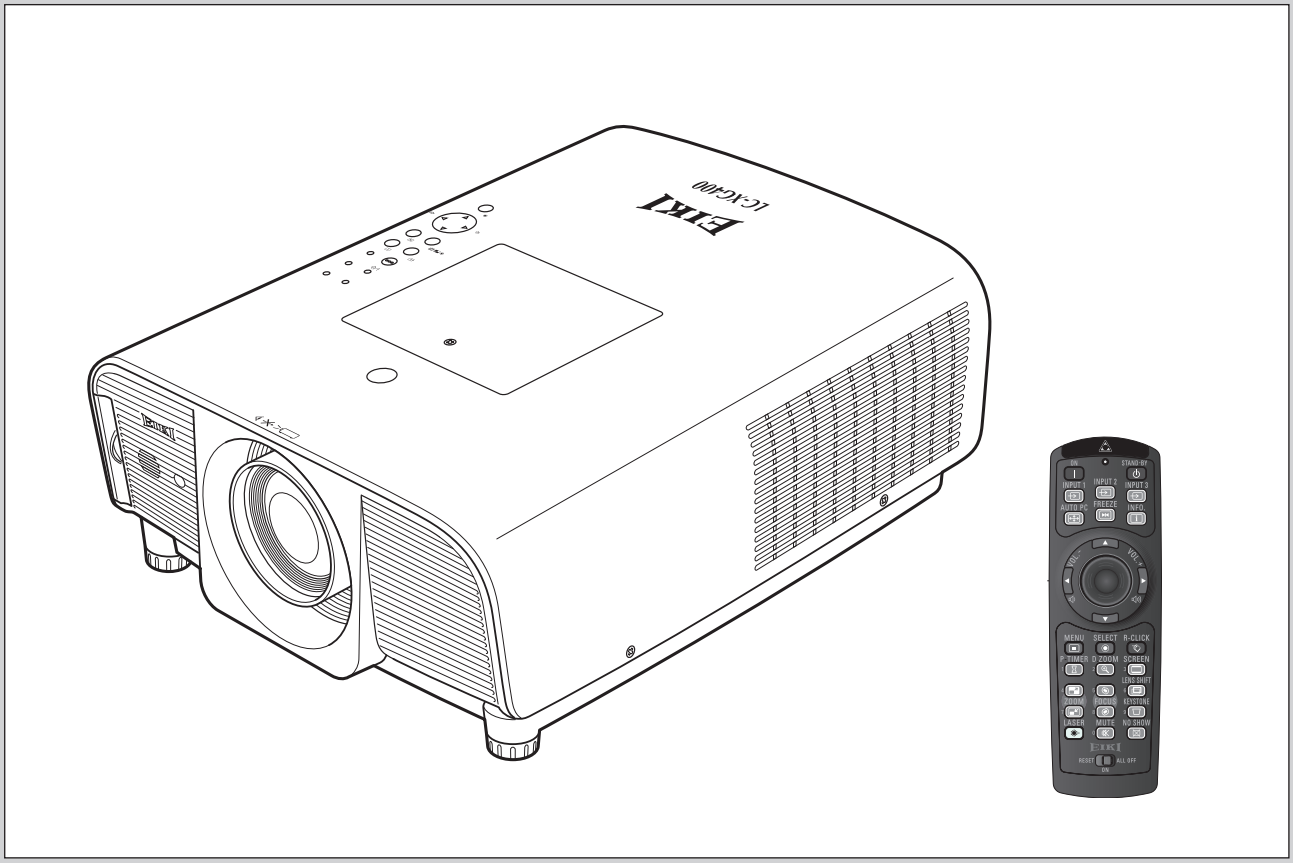
EIKI

液晶プロジェクター

LC-XG400D 型
LC-XG400DL※型
取扱説明書

※ レンズは別売です。



このたびは EIKI 液晶プロジェクターをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。とくに 4 ～ 13 ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。わからないことがあったときなどにお役に立ちます。

PJLink™

映機工業株式会社

LC-XG400D の特長

LC-XG400D はレンズを搭載しています。LC-XG400DL はレンズは別売です。

高　精　細

1024 x 768 ドットの高解像度液晶パネル採用。
- XGA 画像をリアル表示。SXGA、WXGA、UXGA を圧縮表示

DVI-D（デジタル ビジュアル インターフェイス）搭載
- デジタル ビジュアル インターフェイス（DVI-D） 入力端子により、コンピュータの画像をより鮮明に再現。
- HDCP 技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投影できます。

5-BNC 映像入力端子を装備
- アナログ RGB 信号およびコンポーネント信号に対応し、DVD や HDTV などを高画質で再生。

プログレッシブ スキャン
- プログレッシブスキャンの採用により、映像をより高画質に投影します。

高　設　置　性

さまざまな設置環境に対応
- 垂直方向 360 度フリー設置可能。
- 天吊り、リア投映可能。
- テストパターン内蔵。
- 設置しやすいセンターレイアウトデザイン。

上下左右・電動レンズシフト機能搭載
- 上下に 0 ～ 50%、左右に± 15% 可変。

回転式ワンタッチ・レンズ交換機構
- カメラのレンズ交換と同様の機構を備え、簡単に交換可能。

ネットワークオプション対応
- ネットワークオプションによる遠隔操作が可能。

高　機　能

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能
- コンピュータの信号の判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャン システム」と「自動 PC 調整」機能。
- 見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投影できる「デジタル ズーム」機能。（コンピュータ モード時）
- 投影画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタル キーストーン (台形補正)」機能。
- 音声を一時的に消す「MUTE」機能・画面を一時的に消す「NO SHOW」機能・画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
- プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER (プレゼンテーション タイマー)」機能。
- 「アンプ・スピーカ」内蔵で音響施設のない出先等でもプレゼンテーションが可能。

高機能ワイヤレスリモコン付き
- プロジェクターおよび接続したコンピュータの両方の操作が可能。
- プレゼンテーション時に便利なレーザポインタ機能。
- レーザポインタをスポットライトやポインタ表示に切り替えることも可能。
- ワイヤードリモコンでの遠隔操作が可能。

高　信　頼　性

信頼性を高める機能
- ワンウェイ吸排気機構。
- フィルター目詰まり検知機能。
- 電力の節約を助ける、パワーマネージメント機能。
- ランプの明るさを調整できる、ランプモード機能。

暗証番号を登録してセキュリティー強化
- 「ロゴ暗証番号ロック」と「暗証番号ロック」機能で、第三者の不正使用や誤作動を防ぐことができます。

～本説明書中の記号について～

	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や 、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
[ボタン] 名	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタン名称を示しています。 例： [SELECT] ボタン 、[INPUT 1] 端子
「メニュー」名	メニューの項目を示しています。 例：「インプット」、「キーストーン」

＊本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

もくじ

安全上のご注意 4
正しくお使いいただくために・・・・・・・・・・・・ 9

準　備 14
付属品を確認してください・・・・・・・・・・・・ 14
本体各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
機器をつなぐ端子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
操作パネルのボタン・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
リモコンのボタン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
リモコンの準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

設置・接続 22
レンズの取り付けおよび交換のしかた・・・ 22
設置のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
接続の例～コンピュータ・・・・・・・・・・・・・・ 25
接続の例～ビデオ機器 -1 ・・・・・・・・・・・・・ 26
接続の例～ビデオ機器 -2 ・・・・・・・・・・・・・ 27
電源コードを接続する・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

基本操作 29
プロジェクターの基本操作・・・・・・・・・・・・・ 29

メニューの操作 38
オンスクリーンメニューの操作方法・・・・・ 38

入力の選択 40
入力を切り替える・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
ビデオシステムの選択・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
コンピュータシステムの選択・・・・・・・・・・・・ 43

画面の調整 44
コンピュータシステムの調整・・・・・・・・・・・・ 44
イメージを調整する・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
画面サイズを調整する・・・・・・・・・・・・・・・・ 50

各種機能の設定 55
「セッティング」メニューで
各種機能の設定をする・・・・・・・・・・・・・・・・ 55

その他の機能 68
リモコンでコンピュータを操作する・・・・・ 68
ポインタの操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69

保守とお手入れ 70
ランプの交換・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
お手入れについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
内部の温度上昇について・・・・・・・・・・・・・・ 73
インジケータ表示と
プロジェクターの状態・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
故障かなと思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76

付　録 78
コンピュータシステムモード一覧・・・・・・・ 78
メニュー内容一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
仕　様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
別売品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83

保証とアフターサービス 88

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警 告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注 意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

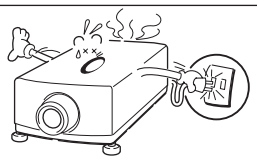
■絵表示の例

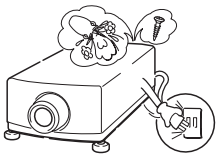
△	注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。 △ の中に具体的な注意内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「感電注意」を意味します。
⃠	してはいけない行為（禁止事項）を示しています。 ⃠ の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「分解禁止」を意味します。
●	しなければならない行為を示しています。 ● の中に具体的な指示内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「電源プラグをコンセントから抜け」を意味します。

⚠ 警 告

警　告

電源プラグを
コンセントから抜け





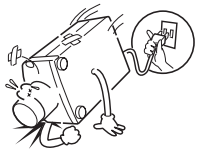
下記のような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

・煙が出ている
・変なにおいや音がする
・水など液体が本機の内部に入った
・金属類や異物が本機の内部に入った
・画面が映らない
・音が出ない
・大きな音が出てランプが消えた

このような異常状態や故障状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

警　告

電源プラグを
コンセントから抜け

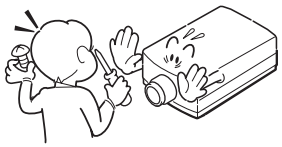


万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

分解禁止

感電注意



本機のキャビネットは外さないでください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

禁　止

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

※１つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐタコ足配線もしないで下さい。

禁　止

水ぬれ禁止

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

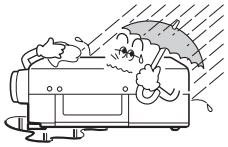
⚠ 警 告

風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

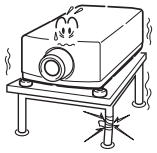
水ぬれ禁止



本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

禁　止

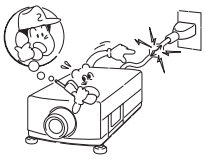


不安定な場所に置かないでください。

ぐらついた台の上や、傾いた所、高い棚の上など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

※「天吊り」設置をするときは、専用の金具が必要です。お買い上げの販売店にご相談下さい。

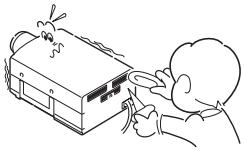
禁　止



電源コードの取扱に注意してください。

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。
  コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
  コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。
- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ･ごみ･汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くには特にご注意を）

禁　止



吸気口・排気口にご注意下さい。

- ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。
- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。

感電の原因となります。

⚠ 警 告

禁　止

本機を改造しないでください。

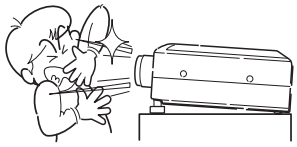
火災・感電の原因となります。

アース線を接続せよ

アース線を接地してください。

本機は接地端子の付いた 3 ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を設置してください。（詳しくは、28 ページをご覧ください。）

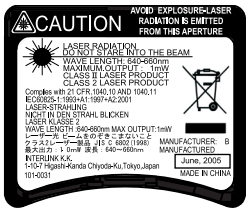
警　告



使用中はレンズをのぞかないでください。

強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。吸気口や排気口ものぞかないでください。

警　告

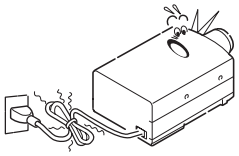


レーザ光にご注意下さい。

リモコンのレーザポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

⚠ 注 意

禁　止



電源コードの取扱いにご注意下さい。

- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。

禁　止

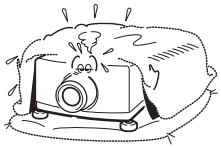
以下のような場所には置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。

⚠ 注 意

禁 止



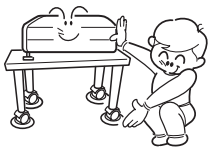
ご使用のときは、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 設置のときは、ファンの排気口を壁から 1 メートル以上あけてください。
- 空調設備の排気ダクト付近などに設置しないでください。
- 次のような使い方はしないでください。
  * 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
  * 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
  * じゅうたんや布団の上に置く。
  * テーブルクロスなどを掛ける。
- また、壁など、周囲のものから じゅうぶんにはなし、風通しをよくしてください。（上方 20cm、側面・後面 50cm、排気口 1m 以上）

注 意



キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。

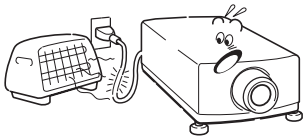
動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁 止

本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。

特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁 止



電源コードを熱器具に近づけないでください。

コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。

禁 止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

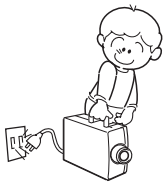
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。

電源プラグを
コンセントから抜け



移動させる場合は、電源コードにご注意下さい。

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、移動してください。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になることがあります。また、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注 意

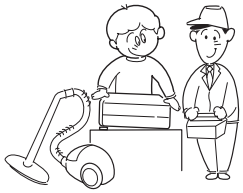
電源プラグを
コンセントから抜け

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
感電の原因となることがあります。

電源プラグを
コンセントから抜け

長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

注　意



長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。
掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

正しくお使いいただくために

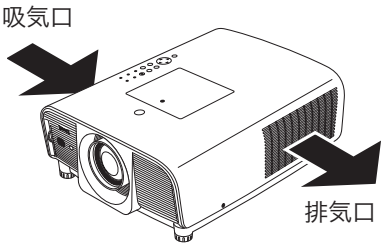
持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。
持ち運ぶときは、レンズの保護のためにレンズキャップをはめ、専用のケースに納めて運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。輸送用の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

設置するときは次のことに注意してください

● 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。
・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
・観葉植物やペットを置かないでください。
・熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
・排気口付近には視聴席を設けないでください。



熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。

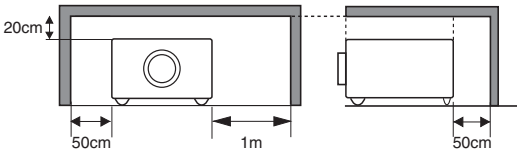
● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲	5℃～ 35℃	保管温度範囲	− 10℃～ 60℃

● 壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください ●

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。
（上方 20cm、側面・後面 50cm、排気口 1m 以上）



● 結露にご注意 ●

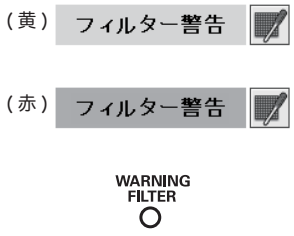
低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

エアフィルターを定期的に掃除してください

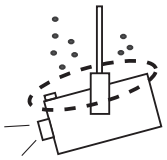
吸気口のエアフィルターは、プロジェクター内部の光学部品（レンズやミラー）をホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクターを冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。長期間プロジェクターの安全と性能を維持するためには、エアフィルターを定期的に掃除することが必要です。掃除の目安はプロジェクターをご使用になる環境によって異なります。通常の生活環境でプロジェクターをご使用になる場合は、約 200 時間のご使用のたびにエアフィルターの掃除をされることをおすすめします。ホコリや煙が多い場所でプロジェクターをご使用になる場合、その状況によってこまめに掃除を行なってください。エアフィルターの掃除の手順は 72 ページをご覧ください。

エアフィルターお掃除時期をお知らせする表示について

本機には、エアフィルターの掃除時期をお知らせする「フィルター警告」機能があります。掃除周期を設定しその時間に達すると表示する黄色の警告と、エアフィルターの目詰まりを検知して表示する赤色の警告の 2 種類があります。
詳細については、66 ページをご覧ください。
また、操作パネル上の [FILTER WARNING] インジケータでも同様にお知らせします。[FILTER WARNING] インジケータは、上記の黄色の警告と同時期に点灯し、赤色の警告と同時期に点滅してお知らせします。



天井から吊り下げてご使用になるときに



天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルターの掃除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取りのぞいてください。

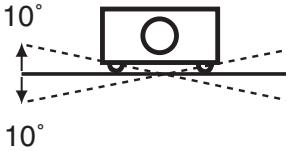
注　意

正しい方向に設置してください

プロジェクターを安全にご使用頂くため、プロジェクターは必ず指定の方向でご使用ください。
指定以外の方向でご使用になると、プロジェクターの寿命を縮めるのみならず、火災や事故の原因となります。
プロジェクターは水平面に対して、上、下 360 度方向で、スクリーンに対し直角に投影可能です。
斜め上向きに設置する場合は、裏返し設置してください。 ☞61 ページ
画像の上下または左右が逆さまに映っているときは、「天吊り」機能を「オン」にしてください。 ☞54、81 ページ

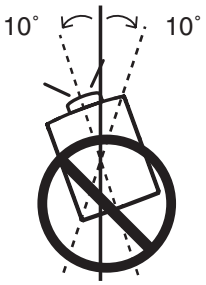
使 用 禁 止 方 向

以下の方向では使用しないでください。



傾きは 10˚以内に

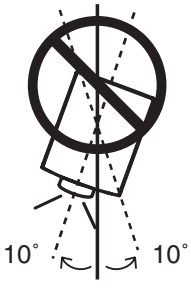
プロジェクターを左右方向の傾きは各 10 度以内としてください。



プロジェクターの水平軸を 10 度以上傾けて上方向に投影しないでください。

横置き禁止

プロジェクターを横に立てて使用しないでください。



プロジェクターの水平軸を 10 度以上傾けて下方向に投影しないでください。

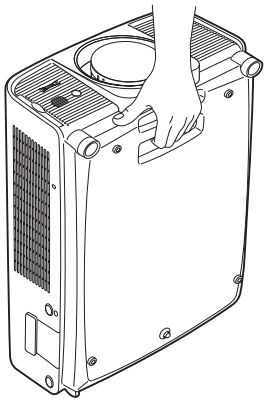
天井から吊り下げてご使用になるときのご注意：
天井から吊り下げてご使用になるときは、この機種用の天井取付金具が必要です。正しく設置しないと、プロジェクターが落下して事故やケガの原因になります。天井取付金具については、お買い上げの販売店にご相談ください。推奨品以外の天井取付金具を使用したり、不適切な場所に天井取付金具を取り付けたために発生した損傷については、本製品の保証の対象外となります。

プロジェクター取り扱い上のご注意

プロジェクターを動かすときは、プロジェクターを以下の状態にしてから動かしてください。

注　意

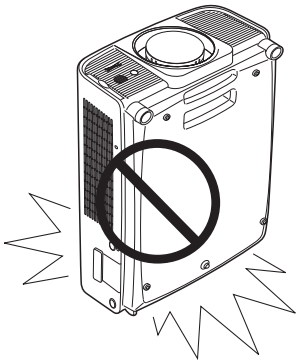
- プロジェクターの接続ケーブルをはずします。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因になります。
- レンズにレンズキャップを取り付けます。
- 調整脚をおさめます。



本体底面のグリップを持って運びます。

注　意

- プロジェクターをたたいたり、衝撃を与えたりしないでください。破損の原因になります。
- プロジェクターを立てて置くときは、はじめに置く場所が水平か、また異物が無いか確認してください。異物があったり、置く場所に突起があると、破損の原因となります。

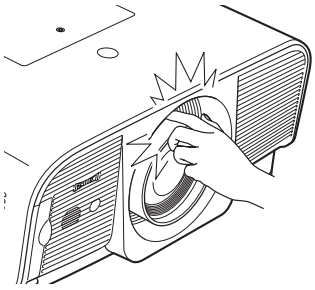


接触禁止

指挟み注意

本機は、レンズシフト機能により、モーターでレンズが上下左右に動きます。

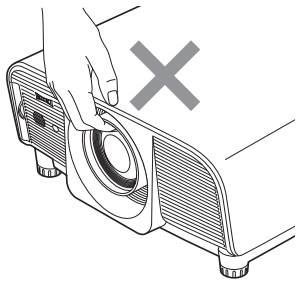
- レンズが動いているときは、レンズに触れないでください。指のはさみ込みによるけがの原因となります。
- お子様がレンズに触れないように注意してください。



プロジェクターを持ち抱えるときのご注意

注　意

レンズ取り付け後、プロジェクターを設置するとき、レンズには必ずレンズ保護キャップをしてください。また、プロジェクター本体を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部は絶対に持たないでください。プロジェクターを破損する原因になります。



⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（[LAMP REPLACE] インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談センターへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠ 使用済みランプの廃棄について

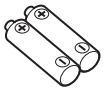
プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

付属品を確認してください

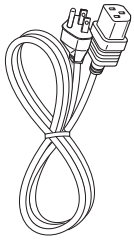
プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

❶ リモコン(CXWC)

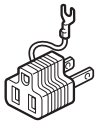
❷ リモコン用アルカリ乾電池(単四形2本)



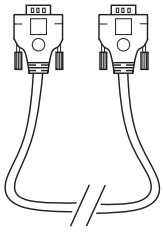
❸ 電源コード



❹ 電源プラグアダプタ

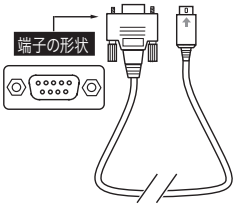


❺ コンピュータ接続ケーブル(D-sub 用)

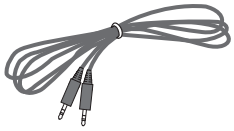


❻ USBケーブル

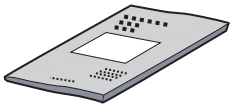
❼ シリアルコントロールケーブル



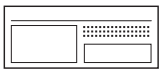
❽ リモコン接続ケーブル



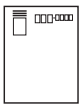
❾ 取扱説明書(本書)



❿ 保証書

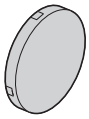


⓫ 保証登録書(はがき)



⓬ PIN code lock シール *

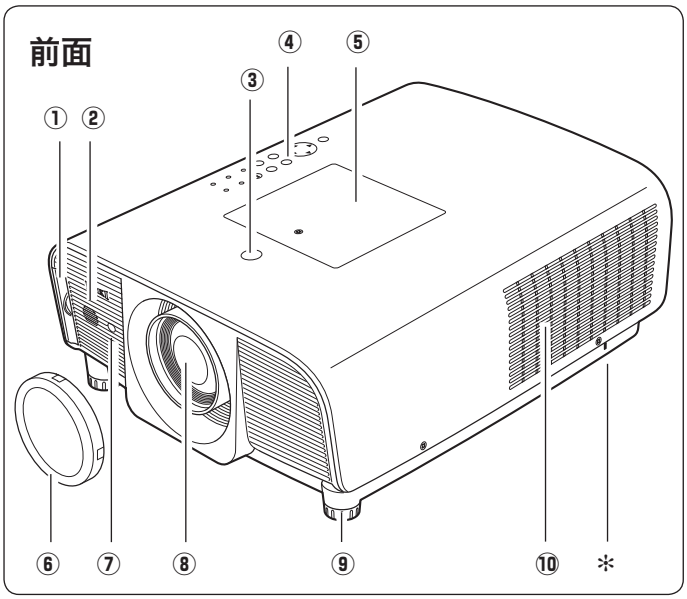
⓭ レンズキャップ ※

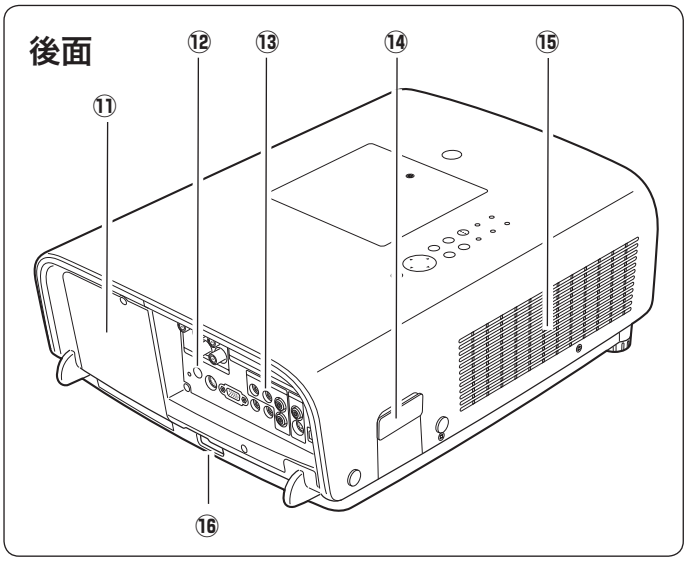


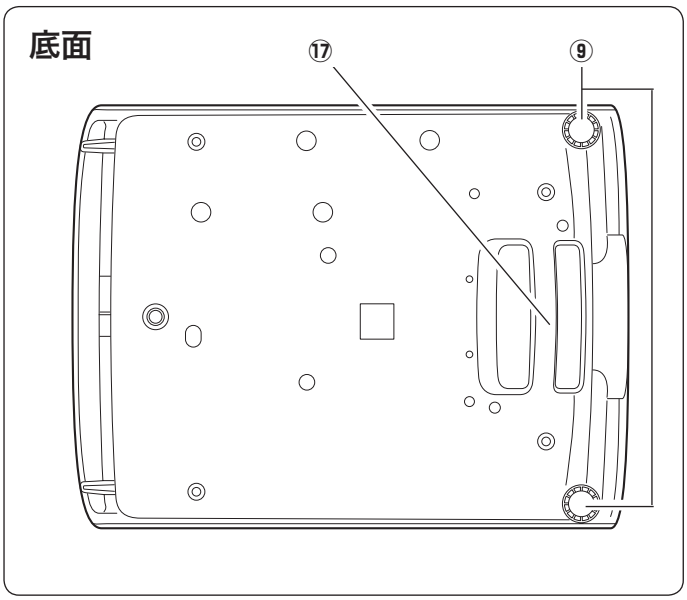
※ LC-XG400D のみ付属しています。LC-XG400DL はレンズは別売ですので、レンズの代わりにレンズカバーが付いています。

* 暗証番号を登録し、プロジェクターをロックしたとき、プロジェクター本体の目立ちやすい箇所に貼り付け、プロジェクターがロックされていることを表示するのにご使用ください。☞86 ページ

本体各部の名称







⚠ ご使用中、天面は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。

① エアフィルター
② スピーカ
③ レンズ取りはずしボタン
④ 操作パネル・インジケータ
⑤ メンテナンスカバー ※1
⑥ レンズキャップ ※2 (LC-XG400D のみ)
⑦ リモコン受信部（前）
⑧ レンズ (LC-XG400D のみ)
⑨ 調整脚
⑩ 排気口 ※3
⑪ ランプカバー
⑫ リモコン受信部（後）
⑬ 後面端子
⑭ オプション取り付け部
⑮ 吸気口 ※4
⑯ 電源コード接続ソケット
⑰ グリップ

✻ 盗難防止用ロック穴
盗難防止用のチェーンなどを取り付けるときに使用します。

※1

⚠ サービスマンがメンテナンスするときに使用します。お客様ご自身でカバーを開けないでください。内部にホコリなどが入ると、性能を損なう原因になります。

※2

⚠ ランプ点灯中はレンズキャップをかならずはずしてください。レンズキャップをつけたまま点灯すると、レンズキャップの変形および火災の原因となります。

※3

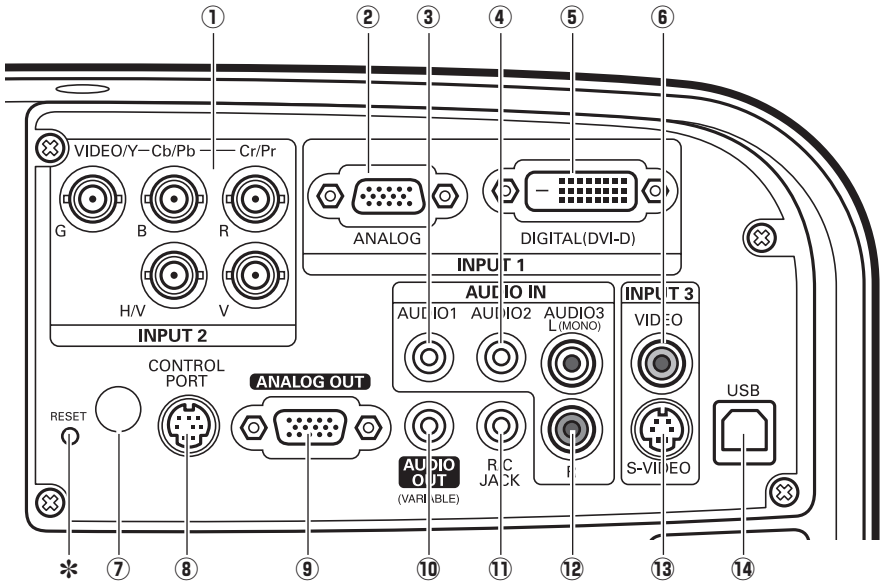
⚠ スプレーなど、引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすいものを近くに置かないでください。火事の原因となります。

※4

⚠ 内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

機器をつなぐ端子

後面端子



① INPUT 2（コンピュータ / ビデオ / コンポーネント入力端子） ☞25 ～ 27 ページ
コンピュータからのアナログ信号 (G,B,R,H/V,V) またはビデオ機器からの映像信号 (VIDEO) またはコンポーネント信号 (Y,Cb/Pb,Cr/Pr) を入力します。接続には市販の BNC ケーブルを使います。

② INPUT 1 ANALOG（コンピュータ D-sub 入力端子） ☞25 ページ
コンピュータからの出力（D-sub 15 ピン / アナログ）を接続します。接続には付属のコンピュータ接続ケーブル（D-sub 用）を使います。

③ AUDIO IN 1（音声入力端子） ☞25、27 ページ
INPUT 1 に接続された、コンピュータまたはビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。

④ AUDIO IN 2（音声入力端子） ☞25、27 ページ
INPUT 2 に接続された、コンピュータまたはビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。

⑤ INPUT 1 DIGITAL（コンピュータ DVI-D 入力端子） ☞25、27 ページ
DVI 規格対応の端子を持つコンピュータからのデジタル信号を接続する DVI-D 端子です。接続には市販のコンピュータ接続ケーブル（DVI-D 用）を使います。

⑥ INPUT 3 VIDEO IN（ビデオ入力端子） ☞26 ページ
ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。

✻ リセットボタン

本機の制御は内蔵のマイクロコンピュータによって行なわれていますが、まれにマイクロコンピュータの誤動作により、本機が正しく操作できないことがあります。そのような場合、リセットボタンを先の細い棒等で押して本機の再起動を行なってください。それ以外の場合は、リセットボタンを押さないでください。

⑦ リモコン受信部（後面） ☞21 ページ
リモコン受信部は前面にもあります。

⑧ CONTROL PORT（コントロールポート端子）
コンピュータからシリアルデータでプロジェクターを操作するときに使用します。また、サービスマンがサービス時に使用します。

⑨ ANALOG OUT（モニター出力端子） ☞25 ページ
INPUT 1 ～ 2 に接続された、投影中のコンピュータ画面の映像を外部映像機器へ出力する端子です。

⑩ AUDIO OUT（音声出力端子）（可変） ☞25 ～ 27 ページ
INPUT 1 ～ 3 に接続された、投影中のコンピュータまたはビデオ画面の音声を外部のオーディオ機器へ出力する端子です。

⑪ R/C JACK（リモートコントロール端子） ☞21 ページ
この端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を付属のリモコン接続ケーブルでつなぐと、ワイヤードリモコンとなり、リモコンの向きに関係なくプロジェクターの操作ができます。

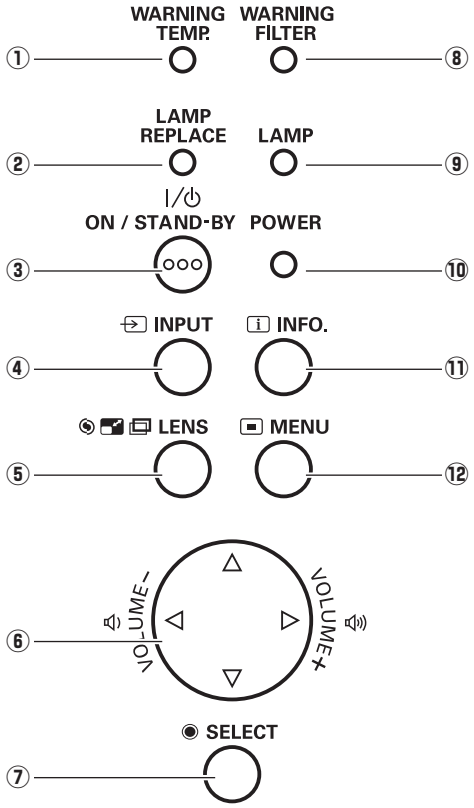
⑫ AUDIO IN 3（音声入力端子） ☞26 ページ
INPUT 3 に接続された、ビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。モノラルの音声は［L (MONO)］端子へ接続してください。

⑬ INPUT 3　S-VIDEO IN（S 映像入力端子） ☞26 ページ
ビデオ機器からの S 映像出力をこの端子に接続します。

⑭ USB（USB 端子：シリーズ B） ☞68 ページ
コンピュータのマウス操作をプロジェクターのリモコンで行なうときに、この端子とコンピュータの USB 端子を付属の USB ケーブルで接続します。

操作パネルのボタン

操作パネル



① WARNING TEMP. インジケータ

☞73、74 ページ

赤く点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。

② LAMP REPLACE インジケータ

☞70、75 ページ

ランプの交換時期を知らせます。

③ ON / STAND-BY ボタン ☞30、32 ページ

電源を入り・切りします。

④ INPUT ボタン ☞33、40 ページ

インプット（入力）を切り替えます。

⑤ LENS ボタン ☞33 ページ

このボタンを押すごとに、ズーム調整、フォーカス調整、レンズシフト調整の各調整モードに入ります。

⑥ ポイント（VOLUME）ボタン ☞37、38 ページ

オンスクリーンメニューのポインタの移動や音量の調節、「デジタルズーム +」での画像の移動に使用します。

⑦ SELECT ボタン ☞38、53 ページ

ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

⑧ WARNING FILTER インジケータ

☞72、75 ページ

橙色に点滅して、フィルターの目詰まりによる清掃時期が近いことをを知らせます。また、橙色に点灯して、フィルターの清掃時期が過ぎていることを知らせます。

⑨ LAMP インジケータ ☞74 ページ

ランプが正常に点灯しているときに点灯します。

⑩ POWER インジケータ ☞30、74 ページ

プロジェクターの状態を示します。

点灯：動作中、またはスタンバイ状態です。
点滅：ランプの冷却中、またはパワーマネージメントモードがはたらいています。

⑪ INFO. ボタン ☞35 ページ

メニューのインフォメーションを表示します。

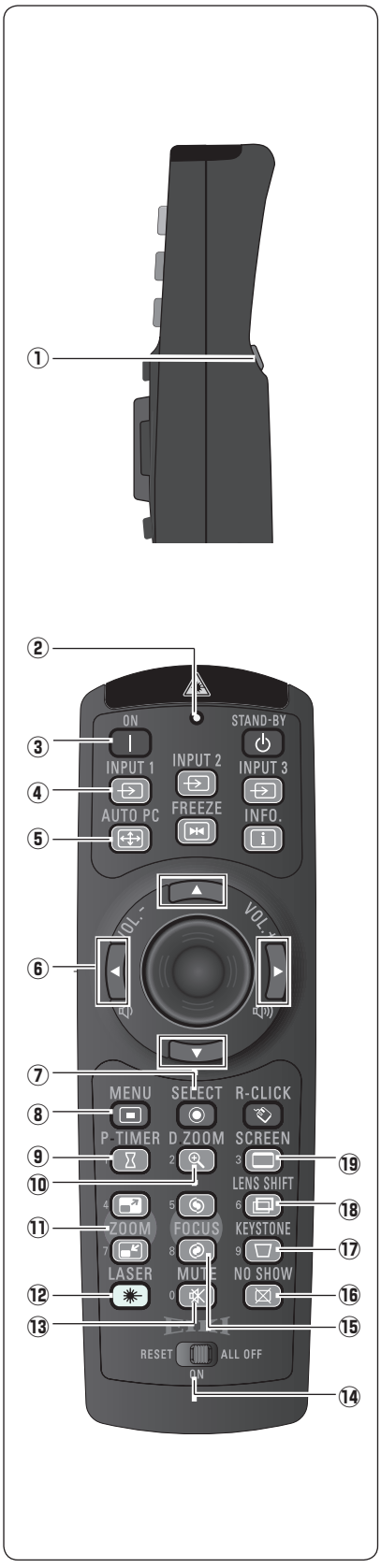
⑫ MENU ボタン ☞38 ページ

メニューバーを表示します。

全てのインジケータが点滅しているとき

プロジェクターの内部の異常が検知されています。電源は入りません。☞73、74 ページ

リモコンのボタン



① **左クリックボタン** 68 ページ
コンピュータマウスの左クリックのはたらきをします。

② **レーザポインタインジケータ** 69 ページ
レーザポインタ (レーザ光) が出ているとき、またはプロジェクターへ信号を送信しているときに赤く点灯します。

③ **ON ボタン** 30 ページ
電源を入れます。

④ **INPUT1 ボタン** 33、40 ページ
入力を INPUT1 に切り替えます。

⑤ **AUTO PC ボタン** 35、44 ページ
トラッキング・総ドット数・水平位置・垂直位置を自動調整します。

⑥ **POINT ボタン** 38 ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動やメニューの調整、音量の調整、「デジタルズーム +」での画像の移動に使用します。

⑦ **SELECT ボタン** 38 ページ
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

⑧ **MENU ボタン** 38 ページ
メニューバーを出します。

⑨ **P-TIMER ボタン** 36 ページ
プレゼンテーション (ボタンを押してからの) 経過時間を表示させます。

⑩ **D.ZOOM ボタン** 34 ページ
デジタルズームモードに入ります。

⑪ **ZOOM ボタン** 33 ページ
ズームを調整します。

⑫ **LASER ボタン** 69 ページ
レーザポインタ (レーザ光) を出します。また、ポインタ機能のオン･オフの切り替えスイッチとしても使います。

⑬ **MUTE ボタン** 37 ページ
音声を一時的に消します。

⑭ **RESET/ON/ALL-OFF スイッチ** 20 ページ
リモコンを長時間使用しないときは、「ALL OFF」側にしてください。
リモコンコードを初期設定に戻すときは、「RESET」側に切り替えます。

⑮ **FOCUS ボタン** 33 ページ
フォーカスを調整します。

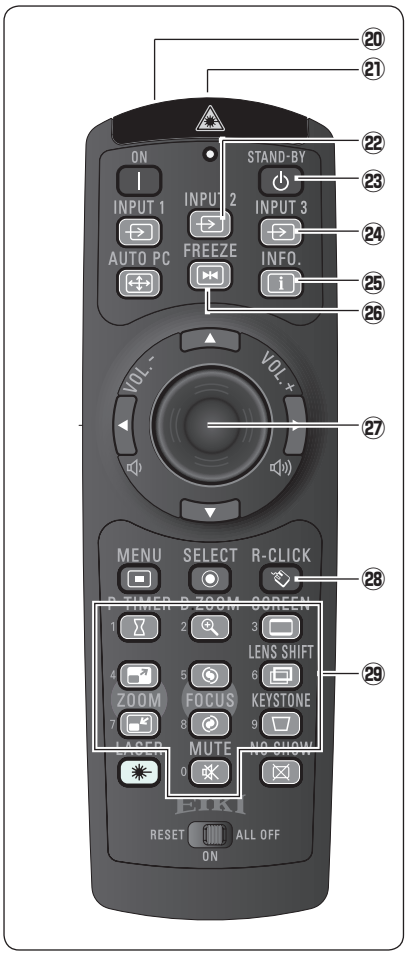
⑯ **NO SHOW ボタン** 36 ページ
画面を一時的に消します。

⑰ **KEYSTONE ボタン** 34 ページ
画面の台形ひずみ (あおり) を補正します。

⑱ **LENS SHIFT ボタン** 33 ページ
レンズを上下左右にスライドさせて、画面の位置を上下左右に移動させます。

⑲ **SCREEN ボタン** 34 ページ
画面サイズを選択します。

⑳ 以降は次ページへ



⑳ **レーザポインタ発光部** ☞69 ページ

㉑ **ワイヤードリモコン端子** ☞21 ページ

ワイヤードリモコンとして使用するときは、付属のリモコン接続ケーブルでこの端子とプロジェクターのリモコン端子 (R/C JACK) を接続します。
✻ リモコンに電池は必要です。

㉒ **INPUT2（インプット） ボタン** ☞40 ページ

入力を INPUT2 に切り替えます。

㉓ **STAND–BY（スタンバイ） ボタン** ☞32 ページ

電源を切り、待機状態にします。

㉔ **INPUT3（インプット） ボタン** ☞40 ページ

入力を INPUT3 に切り替えます。

㉕ **INFO.（インフォ） ボタン** ☞35 ページ

投影中の信号状況やセッティングの状況を表示します。

㉖ **FREEZE（フリーズ） ボタン** ☞36 ページ

画面を一時的に静止させます。

㉗ **プレゼンテーション / ポインタ / マウス操作用ボタン**
☞68 ページ

スポットライト・ポインタ機能または、コンピュータのマウスとして使用します。

㉘ **R-CLICK（R-クリック）（右クリック）ボタン** ☞68 ページ

コンピュータマウスの右クリックのはたらきをします。

㉙ **数字ボタン** ☞31、57 ～ 58、63 ～ 64 ページ

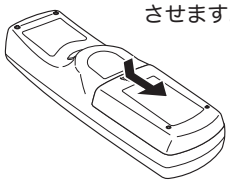
暗証番号またはリモコンコード設定のため、数字を入力するときに使用します。

リモコンの準備

電池の入れかた

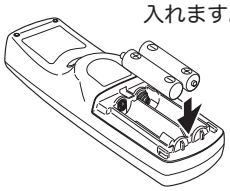
1 電池カバーを開けます。

押しながら
下にスライド
させます。



2 電池を入れます。

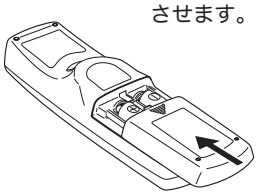
付属の乾電池を＋（プラス）、
－（マイナス）に注意して
入れます。



使用乾電池
単四形アルカリ乾電池２本

3 電池カバーを閉めます。

上にスライド
させます。



電池を使用するときのご注意

注　意

禁　止

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんご注意ください。
・種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
・乾電池は充電しない。分解しない。
・＋極と－極の向きを正しく入れる。＋極と－極をショートさせない。
・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。
また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。
・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

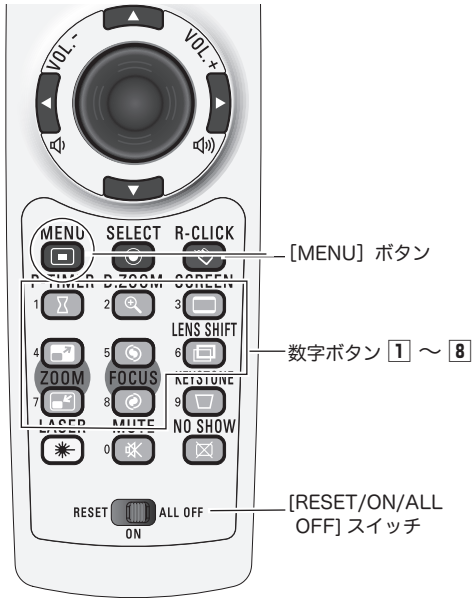
リモコンコードの設定

本機は８種類のリモコンコード（「コード 1」～「コード 8」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。リモコンコードを他のコード（「コード 2」～「コード 8」）に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り替える必要があります。
プロジェクターのリモコンコードを切り替えるにはセッティングメニュー内で行ないます。 59 ページ

1 ［MENU］ボタンと合わせたいリモコンコードに相当する数字ボタンを５秒以上長押しします。手を離すと、コードが切り替わります。

リモコンコード	数字ボタン
コード 1	1
コード 2	2
コード 3	3
コード 4	4
コード 5	5
コード 6	6
コード 7	7
コード 8	8

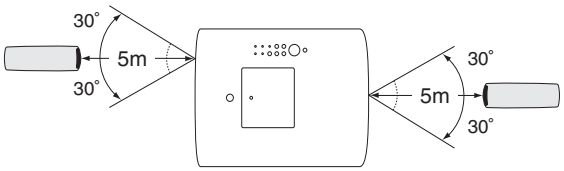
※ 設定したリモコンコードを初期化したいときはリモコン下方にあるスイッチで［RESET］を選択し、その後［ON］に戻します。
工場出荷時は「コード 1」に設定されています。



リモコンで操作できる範囲

リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面と後面のリモコン受信部から約 5m 以内、上下左右 30 度以内です。

※ 間に障害物があると操作の妨げになります。
※ プロジェクターを天井から吊り下げてご使用する場合は、蛍光灯から離れた方のリモコン受信部をご使用ください。



上下左右各 30° 以内の操作範囲

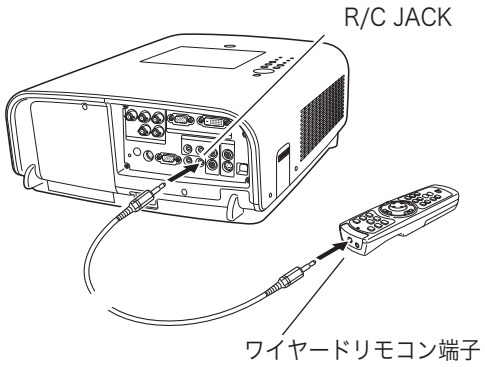
リモコンを使用するときのご注意

- 本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当らないようにする。
- 液状のものをかけない。
- 落としたり衝撃を与えない。
- 熱や湿気をさける。

ワイヤードリモコンで操作

付属のリモコン接続ケーブルで、後面端子の [R/C JACK] 端子と、リモコンのワイヤードリモコン端子を接続します。

※ リモコンに電池は必要です。
※ リモコンをワイヤレスでご使用になるときは、リモコンケーブルをプロジェクターおよびリモコンからはずしてください。リモコンケーブルがプロジェクターまたはリモコンの一方または両方に接続されていると、リモコンはワイヤレスとして動作しません。



レンズの取り付けおよび交換のしかた

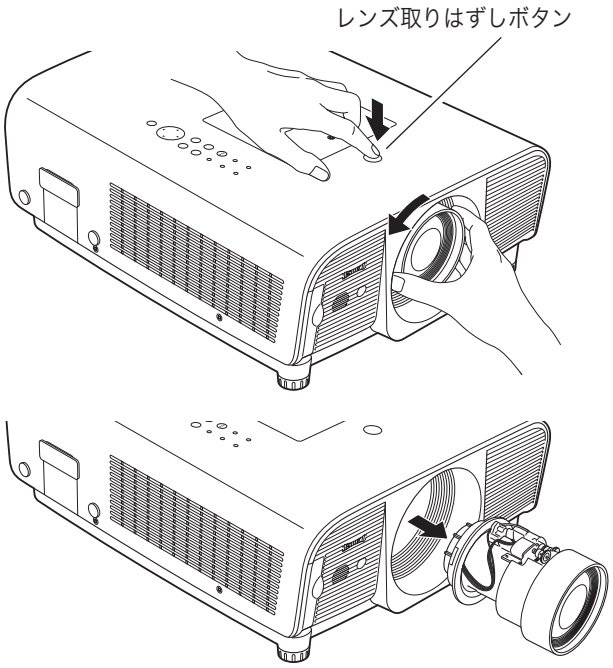
レンズを取り付ける

レンズを標準装備していないプロジェクター LC-XG400DL をお買い上げいただいたときは、プロジェクターを据え付ける前に、レンズを取り付ける必要があります。

プロジェクターを使用する環境に合ったレンズを決めます。レンズの仕様についての詳細は、取扱販売店にご相談ください。

レンズ取り付けおよび交換は下記の手順で行います。

レンズの取りはずしかた



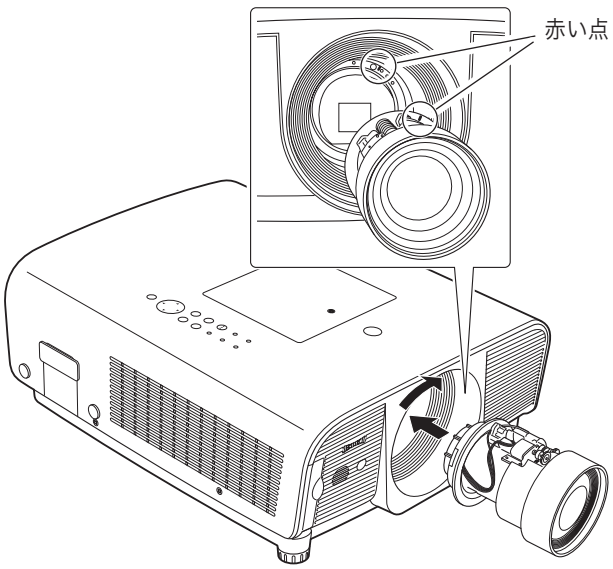
1 はじめにレンズシフトでレンズをセンター付近にセットします。

2 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 本体天面のレンズ取りはずしボタンを押しながら、レンズを反時計方向に止まるまで回し、レンズをゆっくり引き抜きます。

- レンズを落下させないようご注意ください。

レンズの取りつけかた



1 レンズを標準装備していないプロジェクターの場合、はじめにレンズカバーをはずします。

- レンズを取り付けたあとは、このレンズカバーは取り付けられません。

2 レンズと本体の二つの赤色の点を合わせてはめ込みます。

3 レンズを軽く本体に押し付けながら、「カチッ」と音がするまで、時計方向にゆっくり回します。

- レンズを取り付けるときは、レンズ取りはずしボタンを押さないでください。
- レンズが確実に取りつけられているか確認してください。

レンズ交換するときのご注意

- レンズおよびレンズモーターに配線された線などの部品に無理な力を加えないでください。
- ほこりの多い場所でのレンズ交換は避けてください。本体内にゴミやほこりが入ると、画質を損なう原因になります。

設置のしかた

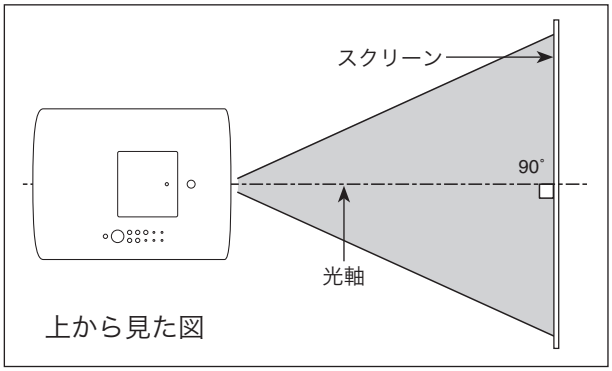
テストパターンを投影する

プロジェクターを設置するとき、外部の信号源を使わず内蔵のテストパターンを投影することができます。「セッティング」メニューで「テストパターン」の中から選択して投影します。64 ページ

スクリーンに対して直角に設置する

投影したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。

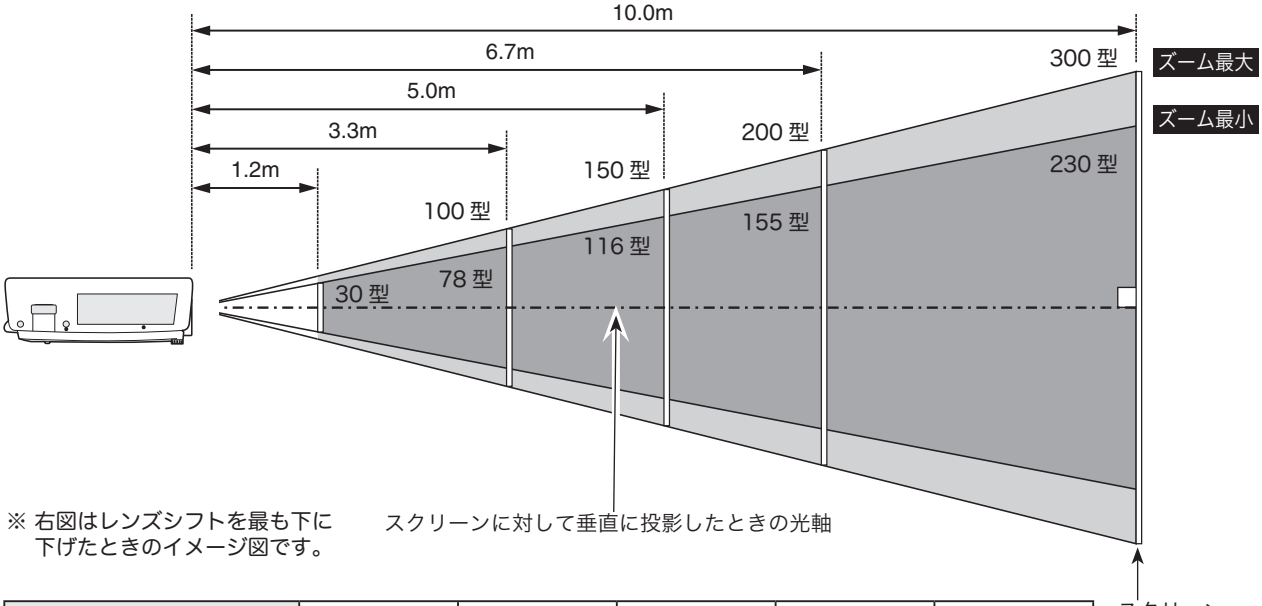
※ スクリーンに対して過度に斜めに投影すると、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。



スクリーンからのおよその距離と画面サイズの関係

画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。

本機の標準レンズの場合、スクリーンからレンズまでの距離が約 1.2m ～ 10.0m の範囲に設置してください。



※ 右図はレンズシフトを最も下に下げたときのイメージ図です。

画面サイズ （幅 x 高さ：mm）	30 型	100 型	150 型	200 型	300 型
	610 x 457	2032 x 1524	3048 x 2286	4064 x 3048	6096 x 4572
投影距離（ズーム最大）	- - -	3.3m	5.0m	6.7m	10.0m
投影距離（ズーム最小）	1.2m	4.3m	6.5m	8.7m	- - -

※ 上表は アスペクト比 4：3 の画面サイズで投影画像の内容により画面サイズが異なる場合があります。50 ～ 54 ページ

お使いになる部屋の明るさについて

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

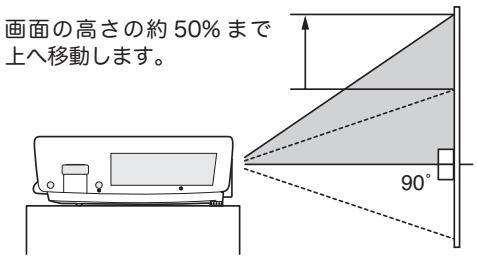
ご注意・著作権について

この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り替え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

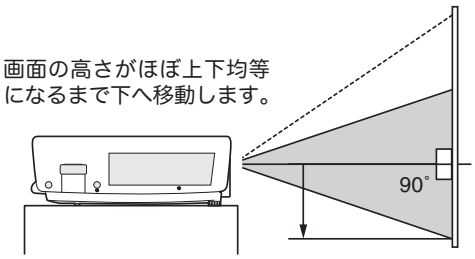
レンズシフト機能で画面の位置を合わせる（例）

本機にはレンズシフト機能が付いており、ボタン操作でレンズを上下左右にスライドさせ、画面位置を上下左右に移動させることができます。操作のしかたについては、33 ページをごらんください。

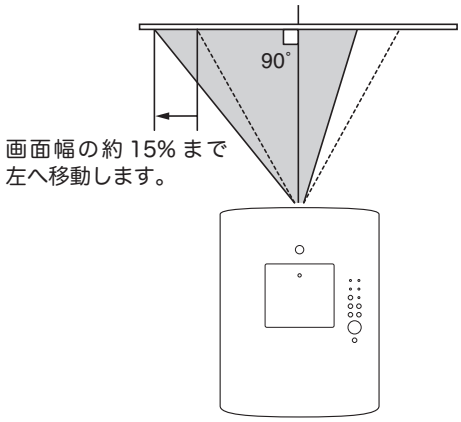
※ 下図は本機の標準レンズを装着したときの例です。



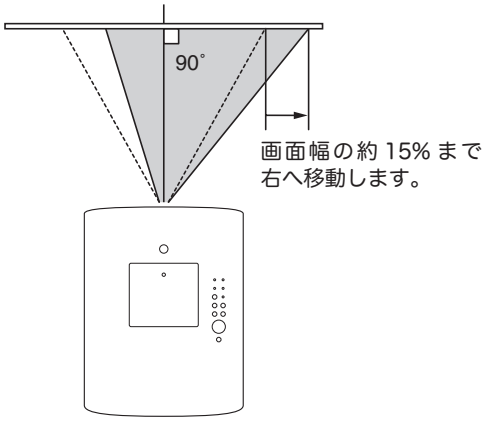
上側へ最大レンズシフトさせたとき



下側へ最大レンズシフトさせたとき



左側へ最大レンズシフトさせたとき

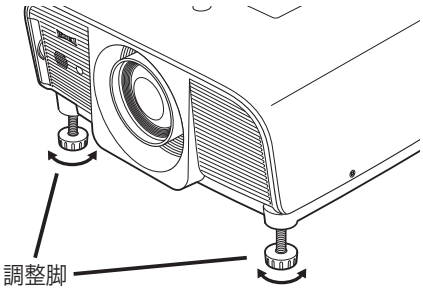


右側へ最大レンズシフトさせたとき

投影画面の高さと傾きを調整する

1 本体前方を持ち上げてから、本体前方の 2 つの調整脚をまわして投影画面の高さと傾きを微調整します。
最大約 5 度まで上がります。

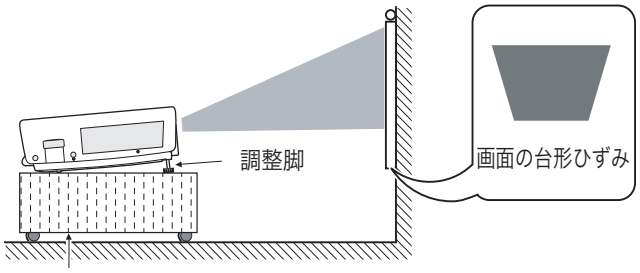
※ 画面の上下左右の位置は、主にレンズシフト機能で調整します。
33 ページ



画面の台形ひずみ（あおり）

調整脚を上げすぎると、投影角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。 34、54 ページ



※ 画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。

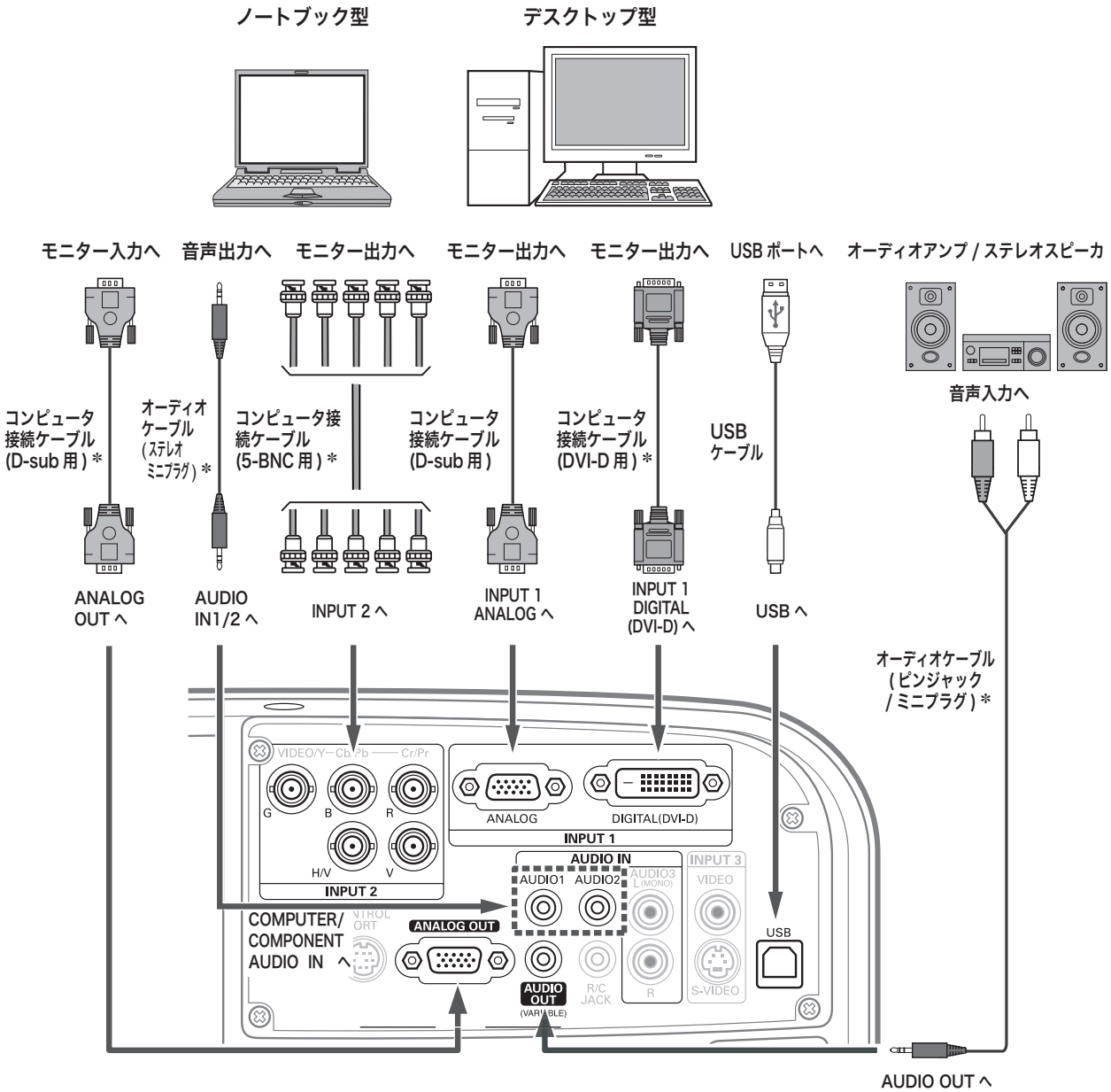
接続の例～コンピュータ

接続に使用するケーブル（* = 市販のケーブルをお使いください。）

- コンピュータ接続ケーブル
  （D-sub 用、DVI-D 用 *）
- USB ケーブル
- オーディオ ケーブル
  （ステレオミニプラグ *、または 2x ピンジャック *）

コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

※ ノートブック型は、キーボードの［Fn］キーを押しながら、ファンクションキーを押す、などの操作が必要な場合があります。



※注)
内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、［AUDIO OUT］にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、［AUDIO OUT］にプラグがささっていないか、確認してください。

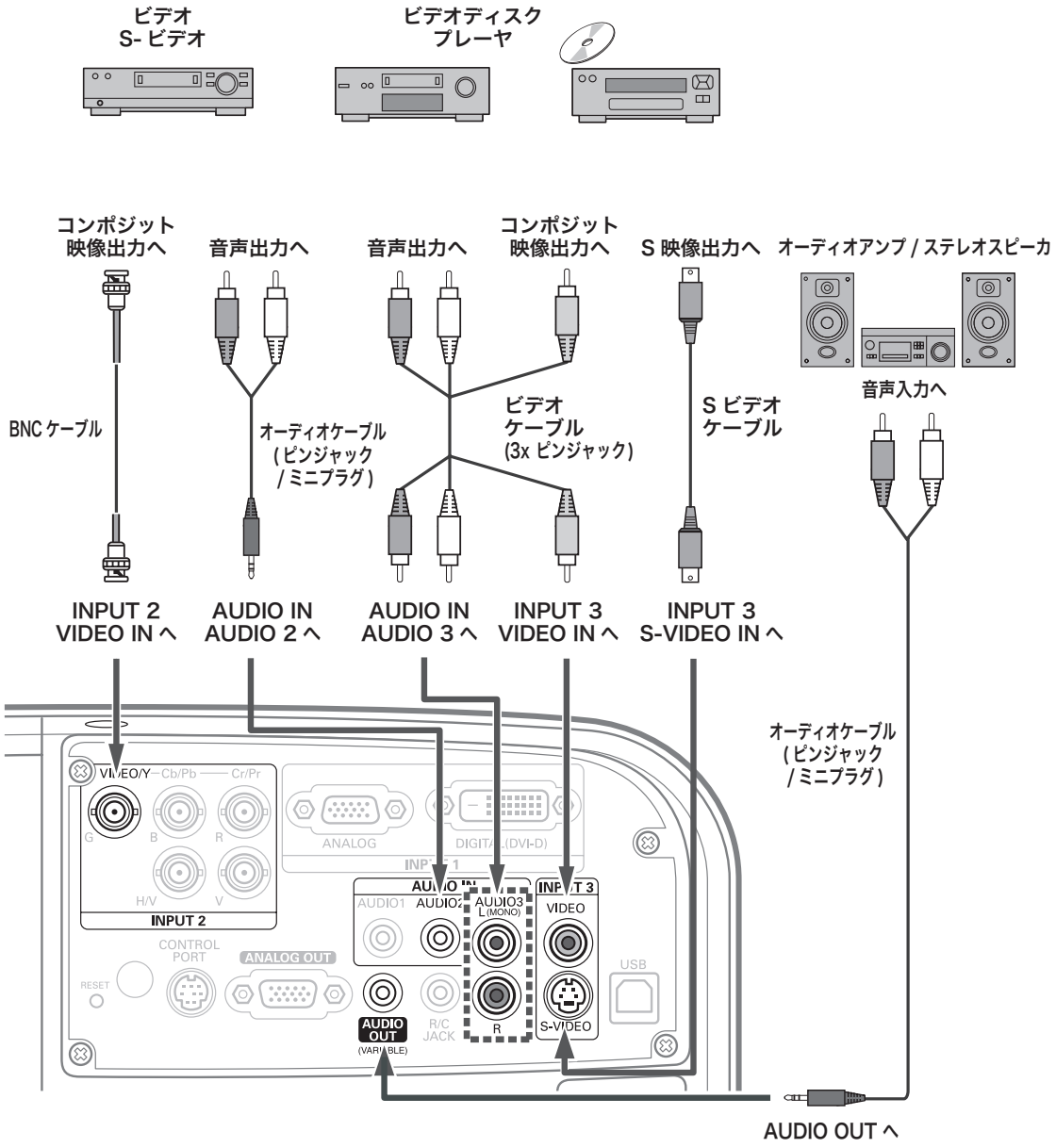
接続するときのご注意：
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

接続の例～ビデオ機器 -1

接続に使用するケーブル

※本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。

- ビデオ ケーブル（3x ピンジャック）
- S ビデオ ケーブル（ミニ DIN 4 ピン）
- ビデオケーブル（BNC)
- オーディオ ケーブル
  （ステレオミニプラグ、または 2x ピンジャック）



※2 台のビデオ機器を接続しているときは、インプットメニュー内の信号選択メニューで「Auto」に設定していても、プロジェクターは入力端子へのプラグの挿入 (信号の有無ではない) を検知して、1) S-video、2) Video の順位で入力端子を自動選択します。接続されている入力端子が選択されないときは、インプットメニュー内の信号選択メニューでポインタを合わせ、[SELECT] ボタンで選択してください。 40 ～ 41 ページ

※注)
内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、[AUDIO OUT] にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、[AUDIO OUT] にプラグがささっていないか、確認してください。

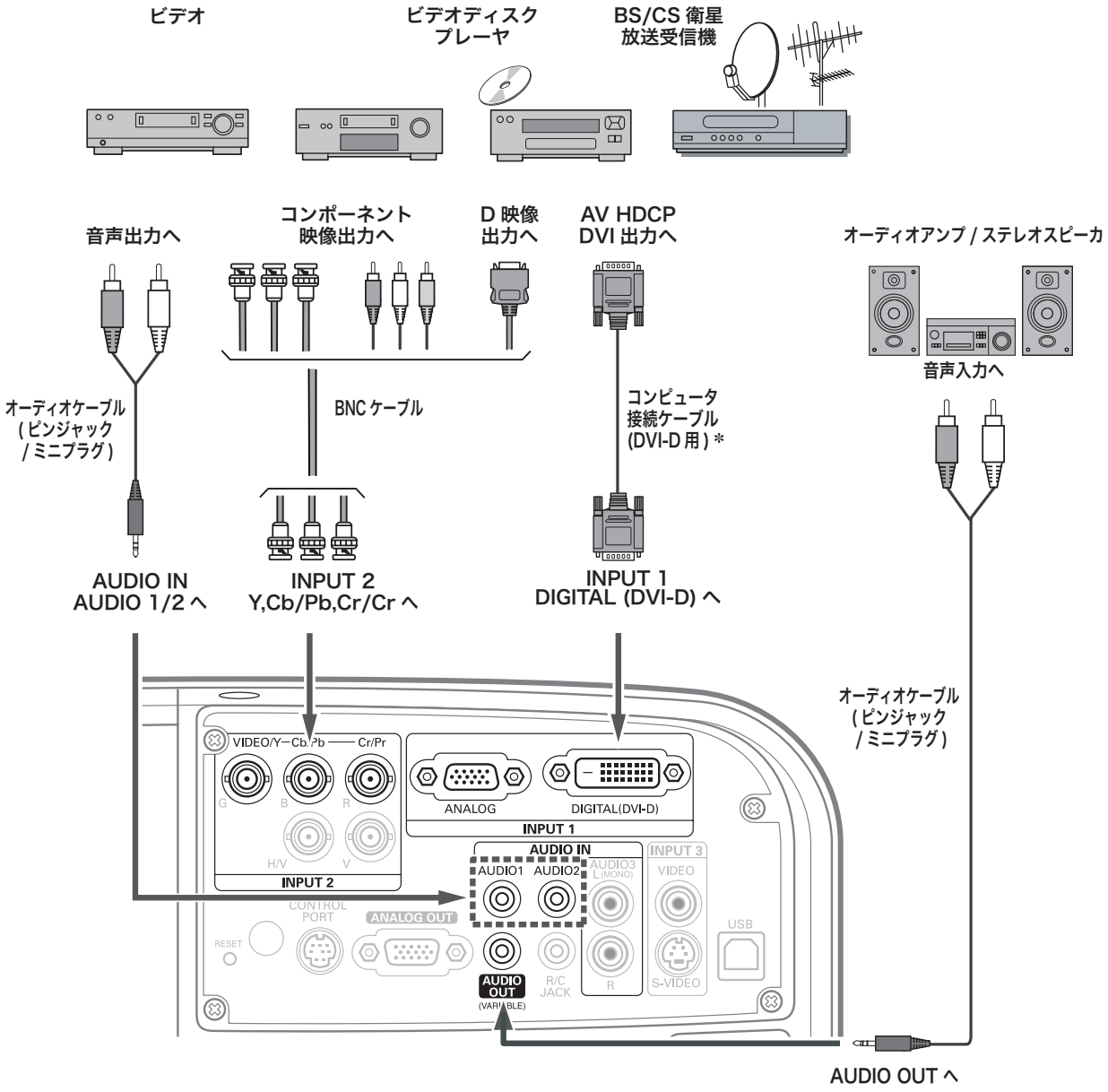
接続するときのご注意 :
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

接続の例～ビデオ機器 -2

接続に使用するケーブル

※ 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。

- ビデオ ケーブル (BNC)
- コンピュータ接続ケーブル (DVI-D 用)
- オーディオ ケーブル
  （ステレオミニプラグ、または 2x ピンジャック）



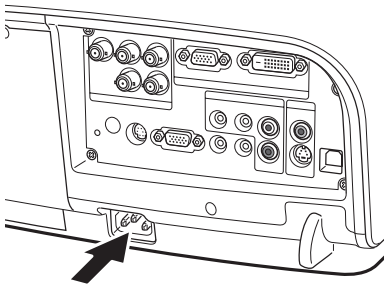
※注)
内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、[AUDIO OUT] にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、[AUDIO OUT] にプラグがささっていないか、確認してください。

接続するときのご注意 :
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

電源コードを接続する

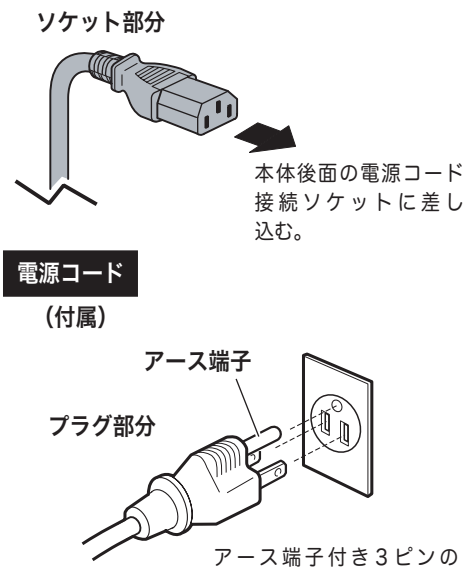
電源コードをつなぐ前に、16、25 ～ 27 ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

1 電源コードのソケット部分を本体後面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



電源コード
接続ソケットへ

2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3 ピンの AC コンセントに差し込みます。



注　意

電源コード取扱上の注意

電源コードはかならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものを絶対にご使用にならないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

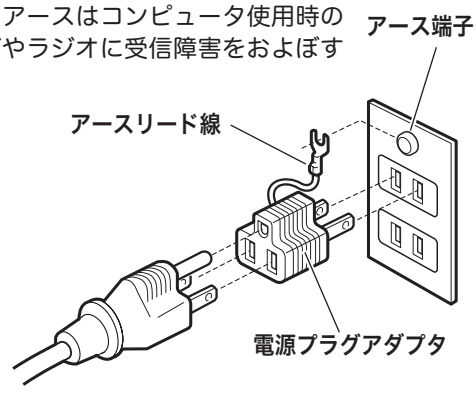
ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

本機は、リモコンの［STAND-BY］ボタンまたは操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンで電源を切っても約 12W の電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

電源プラグアダプタのアースリード線を接地してください

電源コードのプラグはアース端子付き 3 ピンプラグです。アースは確実に接地してご使用ください。コンセントが 2 ピン専用（アース端子がない）場合は、アース工事を行ない、付属の電源プラグアダプタを使用して接続してください。アースはコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

- 感電の原因となりますので、アース工事は必ず専門業者に依頼してください。
- アースリード線をコンセントに差し込まないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグアダプタを使うときは、安全のため、コンセントに電源プラグアダプタを差し込む前にアースリード線をアースへ接地してください。また、はずすときは電源プラグアダプタをコンセントから抜いたあとでアースリード線をはずしてください。

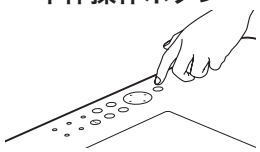


プロジェクターの基本操作

プロジェクターは、本体の操作ボタンまたはリモコンで操作できます。また、リモコンは、ワイヤレス、ワイヤード式でも操作することができます。

基本操作とこれらの操作ボタン

ここで示されている以外の詳しい操作項目は、それぞれのメニュー操作の中の説明をご参照ください。

操作項目	操作ボタン名	本体操作ボタン 	リモコン	参照ページ
電源入り・切り	ON/STAND-BY	○	-	30、32
電源入り	ON	-	○	30
電源切り	STAND-BY	-	○	32
入力切換	INPUT	○ INPUT1 → 2 → 3	○ INPUT1/2/3	33、40
レンズ	LENS	○ ズーム→フォーカス →レンズシフト	-	33
ズーム	ZOOM▲▼	-	○	33
フォーカス	FOCUS▲▼	-	○	33
レンズシフト	LENS SHIFT	-	○	33
スクリーン	SCREEN	-	○	34
キーストーン	KEYSTONE	-	○	34
デジタルズーム	D.ZOOM	-	○	34
自動 PC 調整	AUTO PC	-	○	35
フリーズ	FREEZE	-	○	36
ブランク	NO SHOW	-	○	36
P- タイマー	P-TIMER	-	○	36
インフォメーション	INFO.	○	○	35
メニュー	MENU	○	○	38
セレクト	SELECT	○	○	38
ポイント上下左右	POINT▲▼◀▶	○	○	38
音量+ / –	VOLUME ◀▶	○	○	37
消音	MUTE	-	○	37
レーザ	LASER	-	○	69

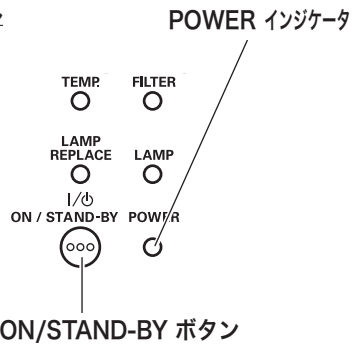
電源を入れる

電源コードをつなぐ前に、16、25 ～ 27 ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

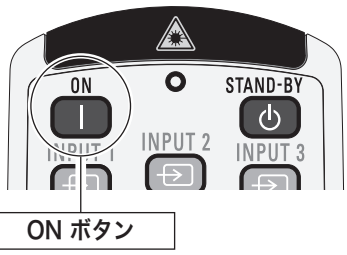
1 電源コードを AC コンセントに接続します。☞28 ページ
［POWER］インジケータ (緑) が点灯します。

2 リモコンの [ON] ボタンまたは操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンを押して電源を入れます。*
正常に起動すると[LAMP]インジケータ(赤)が点灯します。
約 30 秒間のオープニング画面とそのカウントダウン ★ が終わると画像が映ります。
スタート時、「ランプコントロール」（☞59 ページ）と「インプットモード」の表示が約 4 秒間出ます。

操作パネル



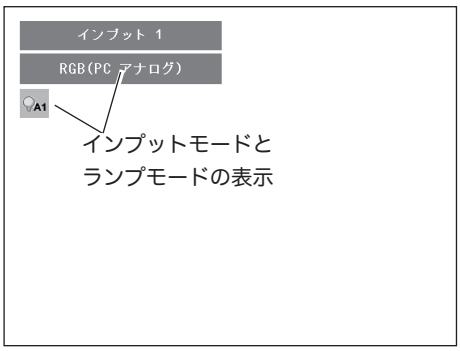
リモコン



このとき、「セッティング」メニューの「セキュリティ」内の、「暗証番号ロック」（☞62 ページ）を「オン」にしているときは、暗証番号を入力します。
※ 暗証番号の入力方法は次ページを参照ください。

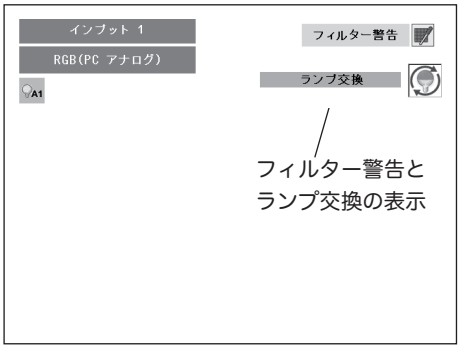
* セッティングメニューで「オンスタート・オン」に設定しているときは、電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

★ セッティングメニューで、
- 「オンスクリーン表示・オン」（☞60 ページ）、「ロゴ選択・オフ」（☞56 ページ）に設定しているときは、カウントダウンは表示されますがオープニング画面は出ません。
- 「オンスクリーン表示・オフ」（☞60 ページ）に設定しているときは、「ロゴ選択」（☞56 ページ）の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投影されます。
- 「オンスクリーン表示・カウントダウンオフ」（☞60 ページ）に設定しているときは、「ロゴ選択」（☞56 ページ）の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投影されます。



フィルターおよびランプに関するお知らせ表示

電源を入れたのち、プロジェクターの状態により、「フィルター警告」および「ランプ交換」のお知らせ表示が出ることがあります。☞65、66 ページ
※ 表示は 10 秒間出ます。



電源を切った後、約 90 秒間は電源が入りません

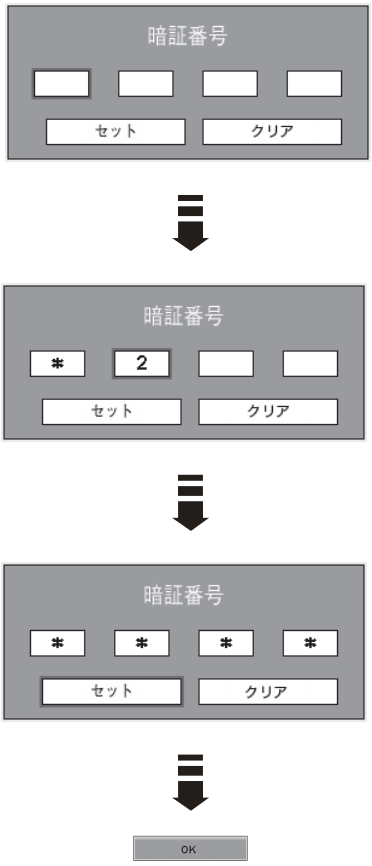
電源を切った後、約 90 秒間は、次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間はリモコンの［ON］ボタンまた、操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。
90 秒経ち、［POWER］インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

リモコンの［STAND-BY］ボタンまた、操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンで電源を切っても、約 12W の電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

暗証番号の入力

3 「暗証番号ロック」が「オン」のとき、前ページ「手順 *2*」でカウントダウン ★ が終わったあと、暗証番号を入力する画面が現れます。



リモコンで入力する

4 リモコンの数字ボタンで 0 ～ 9 の数字を選択し、4 けた全ての数字を入力します。4 けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。
☞ 下記「手順 *6*」へ

本体で入力する

4 ［ポイント］ボタンの上下で 0 ～ 9 の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを 2 けた目に移動します。（1 けた目の表示が「＊」に変わります。）この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。

5 4 けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

6 [SELECT] ボタンを押して決定します。

※ 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは [ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
※ 4 けた全ての数字を消したいときは、「クリア」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。

7 正しく入力されていると、「OK」が画面に表示され、プロジェクターを操作できます。

- 正しい暗証番号が入力されないと、約 3 分後に電源が切れます。

「暗証番号ロック」とは？

管理者以外の暗証番号を知らない、第三者によるプロジェクターの操作を防止します。
詳しくは 62 ページの「セッティング」メニューの、「セキュリティ」内の「暗証番号ロック」を参照ください。

電源を切る

1 リモコンの [STAND-BY] ボタンまたは操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンを押すと、画面に「もう 1 度押すと電源が切れます」の表示が出ます。

2 表示が出ている間に再度［STAND-BY］ボタンまたは［ON/STAND-BY］ボタンを押すと画面と音が消え、電源が切れます。電源が切れると［POWER］インジケータが点滅に変わり、ランプの冷却を始めます。

リモコン

※ 表示は約 4 秒間出ます。

電源を切った後、約 90 秒間は電源が入りません

電源を切った後、約 90 秒間は、次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は [ON] ボタンまたは［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。約 90 秒経ち、［POWER］インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

ランプを長持ちさせるために

ランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約 5 分以上点灯させてから電源を切ってください。電源を切るときは、［STAND-BY］ボタンまたは［ON/STAND-BY］ボタンで操作してください。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

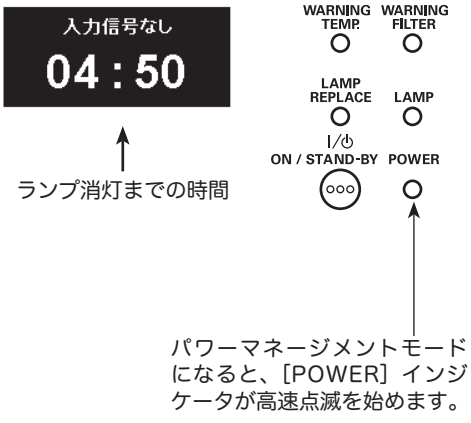
冷却ファンについて

投影している最中、温度によりファンの回転速度が自動的に切り替わりますが、故障ではありません。

パワーマネージメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネージメント機能が搭載されています。30 秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。

※ 工場出荷時は「待機・5 分」に設定されています。 ☞60 ページ



パワーマネージメントの動作について

設定が「待機」のとき

1）タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作にはいります。ランプ冷却中は［POWER］インジケータが低速点滅し、プロジェクターの操作はできません。

2）ランプの冷却が完了すると［POWER］インジケータが高速点滅を始め、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。この状態のときに、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投影されます。

設定が「シャットダウン」のとき

1）タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプの冷却が始まります。ランプ冷却中は［POWER］インジケータが低速点滅し、プロジェクターの操作はできません。

2）ランプの冷却が完了すると 、電源が切れます。

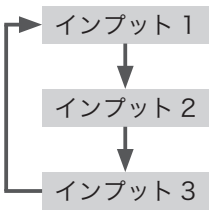
プロジェクターを 24 時間以上連続して使用しないでください。連続して使用する場合 24 時間に一度電源を切り、1 時間休ませてください。
続けて使用すると、ランプの寿命を縮める原因となります。

入力信号の選択 [INPUT]、[INPUT1/2/3]

プロジェクター本体の操作パネルとリモコンのボタン操作は異なります。
- 操作パネルの [INPUT] ボタンを押して、投影するインプット 1 ～ 3 を選択します。
- リモコンの [INPUT 1/2/3] ボタンで入力を選択するときは、押すたびに各入力の信号選択が切り替わりますので、希望の信号になるまで押します。

☞40 ～ 41 ページ

本体 [INPUT] ボタン



ご注意：
- 本体の操作パネルで選択するときは、正しい選択の前に、メニューの「インプット」で各入力の信号選択を行います。信号選択が正しく行われていないと入力選択を押しても信号は正しく投影されません。☞40 ～ 41 ページ

投影画面を調整する [LENS]、[ZOOM]、[FOCUS]、[LENS SHIFT]

プロジェクター本体の操作パネルとリモコンのボタン操作は異なります。
- 操作パネルの [LENS] ボタンを押すたびに、「ズーム」→「フォーカス」→「レンズシフト」の各調整モードに切り替わります。
- リモコンではそれぞれのボタンを押すと、その調整モードに切り替わります。

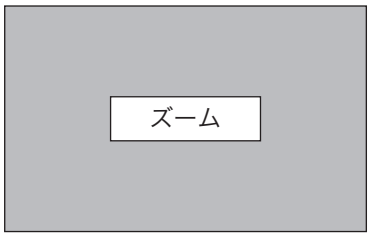
画面の大きさを決める

リモコンで操作するとき

［ZOOM］ボタン上・・・画面が大きくなります。
［ZOOM］ボタン下・・・画面が小さくなります。

操作パネルで操作するとき

[LENS] ボタンを押して「ズーム」を選択します。
表示が出ている間に、
［ポイント］ボタン上・・・画面が大きくなります。
［ポイント］ボタン下・・・画面が小さくなります。



※表示は約 4 秒間出ます。

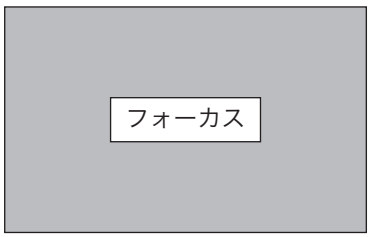
フォーカスを合わせる

リモコンで操作するとき

［FOCUS］ボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

操作パネルで操作するとき

[LENS] ボタンを押して「フォーカス」を選択します。表示が出ている間に［ポイント］ボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

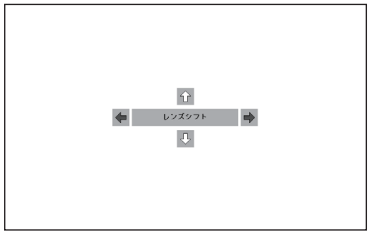


※表示は約 4 秒間出ます。

レンズシフト機能で画面の位置を上下に動かす

リモコンおよび操作パネルで操作するとき

1. リモコンの［LENS SHIFT］ボタン、または操作パネルの [LENS] ボタンを押してレンズシフト調整モードに入ります。画面に「レンズシフト」表示が現れます。
2. 表示が出ている間に［ポイント］ボタンの上下左右で、画面の位置を上下左右に動かします。



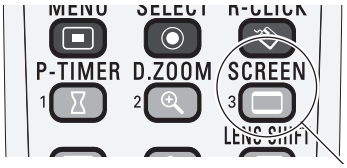
※表示は約 4 秒間出ます。

※ 移動中に左右方向の矢印が赤色に変わる位置があります。その位置がレンズの左右方向の標準位置です。
※ 最大のシフト位置で矢印の表示が消えます。
※ レンズシフト機能で調整した内容は、電源を切っても記憶されています。
※ 画面位置を動かしたときは、多少画面が暗くなることがあります。

画面サイズの選択 [SCREEN]

リモコンの [SCREEN] ボタンで、入力信号に合わせて画面のサイズを、「ノーマル」「リアル」「ワイド」「フルスクリーン」「カスタム」の中から選択することができます。☞50 ～ 53 ページ

※ 「リアル」「フルスクリーン」はビデオ入力画面では選択できません。



[SCREEN] ボタン

コンピュータ入力画面

ノーマル → リアル → ワイド → フルスクリーン → カスタム → ノーマル

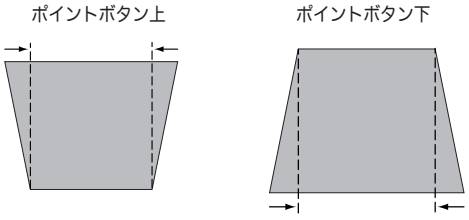
ビデオ入力画面

ノーマル → ワイド → カスタム → ノーマル

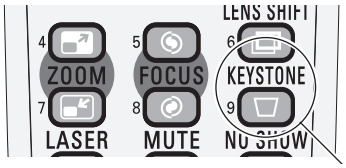
キーストーン調整（台形歪みの補正）[KEYSTONE]

リモコンの［KEYSTONE］ボタンを押します。「キーストーン」表示が現われます。表示が出ている間に［ポイント］ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。 ☞54 ページ

[ポイント] ボタン上・・・画面上部の幅が縮みます。
[ポイント] ボタン下・・・画面下部の幅が縮みます。



※「キーストーン」表示が現れているあいだに、もう一度［KEYSTONE］ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。



[KEYSTONE] ボタン

※ 表示は約 4 秒間出ます。
※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。
※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。（無補正の場合の表示は白色です。）
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

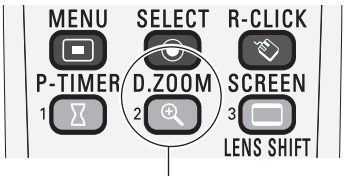
デジタルズーム+ / – [D.ZOOM]

画面の拡大、縮小を行います。☞53 ページ

デジタルズーム+：
リモコンの [D.ZOOM] ボタンを押すと「デジタルズーム+」表示が出ます。[SELECT] ボタンを押すごとに画面が拡大します。[ポイント] ボタンで画面のパンニング操作を行います。

デジタルズーム–：
リモコンの [D.ZOOM] ボタンを 2 度押すと「デジタルズーム–」表示が出ます。[SELECT] ボタンを押すごとに画面が縮小します。

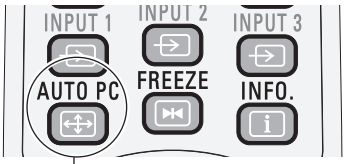
ご注意：
※ デジタルズームモードを解除するときは、入力の切り替え、またはスクリーンサイズを切り替えます。



[D.ZOOM] ボタン

自動 PC 調整 [AUTO PC]

コンピュータ信号の「トラッキング」「総ドット数」「画面水平位置」「画面垂直位置」調整を、リモコンの [AUTO PC] ボタンを押すと自動で調整します。44 ページ



[AUTO PC] ボタン

ご注意：

- 自動 PC 調整で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」の全てを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整しカスタムモードに登録してください。45 ページ
- 自動調整した内容を一度登録しておくと、コンピュータのシステムメニューでそのモードを選択することができます。
  登録のしかたについては、コンピュータ調整の中の手動 PC 調整の項（45 ページ）をご参照ください。
- コンピュータからの入力信号によっては、自動 PC 調整できない信号があります。（78 ～ 79 ページ）

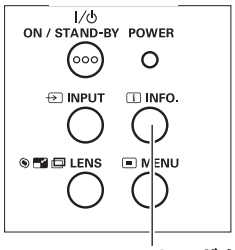
インフォメーション [INFO.]

操作パネル、または、リモコンの [INFO.] ボタンを押すと、インフォメーション画面が表示されます。

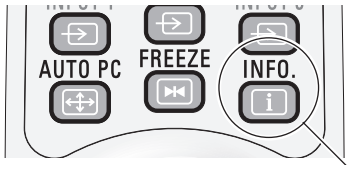
この画面では、プロジェクターの動作環境・信号内容など、プロジェクターの動作状況が表示されます。

- 表示項目中の「水平周波数」「垂直周波数」は、およその目安です。

操作パネル



[INFO.] ボタン



[INFO.] ボタン

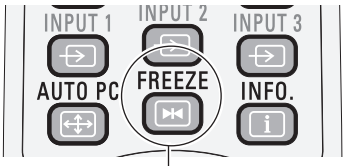
こんなときに便利です

プロジェクターの準備・設置などでうまく投影できない、などのときに、この画面が簡単に問題解決の手助けになります。

画面を一時的に静止させる [FREEZE]

リモコンの［FREEZE］ボタンを押すと、再生機器に関係なく投影画面だけが静止します。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。



[FREEZE] ボタン

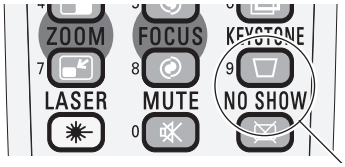
こんなときに便利です

プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には［FREEZE］ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。

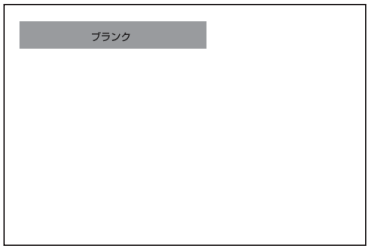
画面を一時的に消す [NO SHOW]

リモコンの［NO SHOW］ボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投影画面を一時的に消すことができます。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。



[NO SHOW] ボタン



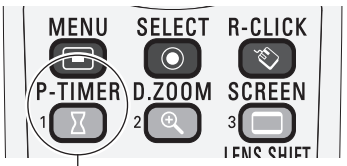
※ 表示は約 4 秒間出ます。
※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

こんなときに便利です

プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。

プレゼン時に経過時間を表示する [P-TIMER]

リモコンの［P-TIMER］ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。
もう一度［P-TIMER］ボタンを押すと経過時間のカウントを止め、それまでの経過時間を画面に表示します。さらに［P-TIMER］ボタンを押すと解除されます。



[P-TIMER] ボタン

※ 00 分 00 秒から最長 59 分 59 秒まで経過時間を画面表示できます。

こんなときに便利です

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。

音量を調節する [VOLUME]・一時的に消音する [MUTE]

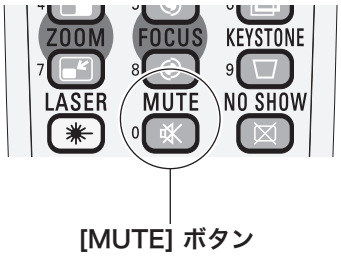
ダイレクトボタンで音を調節する

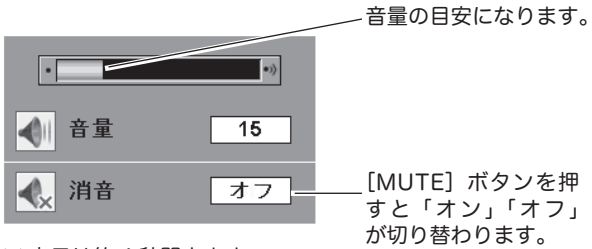
音　量

リモコンまたは操作パネルの［VOLUME］ボタン（+/–）で音量を調節します。音量バーを目安にして調節してください。

消　音

リモコンの［MUTE］ボタンを押すと、一時的に音が消えます。もう一度［MUTE］ボタンを押すか、［VOLUME］ボタン（+/–）を押すと解除されます。



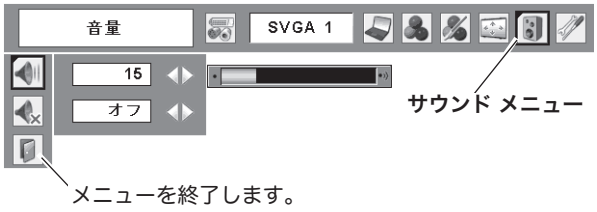


※ 表示は約 4 秒間出ます。
※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

サウンドメニューで音を調節する

1. リモコンまたはコントロールパネルの［MENU］ボタンでメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「サウンド」メニューに合わせます。
2. ［ポイント］ボタンの上下で、選択したい項目にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

サウンドメニュー



音　量

［ポイント］ボタン左で音量が小さくなり、［ポイント］ボタン右で音量が大きくなります。
音量のバーを目安に調節してください。

消　音

［ポイント］ボタン右または左で「オン」に切り替えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

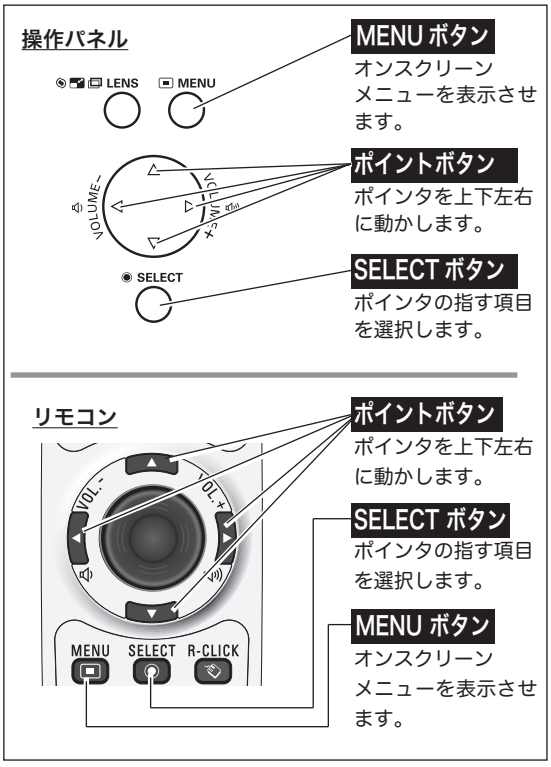
※ 「オン」を選択していても、「音量」の数値を変更すると、自動的に「オフ」になります。

メニューの操作

オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー (画面上のメニュー) の操作は、① ポインタを移動し、② ポインタの指す項目を選択するのが基本です。



① ポインタの動かし方

ポインタは、［ポイント］ボタンで上下左右に動かします。
［ポイント］ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

② 項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコン（操作をイメージした図）を選択するには、［SELECT］ボタンを押します。
［SELECT］ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

1 ［MENU］ボタンを押すと、画面上にメニューバーが表示されます。（☞39 ページ）メニューバーには選択できるメニューがアイコン（操作をイメージした図）の形で一覧表示されます。
アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

メニューを選択する

2 赤い枠のポインタを、［ポイント］ボタンの左右で選択したいメニューのアイコンに移動させます。

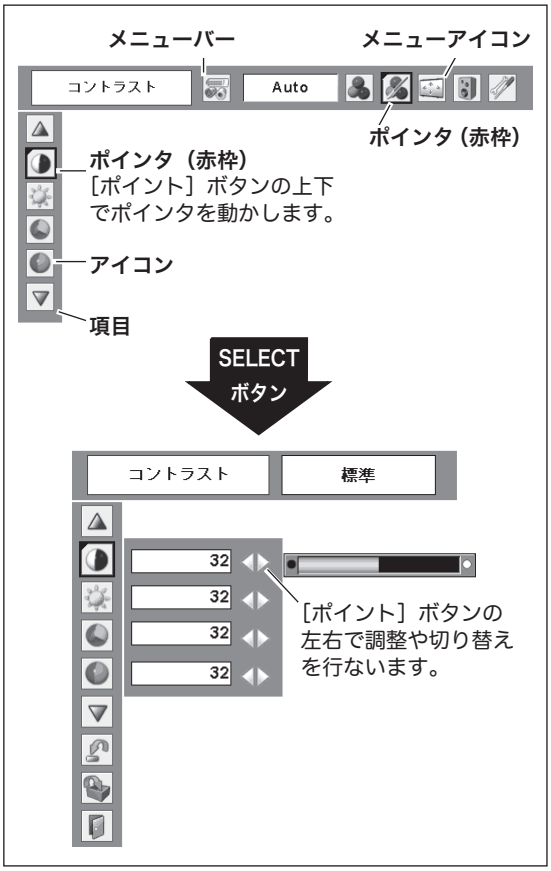
メニュー画面で調整や切り替えを行なう

3 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整する項目のアイコンに合わせます。

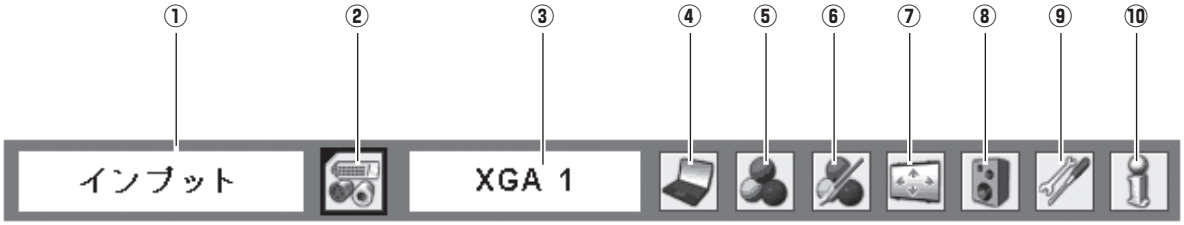
4 ［SELECT］ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に出します。

5 ［ポイント］ボタンの左右で、調整や切り替えを行ないます。
それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項目を参照してください。

※ これ以降のページで、メニューバーや各項目のアイコンについての説明をするとき、“アイコン”を省略するときがあります。



メニューバー



① **ガイドボックス** オンスクリーンメニューの選択中の項目を表示します。	
② **インプットメニュー** ☞41 ページ 「インプット（入力）1 ～ 3」を切り替えます。	
③ **システムボックス** ☞42 ～ 43 ページ コンピュータ画面のときは、選択されたコンピュータシステムを表示します。 ビデオ画面のときは、選択されたカラーシステムまたは走査方式を表示します。	
④ **PC 調整メニュー** * ☞44 ～ 46 ページ お使いのコンピュータに合わせてシステムを調整し、カスタムモードに登録します。	トラッキング、総ドット数、水平位置、垂直位置、コンピュータ情報、クランプ、画面領域 H、画面領域 V、リセット、データ消去、メモリー
⑤ **イメージ選択メニュー** ☞47 ページ 画面のイメージモードを選択します。	ダイナミック、標準、リアル *、シネマ **、イメージ 1 ～ 4
⑥ **イメージ調整メニュー** ☞48、49 ページ 画面のイメージをマニュアルで調整します。	コントラスト、明るさ、色の濃さ **、色合い **、色温度、ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション **、プログレッシブ **、リセット、メモリー
⑦ **スクリーンメニュー** ☞50 ～ 54 ページ 画面の大きさのモード設定をします。	ノーマル、リアル *、ワイド、フルスクリーン *、カスタム、デジタルズーム＋ / － *、キーストーン、天吊り、リア投映
⑧ **サウンドメニュー** ☞37 ページ 音声の調整や消音の切り替えをします。	音量、消音
⑨ **セッティングメニュー** ☞55 ～ 67 ページ プロジェクターの各種設定を行なうメニューです。	言語、ロゴ、バックグラウンド、ランプコントロール、ポインタ、リモコンコード、リモコン受光部、オンスクリーン表示、パワーマネージメント、オンスタート、ファン制御、セキュリティ、テストパターン、警告履歴、ランプカウンター、フィルターカウンター、初期設定
⑩ **インフォメーションメニュー** ☞35 ページ 投影中の信号状況とセッティングの状況を表示します。	インプット、水平周波数、垂直周波数、スクリーン、言語、ランプ状態、パワーマネージメント、セキュリティ、リモコンコード

*　コンピュータ画面のときのみ表示、または選択可
**　ビデオ画面のときのみ表示、または選択可

入力の選択

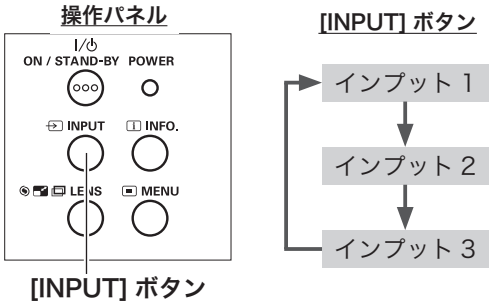
入力を切り替える

プロジェクターに接続されたコンピュータ、ビデオなどの機器からの入力信号を選択します。

[INPUT] ボタンで入力を切り替える

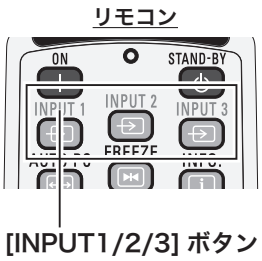
操作パネルの［INPUT］ボタン※を押して、入力を切り替えます。
☞33 ページ

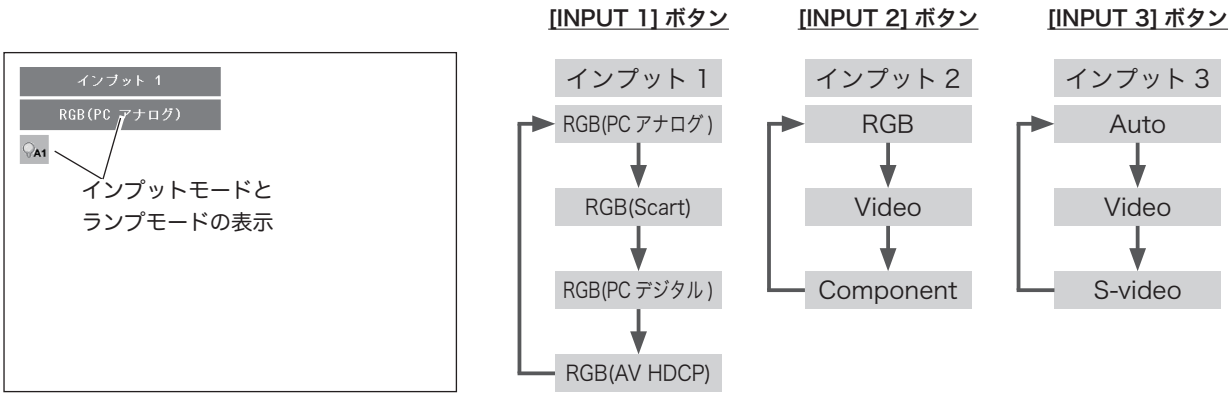
※ ボタンを押すたびに切り替わります。
※ 正しい入力信号が選択されないときは、インプット メニューで正しい入力信号を選んでください。（下記参照）



[INPUT1/2/3] ボタンで入力を切り替える

リモコンの［INPUT 1/2/3］ボタンで入力を選択するときは、押すたびに各入力の信号選択が切り替わりますので、希望の信号になるまで押します。☞33 ページ

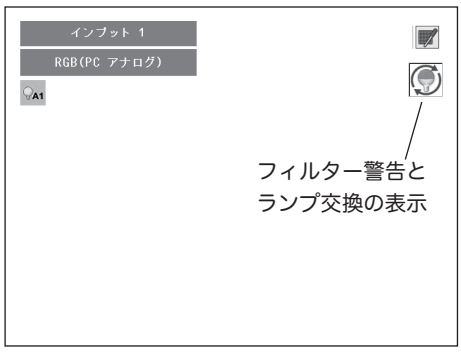




フィルターおよびランプに関するお知らせ表示

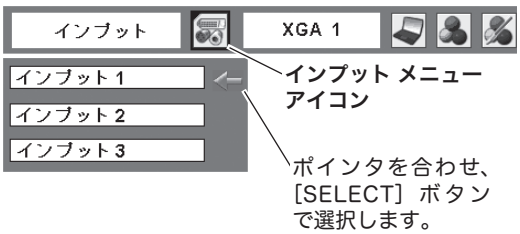
インプットを切り替えたのち、プロジェクターの状態により、「フィルター警告」および「ランプ交換」のお知らせ表示が出ることがあります。☞65、66 ページ

※ 表示は 4 秒間出ます。



「インプット」メニューで入力を切り替える

インプット メニュー

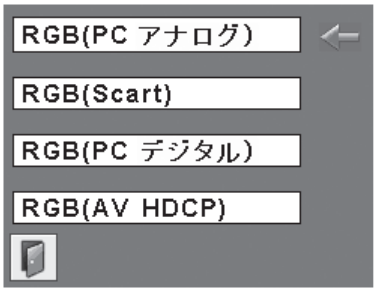


1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「インプット」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを映したい入力に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
信号選択メニューが現れます。

3 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを映したい信号に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

インプット 1



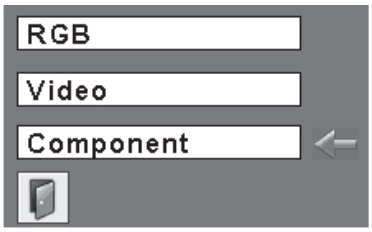
RGB（PC アナログ） INPUT 1 の ANALOG 端子に、コンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。

RGB（Scart） INPUT 1 の ANALOG 端子に、映像機器の SCART 映像出力＊が SCART-VGA ケーブルで接続されているときに選択します。

RGB（PC デジタル） INPUT 1 の DIGITAL(DVI-D) 端子に、コンピュータのデジタル信号が接続されているときに選択します。

RGB（AV HDCP） INPUT 1 の DIGITAL(DVI-D) 端子に、HDCP 対応のデジタル映像信号が接続されているときに選択します。

インプット 2



RGB INPUT 2 (BNC 端子、R,G,B,H/V,V) に、コンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。

Video INPUT 2 (BNC 端子、VIDEO) に、ビデオ信号が接続されているときに選択します。

Component INPUT 2 (BNC 端子、Y,Cb/Pb,Cr/Pr) に、コンポーネントビデオ信号が接続されているときに選択します。

インプット 3

Auto INPUT 3 の VIDEO 端子と S-VIDEO 端子の両方にケーブルが接続されているとき、「Auto」を選択すると S 映像信号入力を優先して選択します。

Video INPUT 3 の VIDEO 端子に、ビデオ信号が接続されているとき選択します。

S-video INPUT 3 の S-VIDEO 端子に、S 映像信号が接続されているときに選択します。

＊ SCART 21 ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子の RGB 出力をプロジェクターで見るには、ビデオ機器の SCART 21 ピン端子とプロジェクターの［INPUT 1 ANALOG IN］を専用のケーブルで接続します。[INPUT 1 ANALOG IN]で再生される RGB SCART 信号は、480i、575i の RGB 信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

ビデオシステムの選択

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「システム」メニューに合わせます。

2 ポインタを入力信号に合ったカラーシステムまたは走査方式に合わせ、［SELECT］ボタンで選んでください。

VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

Auto（自動）

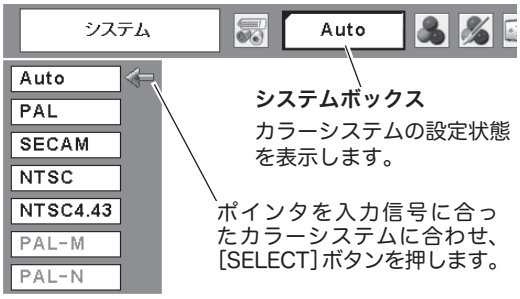
入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。

※ 「PAL-M」「 PAL-N」は自動選択されません。上記「*1*」「*2*」の手順で選択してください。

PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムはNTSC です。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

システム メニュー
（コンポジット映像または S 映像入力時）



コンポーネント入力選択時

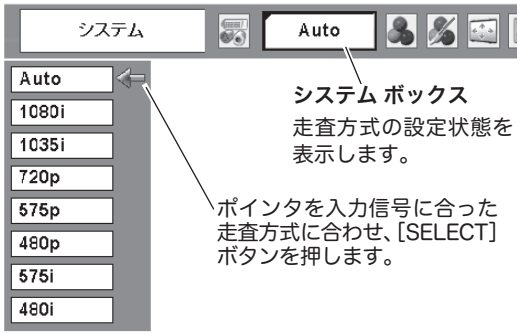
Auto（自動）

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、メニュー の中から正しい走査方式を選んでください。

システムメニュー（コンポーネント映像入力時）



コンピュータシステムの選択

システムモードが自動選択されます

（マルチ スキャン システム）

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステム モード（VGA、SVGA、XGA、SXGA・・・）を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投影することができます。 ☞78～79ページ
選択されたシステムモードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。

※ システムボックスには、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムメニュー

システムボックス
選択中のシステムモードを表示します。

システムボックスに表示されるメッセージ

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動PC 調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投影されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。
☞45～46ページ

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。 ☞16、25ページ

モード 1

マニュアルで登録された「カスタムモード」が選択されたとき表示されます。

システムモードをマニュアルで選択するとき

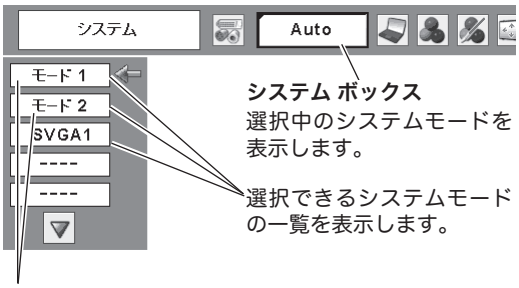
「カスタムモード※」を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて［SELECT］ボタンで選んでください。

※ カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。 ☞45～46ページ

システムメニュー



システム ボックス
選択中のシステムモードを表示します。

選択できるシステムモードの一覧を表示します。

PC 調整メニューで登録した「カスタムモード 1～10」 を表示します。

画面の調整

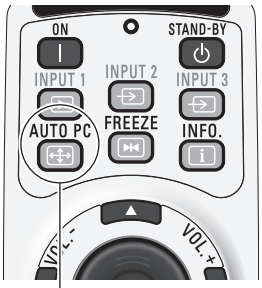
コンピュータシステムの調整

自動 PC 調整機能

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」の 4 項目を自動調整することができます。

リモコンのダイレクトボタンで調整する

リモコンの［AUTO PC］ボタンを押します。



AUTO PC ボタン

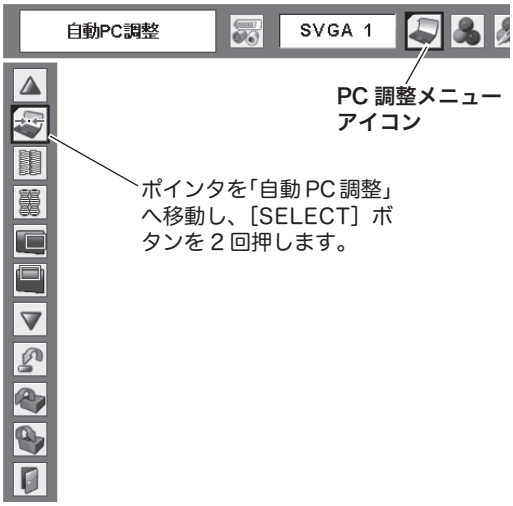
メニューから調整する

自動 PC 調整

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「PC 調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「自動 PC 調整」に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、PC 調整画面が出ます。［SELECT］ボタンをもう一度押して、自動調整を実行させます。

PC 調整メニュー



※自動 PC 調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。

☞45 ～ 46 ページ

※自動調整した内容を一度登録しておくと、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、次ページの「マニュアル PC 調整の手順 3」をご覧ください。

※システムメニューで、480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i が選択されているときは、自動 PC 調整機能ははたらきません。

※ 入力信号がデジタルの時は「PC 調整」メニューは選択できません。

マニュアル PC 調整（「カスタムモード」を登録する）

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーの「システムボックス」に「Auto」と表示され、画像が正しく投影されないときは、PC 調整メニューでマニュアル調整し、「カスタムモード」に登録してください。登録した「カスタムモード」は、システムメニューで選択できます。「カスタムモード」は 10 個まで登録することができます。

※ 入力信号がデジタルのときは「PC 調整」メニューは選択できません。

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「PC 調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で行ないます。

3 **メモリー**

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「PC 調整データ登録」メニューが現われます。

② 登録したいモード（「モード 1 から 10」のいずれか）にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと、「カスタムモード」へ登録され「PC 調整データ登録」メニューへ戻ります。（ポインタは を指しています。）さらに、［SELECT］ ボタンを押すと「メモリー」アイコンに戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「PC 調整データ登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

データ消去

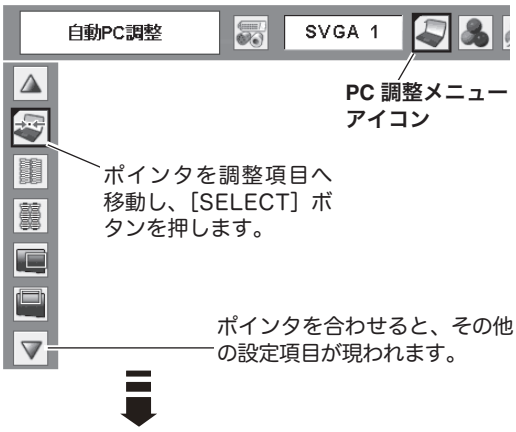
① ポインタを「データ消去」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「PC 調整データ消去」メニューが現われます。

② 消去したいモード（「モード 1 から 10」のいずれか）にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

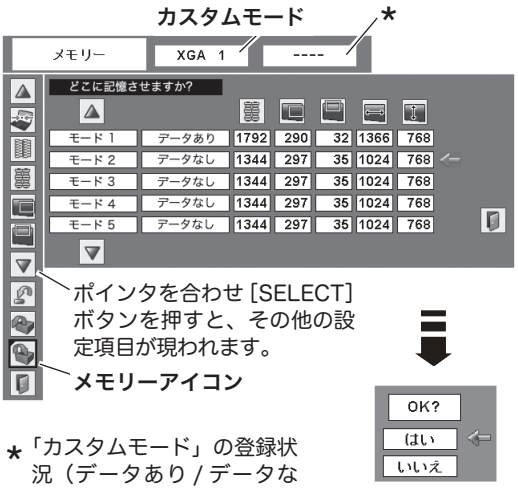
③「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと、「カスタムモード」の登録が解除され、「PC 調整データ消去」メニューへ戻ります。（ポインタは を指しています。）さらに、［SELECT］ ボタンを押すと「データ消去」アイコンに戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「PC 調整データ消去」メニューへ戻ります。消去したいモードを選び直してください。

PC 調整メニュー

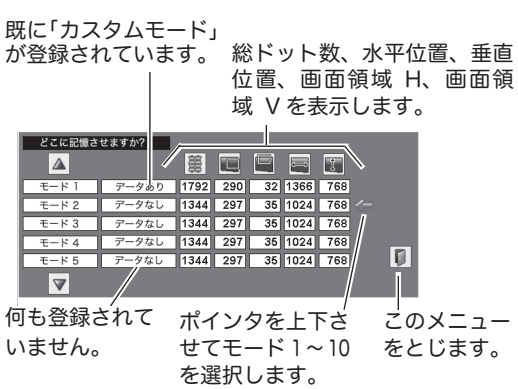


PC 調整データ登録メニュー



* 「カスタムモード」の登録状況（データあり / データなし）を表示します。

※「調整メニュー」の表示内容



リセット

① ポインタを「リセット」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

② 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル(リセット)し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すとキャンセル(リセット)を中止することができます。

③ ポインタが「PC 調整」メニューの に移動します。

戻る

メニューを終了します。

項　目

トラッキング

トラッキング (同期) がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。 (0 から 31 まで)

※ コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。

垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。

コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

クランプ

クランプ位置を調整します。
投影している映像に暗い線が出ているときに使います。

画面領域 H

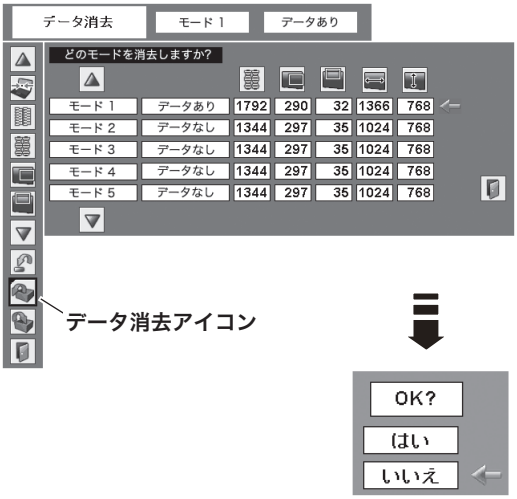
水平解像度を調整します。
[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

画面領域 V

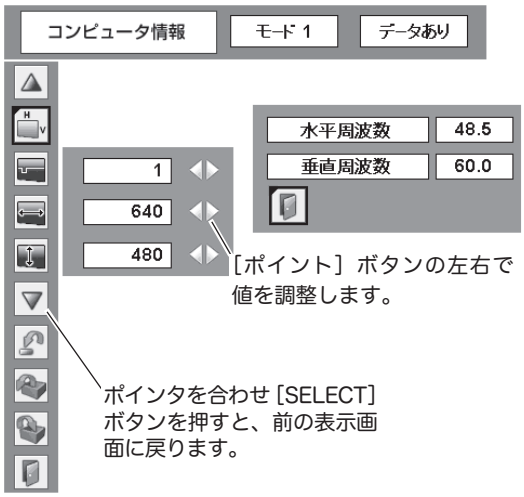
垂直解像度を調整します。
[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

※ システムメニューで 480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i のシステムモードが選択されているときは、「画面領域 H / V」の調整はできません。

PC 調整データ消去メニュー



コンピュータ情報



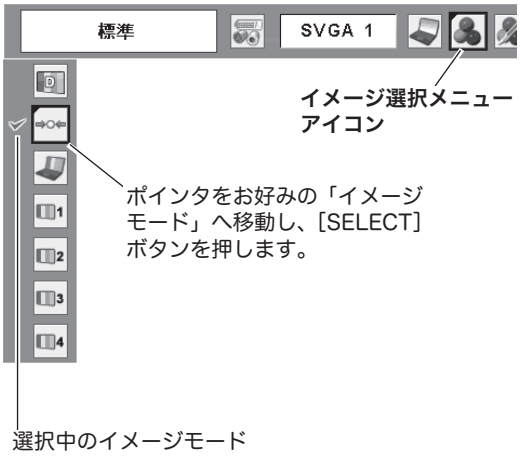
イメージを調整する

イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「イメージ選択」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下で、ポインタをお好みの「イメージモード」に合わせ、［SELECT］ボタンで決定します。

イメージ選択メニュー



ダイナミック

「標準」よりもメリハリの効いた画質を再現することができます。

標　準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）、画質、ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。
※ コンピュータ入力時のみ選択できます。

シネマ

映画を見るのに適した、階調表現を重視した画質です。
※ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ選択できます。

イメージ 1 ～ 4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
※ コンピュータ、ビデオ、コンポーネントの各入力で別々に記憶できます。

マニュアルでイメージ調整を行なう

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「イメージ調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、その項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で行ないます。

3 **メモリー**

※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「イメージ調整登録」メニューが現われます。

② 登録したいイメージモードにポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと登録され、「イメージ調整登録」メニューへ戻ります。さらに、［SELECT］ ボタンを押すと「イメージ調整」メニューに戻ります。（ポインタは自動的に ▯ をさしています。）

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「イメージ調整登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

リセット

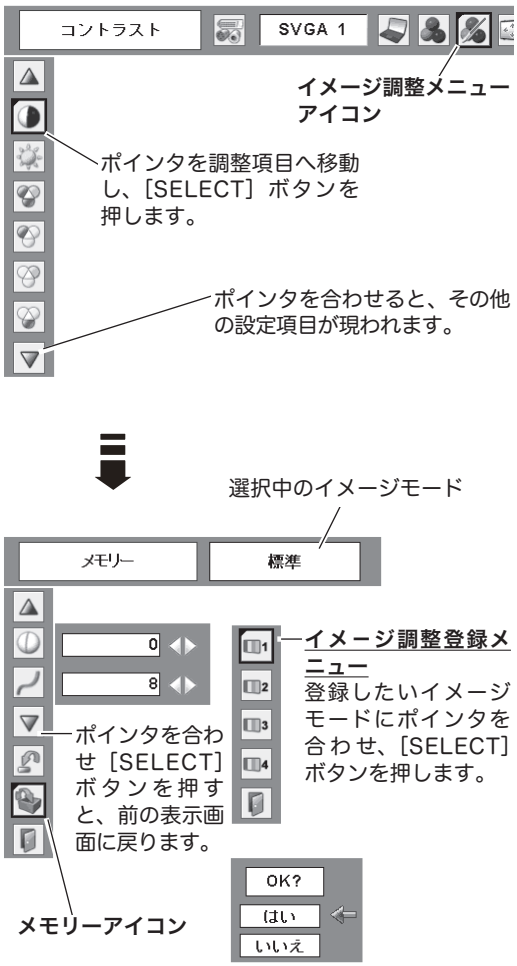
① ポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。

③ ポインタが「イメージ調整」メニューの ▯ に移動します。

戻る

イメージ調整メニュー



項　目 ［ポイント］ボタンの左（◀）右（▶）で調整します。

コントラスト

◀うすくなる　▶こくなる（0 ～ 63）

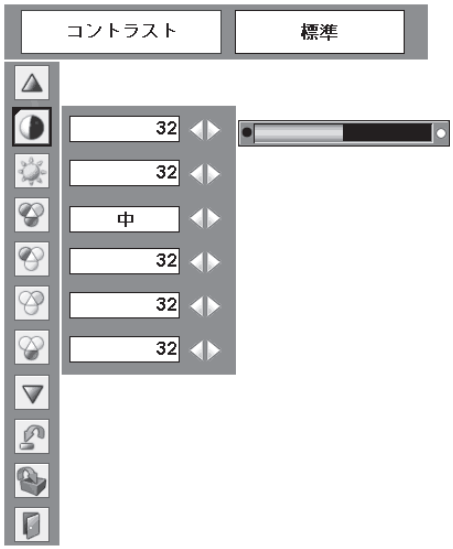
明るさ

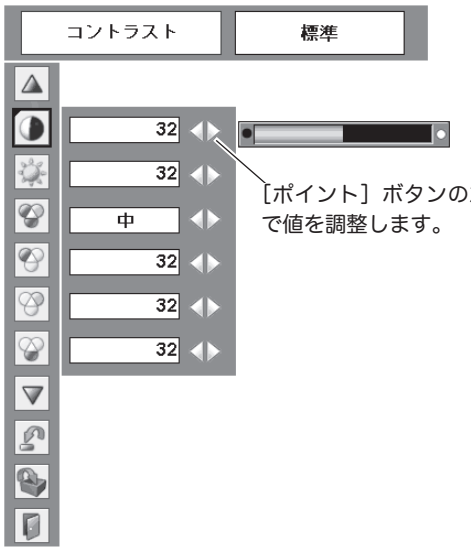
◀暗くなる　▶明るくなる（0 ～ 63）

色の濃さ

◀うすくなる　▶こくなる（0 ～ 63）

※ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。





色合い

◀紫がかる　▶緑がかる（0 ～ 63）

※ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。

※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。

色温度

◀超低へ　▶高へ（超低ー低ー中ー高）

※ 超低（赤みがかる）～高（青みがかる）

※ この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。

※ 「ホワイトバランス」(赤 / 緑 / 青のどれか１つでも)の調整をすると「調整中」と表示されます。

ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）

◀うすくなる　▶こくなる（各色 0 ～ 63）

画　質

◀やわらかい　▶くっきり（0 ～ 15）

ガンマ補正

［ポイント］ボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。(0 ～ 15)

ノイズリダクション

古いビデオやノイズの多い映像を見るとき、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

オフ ・・・ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。

L1 ・・・ノイズリダクション：弱

L2 ・・・ノイズリダクション：強

※ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ設定できます。

※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p、の信号を選択しているときは、「ノイズリダクション」は選択できません。

ノイズリダクションの使い分け

ノイズリダクションを使用すると、動きの早い映像をみるとき、残像が発生することがあります。

- 動きの早い映像（アクション映画など）のときは「L1」（弱）に設定する。
- 動きの遅い映像のときは「L2」（強）に設定する。

プログレッシブ

オフ ・・・・動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは、「オフ」に設定してください。

L1 ・・・・プログレッシブスキャンを「ON」にします。（動画のとき）

L2 ・・・・プログレッシブ スキャンを「ON」にします。（静止画のとき）

フィルム ・・「3-2 プルダウン / 2-2 プルダウン」された映画を投影するときに、映画の質感を損なわずに再生できます。

※ ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ設定できます。

※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p、の信号を選択しているときは、「プログレッシブ」は選択できません。

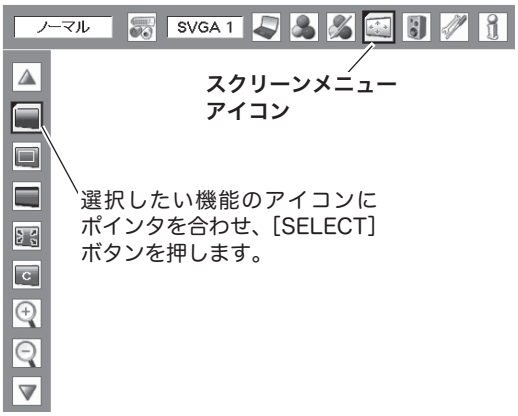
画面サイズを調整する

お好みにより、画像サイズを変えることができます。

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「スクリーン」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下で選択したい項目に合わせ、［SELECT］ボタンで決定します。

スクリーンメニュー (PC)



画面サイズの選択 (ビデオおよびコンポーネント入力画面)

お好みにより、画面サイズを 2 種類の中から選択できます。

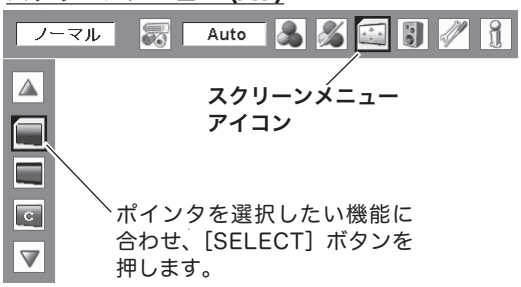
ノーマル

通常の映像のアスペクト比 (横：縦) 4：3 で投影します。

ワイド

DVD プレーヤ等のワイドモードで出力された映像信号を、アスペクト比 16：9 のワイド画面で投影します。

スクリーンメニュー (AV)



C カスタム

画面スケールとポジションをマニュアルで調整します。
「カスタム」を選択すると、画面に数秒間「カスタム」表示が現れ、アスペクトの設定画面が表示されます。

スケール H/V ・・・水平 / 垂直の画面スケールを調整します。

H & V ・・・「オン」に設定すると、アスペクト比が固定されます。このとき「スケール V」は薄く表示されて選択できなくなるため、「スケール H」を調整してください。画面スケールはアスペクト比に応じて自動調整されます。

ポジション H/V ・・・水平 / 垂直の画面位置を調整します。

共通 ・・・設定した画面スケールをすべての入力に反映し、登録します。

① ポインタを「共通」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

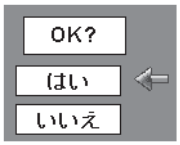
②「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと登録され、アスペクトの設定画面に戻ります。「カスタム」を選択すると、登録した画面スケールが使われます。

リセット ・・・調整した内容をすべてキャンセル（リセット）します。

① ポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。

※ 「スケール H/V」と「ポジション H/V」の調整範囲は、入力信号によって制限があります。
※ 無信号時は調整できません。無信号時は「アスペクト調整」の調整値は反映されません。
※ 無信号時に「カスタム」の選択はできますが、「アスペクト調整」の画面は表示されず、調整することはできません。
※ 調整中に無信号になると、調整値は保存されますが、「アスペクト調整」画面は消えます。



ポインタを「共通」または「リセット」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

画面サイズの選択 (コンピュータ入力画面)

ノーマル

画像を有効投影画面[注)] の高さに合わせて投影します。

リアル

画像をオリジナルサイズで投影します。

① 画像サイズが有効投影画面[注)] よりも小さいときは、画面の中央に投影し、画面左上に「リアル」の表示が現れます。

② 画像サイズが有効投影画面[注)] と同じときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れますが、その後「ノーマル」で投影されます。

③ 画像サイズが有効投影画面[注)] よりも大きいときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れ、画面の上下左右に△が表示されます。[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。

※ 「リアル」を選択しているとき、「デジタルズーム　+・−」は選択することができません。

ワイド

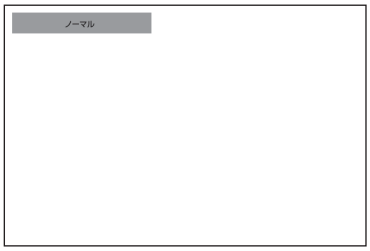
画像を有効投影画面[注)] の幅に合わせ、横 16 : 縦 9 のワイド画面で投影します。

フルスクリーン

アスペクト比、横 4 : 縦 3 のフルスクリーンサイズで投影します。

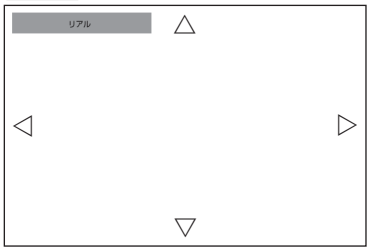
※ 「フルスクリーン」を選択しているとき、「デジタルズーム　+・−」は選択することができません。

ノーマル



※ 表示は約 4 秒間出ます。

リアル



※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

信号の種類別の選択できるモードの一覧

	480i/ 575i/ 480p/ 575p	1035i/ 1080i/ 720p	左記以外
ノーマル	○	○	○
リアル	×	×	○
ワイド	○	×	○
フルスクリーン	×	×	○
カスタム	○	○	○
デジタルズーム +/-	×	×	○

※ 上記の表で○であっても、信号によっては画面表示できない場合があります。

カスタム

画面スケールと位置をマニュアルで調整します。
「カスタム」を選択すると、画面に数秒間「カスタム」表示が現れ、アスペクトの設定画面が表示されます。

スケール H/V ・・・水平 / 垂直の画面スケールを調整します。

H & V ・・・「オン」に設定すると、アスペクト比が固定されます。このとき「スケール V」は薄く表示されて選択できなくなるため、「スケール H」を調整してください。画面スケールはアスペクト比に応じて自動調整されます。

ポジション H/V ・・・水平 / 垂直の画面位置を調整します。

共通 ・・・設定した画面スケールをすべての入力に反映し、登録します。

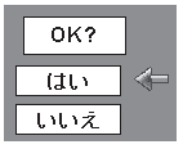
① ポインタを「共通」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

② 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと登録され、アスペクトの設定画面に戻ります。「カスタム」を選択すると、登録した画面スケールが使われます。

リセット ・・・調整した内容をすべてキャンセル（リセット）します。

① ポインタを「リセット」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

② 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。



ポインタを「共通」または「リセット」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

※ 無信号時は調整できません。無信号時は「アスペクト調整」の調整値は反映されません。
※ 無信号時に「カスタム」の選択はできますが、「 アスペクト調整」の画面は表示されず調整することはできません。
※ 調整中に無信号になると、調整値は保存されますが、「アスペクト調整」画面は消えます。
※ 「スケール H/V」と「ポジション H/V」の調整範囲は、入力信号によって制限があります。

デジタルズーム +

「デジタルズーム+」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom ＋」表示が現われます。
[SELECT] ボタンを押すごとに画像が拡大します。
[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。
画像の移動機能は、画像サイズが有効投影画面[注)] よりも大きいときのみはたらきます。

デジタルズーム −

「デジタルズーム −」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom −」表示が現われます。
[SELECT] ボタンを押すごとに画像が縮小します。

※「デジタルズーム」モードから抜けるときは、[D.ZOOM、SELECT、ポイント] 以外のボタンを押します。
※「ノーマル」モードへもどるときは、ポインタを「ノーマル」モードに合わせ [SELECT] ボタンを押します。
※ 本機は UXGA（1600 × 1200 ドット）を超える解像度には対応しておりません。お使いのコンピュータの解像度が UXGA (1600 × 1200 ドット) を超える場合は、プロジェクターに接続する前に低い解像度に再設定してください。
※ 有効投影画面[注)] 以外の画像データは、初期画面で有効投影画面[注)] に合うように自動的に画像サイズが変換されます。
※ PC 調整メニューでマニュアル調整した「カスタムモード」をコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム +」モードのときの画像の移動機能は正しくはたらかないことがあります。
※ システムモード（☞43 ページ）で「VGA、SVGA、SXGA、WXGA、UXGA」が選択されていて、上部への「キーストーン」調整が最大値のとき、「デジタルズーム −」が正しくはたらかないときがあります。
※ 「カスタム」を選択すると、「デジタルズーム − 」ははたらきません。

[注)] 1024x768 ドット

画面サイズの選択 (コンピュータ・ビデオ共通)

キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。 34 ページ

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「スクリーン」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下で選択したい項目に合わせ、［SELECT］ボタンで決定します。

3 ［ポイント］ボタンで「リセット」または「メモリー」を選択し、［SELECT］ボタンを押します。画面からメニュー表示が消えてキーストーン調整モードに入り「キーストーン」表示が現われます。

4 表示が出ている間に［ポイント］ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。

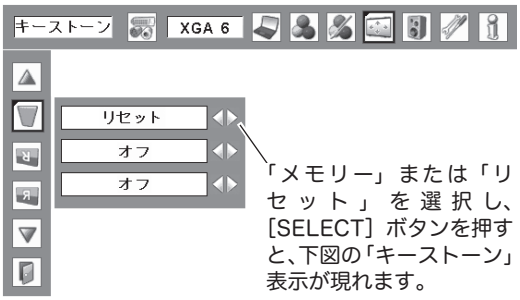
［ポイント］ボタン上・・・画面上部の幅が縮みます。
［ポイント］ボタン下・・・画面下部の幅が縮みます。

「メモリー」、「リセット」は以下のはたらきをします。

メモリー ・・・電源コードを抜いても調整した状態を記憶します。

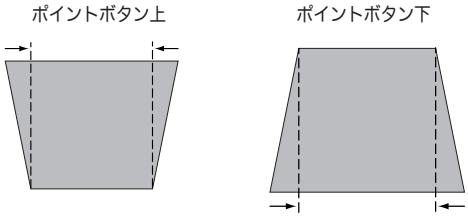
リセット ・・・電源コードを抜くと調整した状態がリセットされます。

※ 「キーストーン」表示が現れているあいだに、［KEYSTONE］ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
※ キーストーン調整後に、天吊りを「オン」すると、補正前の状態に戻ります。
※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。



「メモリー」または「リセット」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、下図の「キーストーン」表示が現れます。

※ 表示は約 4 秒間出ます。
※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。
※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。(無補正の場合の表示は白色です。)
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

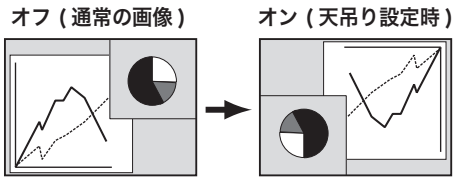


天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

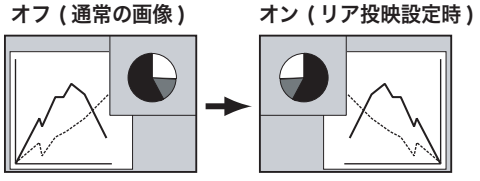
天吊り機能



リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから投影するときに設定します。

リア投映機能



各種機能の設定

「セッティング」メニューで各種機能の設定をする

プロジェクターの各種動作環境の設定をします。

「セッティング」メニュー

言語	メニューの言語を選択します
ロゴ	オープニング画面のロゴを選択します
バックグラウンド	無信号時の背景を選択します
ランプコントロール	ランプの明るさを選択します
ポインタ	ポインタの形状を選択します
リモコンコード	リモコンコードを選択します
リモコン受光部	前後のリモコン受光部を選択します
オンスクリーン表示	オンスクリーンの表示・非表示を選択します
パワーマネージメント	省エネの設定をします
オンスタート	交流電源につなぐだけでオンできます
ファン制御	設置環境に合わせたファンの動作を選択します
セキュリティ	防犯のためセキュリティの設定をします
テストパターン	内蔵テストパターンを選択して投影します
警告履歴	本体に異常があったときの履歴を残します
ランプカウンター	ランプの使用時間を確認またはリセットします
フィルターカウンター	フィルターの使用時間を確認またはリセットします
初期設定	設定を工場出荷状態に戻します

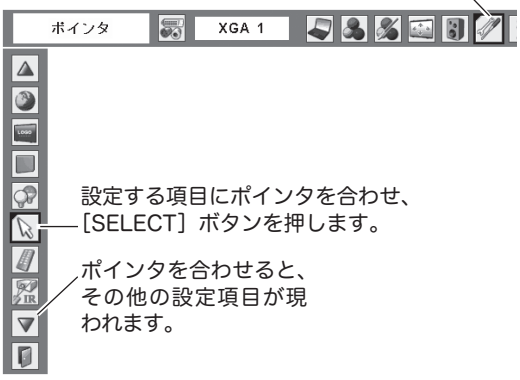
「インフォメーション」メニュー

インフォメーション	接続された信号およびセッティングの状況を表示します ☞35 ページ

手　順

1. ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「セッティング」メニューに合わせます。
2. ［ポイント］ボタンの上下でポインタを設定する項目に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
   選んだ項目の設定画面が現われます。

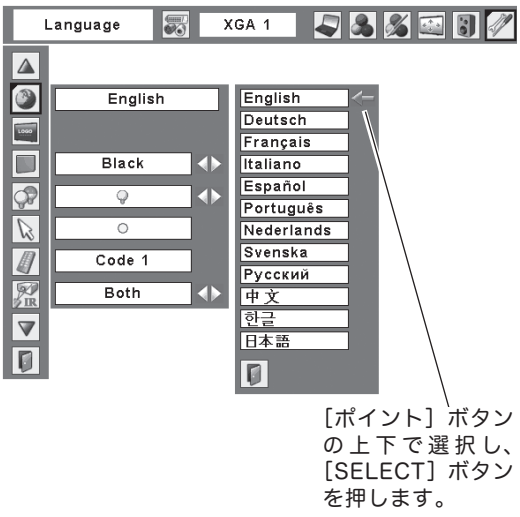
セッティング メニュー　　**セッティング メニュー アイコン**



言　語

画面表示の言語を切り替える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語の 12 か国語の中から選べます。

言語



ロ ゴ

ロゴ選択、画面のキャプチャー、ロゴ選択の暗証番号の設定をします。

※「ロゴ暗証番号ロック」が「オン」のとき、「ロゴ選択」と「キャプチャー」は設定できません。☞57 ページ

ロゴ選択

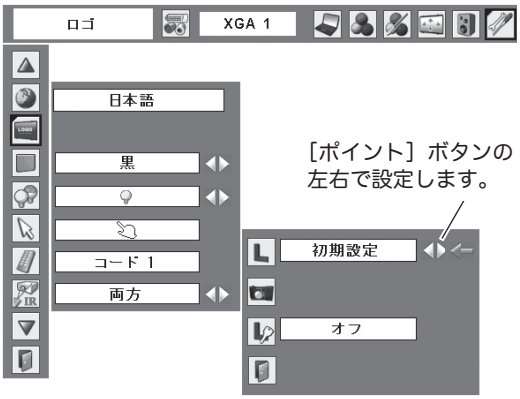
電源を入れたときのロゴ表示を選択することができます。

ユーザー ・・・キャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。

初期設定 ・・・工場出荷時の設定を表示します。

オフ ・・・・・ ロゴ表示を画面に出しません。

ロゴ選択



キャプチャー

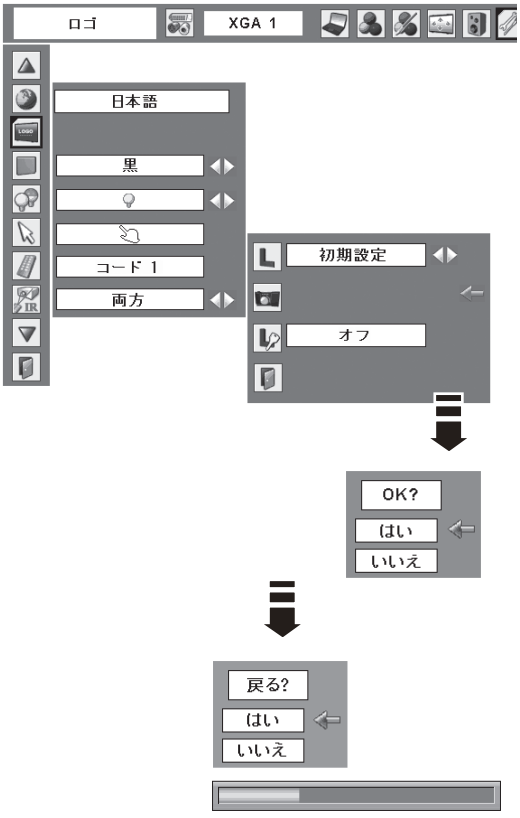
投影している画面を取り込んで、スタートアップロゴにしたり、バックグラウンドにしたりすることができます。
キャプチャー機能を設定するときは、「ロゴ」機能で「ユーザー」を選択してください。

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「キャプチャー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。
「はい」・・・・画面の取り込みを始めます。
「いいえ」・・・キャプチャー機能を取り消します。

2 「はい」を選択すると、取り込みを始めます。
取り込みの進行を示すバーが現れます。
取り込みが完了するとメニュー表示は消えます。
このとき、取り込みを中止したいときは、バーの上にある「戻る？」の「はい」＊を選択し［SELECT］ボタン押します。

※ 「ユーザー」へ保存できるのは１画面のみです。
※ 適切な画面を取り込むために、イメージモードは標準を選択しておいてください。
※ 画像を取り込むときは「キーストーン」調整を一時的に解除します。
※ この機能が使えるのは以下の信号のときです。
コンピュータ・・・XGA 以下（ただし、「画面領域 H」を 1025 以上、「画面領域 V」を 769 以上に設定すると不可）
ビデオ・・・コンポジット、S ビデオ、480p、575p、480i、575i、RGB（Scart）
※ 画面の取り込みが終了していないと、「ロゴ選択」で「ユーザー」は選択できません。

キャプチャー



ご注意 ＊

「戻る？」で「はい」を選択すると、すでに「ユーザー」に保存していた画像の登録も削除されます。

ロゴ暗証番号ロック

「ロゴ」の設定･変更を暗証番号を持つ管理者以外できなくします。
設定により以下のモードが選択できます。

「オン」・・・暗証番号を入れないと「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更はできません。
「オフ」・・・暗証番号なしで「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更ができます。

手　順

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「ロゴ暗証番号ロック」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、暗証番号を入力する画面が現れます。
※「オン」「オフ」のどちらを選択していても暗証番号の入力画面は表示されます。

2 暗証番号を入力します。

3 暗証番号が承認されると、「ロゴ暗証番号」の「オン・オフ」の設定と、暗証番号の変更ができる画面が現れます。
「オン・オフ」は［ポイント］ボタンの左右で切り替え、選択します。
暗証番号の変更は次ページを参照ください。

4 終了するときは、［ポイント］ボタン下でポインタを に移動し、［SELECT］ボタンを押します。

暗証番号の入力方法

リモコンで入力する

1 リモコンの数字ボタンで０～９の数字を選択し、４けた全ての数字を入力します。４けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。
☞ 下記「手順 *3*」へ

本体で入力する

1 ［ポイント］ボタンの上下で０～９の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを２けた目に移動します。（1 けた目の表示が「＊」に変わります。）この操作を繰り返し、４けた全ての数字を入力します。

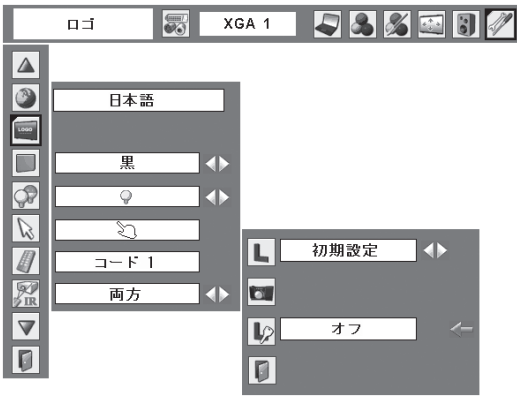
2 ４けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

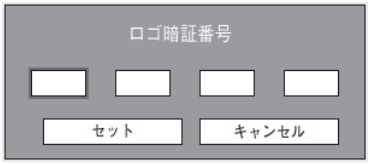
3 [SELECT] ボタンを押して決定します。

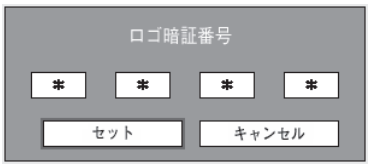
4 正しく入力されていると、「ロゴ暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。☞ 上記「手順 *3*」

※ 工場出荷時のロゴ暗証番号の数字は、「4321」です。
※ 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは [ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
※「キャンセル」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「ロゴ暗証番号ロック」の選択画面に移動します。

ロゴ暗証番号ロック







設定画面 へ

次ページへ

暗証番号を変更する

1 ［ポイント］ボタンの上下で「ロゴ暗証番号変更」を選択し、[SELECT] ボタンを押します

リモコンで入力する	本体で入力する
2 リモコンの数字ボタンで０～９の数字を選択し、４けた全ての数字を入力します。４けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。 ☞ 下記「手順 *4*」へ	*2* ［ポイント］ボタンの上下で０～９の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを２けた目に移動します。この操作を繰り返し、４けた全ての数字を入力します。 *3* ４けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

※ このときは決定した数字も見えています。変更後の数字をはっきり確認していただけるように、数字を見せています。

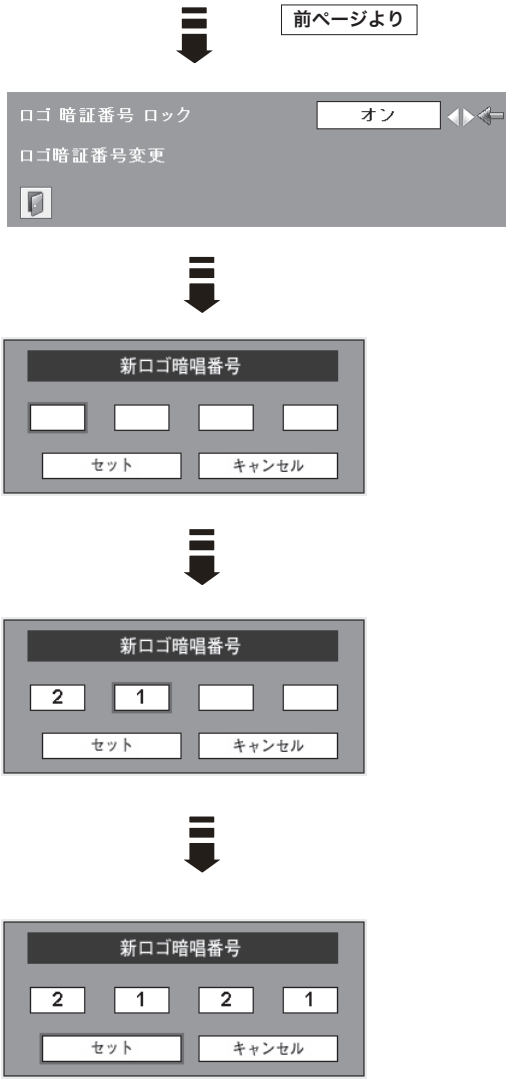
4 [SELECT] ボタンを押して決定します。

5 さらに「OK?」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

6 「ロゴ暗証番号ロック」メニューの画面まで戻ります。

メモ

- 入力を中断し、この機能を操作するのをやめるときは、[ポイント] ボタンの左右で「キャンセル」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、「ロゴ暗証番号変更」メニューの画面まで戻ります。
- 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは [ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
- 以下のようなときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。
  - 「ロゴ暗証番号」と入力した数字 (見た目は「＊」) が赤く表示された。
  - 「ロゴ暗証番号」と入力する枠が赤く表示された。



バックグラウンド

バックグラウンドに３つの形式が選択できます。入力信号が無信号になったとき、以下の中から設定したものがバックグラウンドに表示されます。

青	・・・背景がブルーになります。
ユーザー	・・・キャプチャー機能で取り込んだ画像が表示されます。
黒	・・・背景がブラックになります。

※ キャプチャー画像が無いときは、「ユーザー」は選択できません。

ランプコントロール

ランプの明るさを 6 段階で切り替え・選択することができます。

オート 1 モード	調光回路が働いて、明るさ（ノーマルモード〜エコモード間）を自動的に調整します。
オート 2 モード	調光回路が働いて、明るさ（ハイモード〜エコモード間）を自動的に調整します。
ハイモード	最も明るい設定です。
ノーマルモード	ハイモードとエコモードの中間の明るさです。
エコモード 1	明るさ（ランプの消費電力）を抑え、ノーマルモードよりファン回転数を低く設定します。
エコモード 2	明るさ（ランプの消費電力）を抑え、ハイモードと同じファン回転数に設定します。プロジェクターを長時間使用するときは、この設定をお勧めします。冷却ファンのノイズはエコモード 1 より大きくなりますので、設置環境に適したモードを選んでください。

※ ［ポイント］ボタン右で → → → → → → の順に表示が切り替わります。

ポインタ

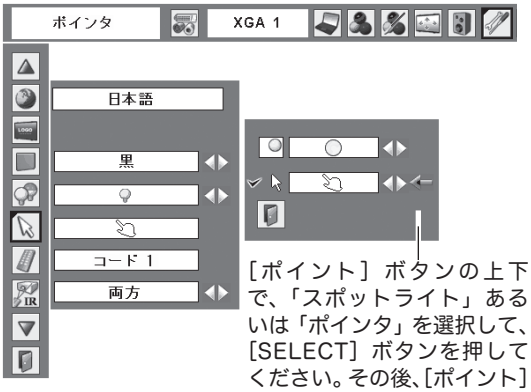
この機能を使うときに表示させるポインタの種類を選択します。

ポインタをポインタアイコンに合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、ポインタの種類を選択するメニューが現われます。［ポイント］ボタンの上下で表示させたいポインタを選択します。さらに［ポイント］ボタンの左右で大きさや種類を選択します。

スポットライト・・・大・中・小
ポインタ・・・指先・矢印・ドット（赤い点）

この機能の操作は 69 ページを参照ください。

ポインタ



［ポイント］ボタンの上下で、「スポットライト」あるいは「ポインタ」を選択して、［SELECT］ボタンを押してください。その後、［ポイント］ボタンの左右で、スポットライトの大きさや、ポインタの種類を選択します。

リモコンコード

本機は 8 種類のリモコンコード（「コード 1」〜「コード 8」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。

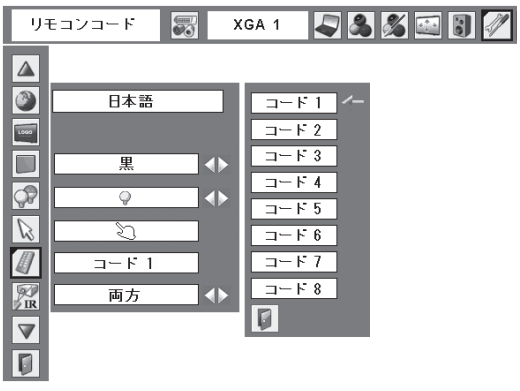
工場出荷時は「コード 1」に設定されています。

リモコンコードを他のコード（「コード 2 〜コード 8」）に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り替える必要があります。

プロジェクターのリモコンコードを切り替えるにはメニューのリモコンコードを選択し、設定するリモコンコードを選択します。リモコンのコードの切り替えは、リモコン本体で行ないます。

（☞20 ページ「リモコンコードの設定」）

リモコンコード



リモコン受光部

リモコン受光部は、プロジェクター本体の前部・後部にあります。
リモコンを受け付ける受光部を選択することができます。

両方・・・前部・後部両方受け付けます。
前・・・前部のみ受け付けます。
後・・・後部のみ受け付けます。

オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

オン・・・すべての画面表示を出します。
ある程度投影画面が明るくなってから、映像を映したいときに選択します。

カウントダウンオフ・・・ランプ点灯後 30 秒のカウントダウンを表示せず、すぐに投影します。
投影画面が少し暗くても早く映像を映したいときに選択します。

オフ・・・以下の画面表示以外は出しません。
- メニューバー表示 39 ページ
- 電源を切るときの、「もう 1 度押すと電源が切れます」の表示 32 ページ
- P-TIMER 表示 36 ページ
- 自動 PC 調整の「しばらくお待ち下さい」の表示
- パワーマネージメント時のタイマー表示
- 画面サイズが大きいとき表示される「△」の矢印 52 ページ
- フィルター警告 (赤) 表示 66 ページ

パワーマネージメント

パワーマネージメント機能の動作設定を行ないます。

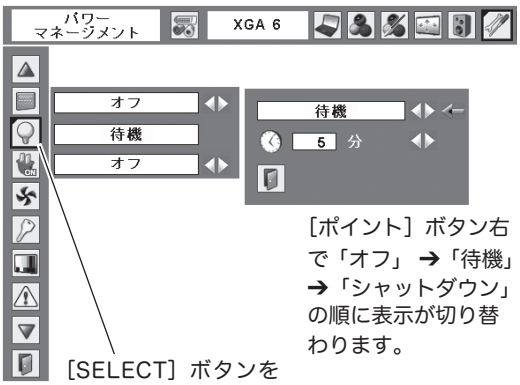
オフ・・・・・・パワーマネージメント機能を解除します。
待機・・・・・・設定された時間が経つとランプが消灯しランプ冷却動作に入ります。ランプの冷却が完了すると［POWER］インジケータが緑の高速点滅を始めます。この時信号が入力されたり、プロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投影されます。
シャットダウン・・設定された時間が経つとランプが消灯し電源が切れます。

タイマーの設定

- ［ポイント］ボタンの左右でパワーマネージメント機能が動作を開始するまでの時間を設定します。1 ～ 30 分の範囲で設定できます。
- パワーマネージメント動作詳細については 32 ページを参照ください。

※ 工場出荷時は「待機・5 分」に設定されています。
※「FREEZE（36 ページ）」または、「NO SHOW（36 ページ）」機能がはたらいているときは、パワーマネージメントは動作しません。
※ パワーマネージメントがはたらくと、「P-TIMER（36 ページ）」はリセットされます。

パワーマネージメント



［SELECT］ボタンを押して設定画面に入ります。

［ポイント］ボタン右で「オフ」➔「待機」➔「シャットダウン」の順に表示が切り替わります。

ランプ消灯までの時間

オンスタート

電源コードを接続すると、リモコンの［ON］ボタン、操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンを押さなくても自動的にプロジェクターの電源を入れる機能です。

オン ・・・電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

オフ ・・・通常の電源の入り・切りを行ないます。電源コードを接続しても、リモコンの［ON］ボタンまた、操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

電源オン・オフは正しい操作で行なってください。

ランプの冷却が終わり、再点灯できる状態になるまで、［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。

ファン制御

プロジェクターの設置場所や設置角度によって、冷却ファンの回転動作を切り替える機能です。

傾斜設定

プロジェクターを傾けて設置するときに、その傾きによって指定のモードに設定してください。

オフ ・・・本体前後方向の傾斜が、± 20 度以内のとき、および +160 ～ 180 度、-160 ～ -180 度のとき

L1 ・・・本体前後方向の傾斜が、+20 度～ +160 度のとき

L2 ・・・本体前後方向の傾斜が、– 20 度～– 160 度のとき

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

高地設定

プロジェクターを高地に設置するとき、「オン」に設定してください。

オフ ・・・高地に設置しないとき

オン ・・・高地に設置するとき

※ 「高地」の目安として、海抜約 1200m を超える地域では、「オン」で使用することを推奨します。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

※ これらの設定が適切でないと、プロジェクターの寿命を縮めるのみならず、故障の原因となります。

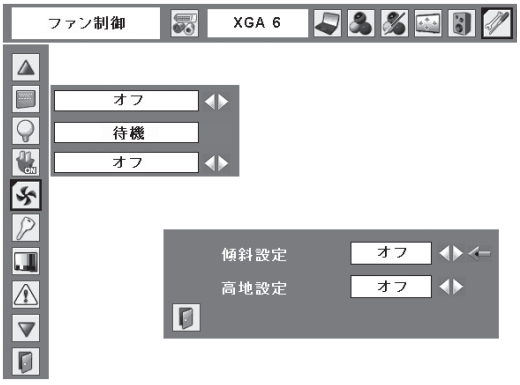
※ 「オン」を選択すると、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択すると、「しばらくお待ち下さい」と 90 秒ほど表示され、「高地設定」が「オン」に設定されます。「いいえ」を選択すると、「高地設定」は「オフ」に設定されます。

高地に設置する際はご注意ください。

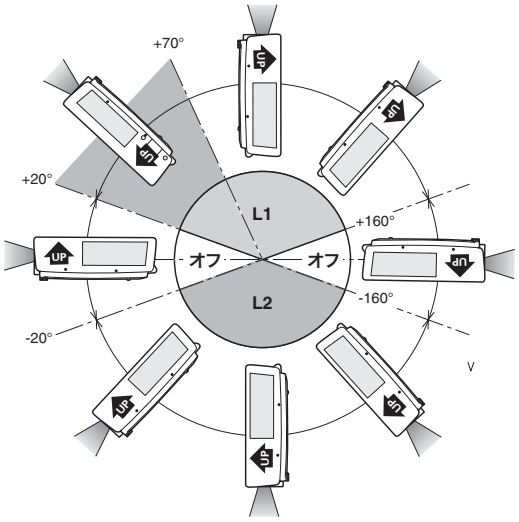
・プロジェクターを高地に設置するときは、必ず清潔なエアフィルターを使用してください。

・画面に「しばらくお待ち下さい」の表示が出ているときは、リモコンの［STAND-BY］ボタンまたは操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタン以外は操作できません。このとき［STAND-BY］ボタンを押すと、「高地設定」は「オフ」に設定されます。

ファン制御



設置傾斜角度と「傾斜設定」の設定範囲



※ 上図のように、プロジェクターを斜め上向きに設置する場合は、裏返し設置してください。
☞11 ページ

セキュリティ

操作ボタンのロックと、暗証番号でプロジェクターの操作をロックする設定をします。

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「セキュリティ」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、項目を選択する画面が現れます。

2 ［ポイント］ボタンの上下で項目を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、設定画面が現れます。
※ 設定の詳細は、各項目を参照してください。

キーロック

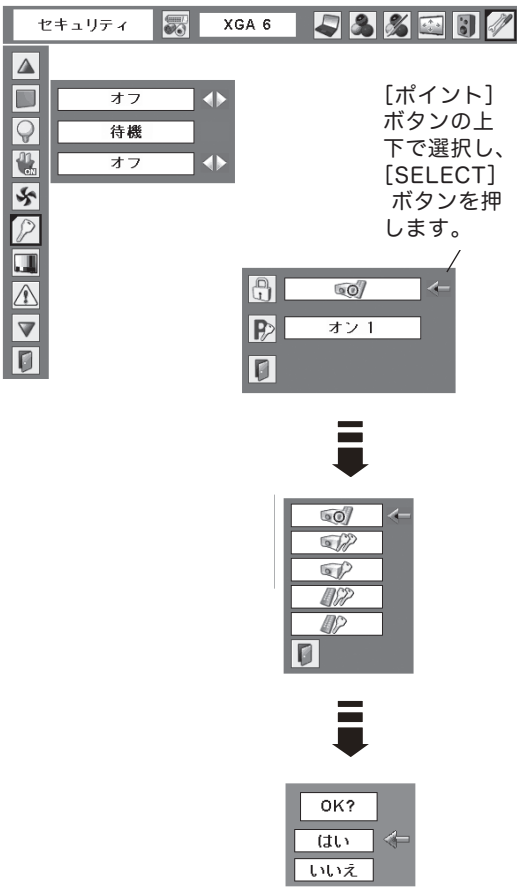
操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。たとえば、リモコンをプロジェクターの鍵として使うこともできます。

- ・・・ キーロックは「オフ」の状態です。
- ・・・ 操作パネルからの全ての操作をロックします。
- ・・・操作パネルからの下記以外の操作をロックします。
  ON/STAND-BY、INPUT、INFO.
- ・・・リモコンからの操作を全てロックします。
- ・・・リモコンからの下記以外の操作をロックします。
  ON、STAND-BY、INPUT 1/2/3、AUTO PC、FREEZE、INFO.

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

※ 解除できなくなったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

キーロック



手　順

上記「*1* ～ *2*」に続いて、

3 ポインタをいずれかに合わせ、［SELECT］ボタンを押すと「OK ？」の表示が現れます。

4 「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、登録が完了し、設定画面へ戻ります。
※ 「いいえ」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、選択画面に戻ります。設定する項目を選び直してください。

暗証番号ロック

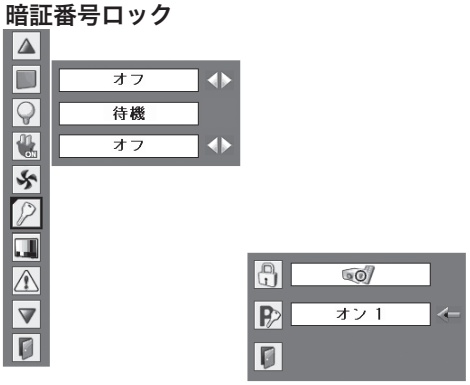
暗証番号により、プロジェクターの管理者以外のプロジェクターの操作を防止します。設定により以下のモードが選択できます。

オフ ・・・「暗証番号ロック」を解除します。通常の操作をすることができます。

オン 1 ・・・電源を入れるときに暗証番号が要求されます。

オン 2 ・・・一度入力した暗証番号は、電源コードを抜くまで有効です。一度電源コードを抜くと、その次に電源を入れるときに暗証番号が要求されます。［ON/STAND-BY］ボタンで電源の入り・切りをするだけで、電源コードを抜かないときは、暗証番号が要求されることなく、通常の操作をすることができます。

暗証番号ロック



※ 手順は次ページへ

手　順

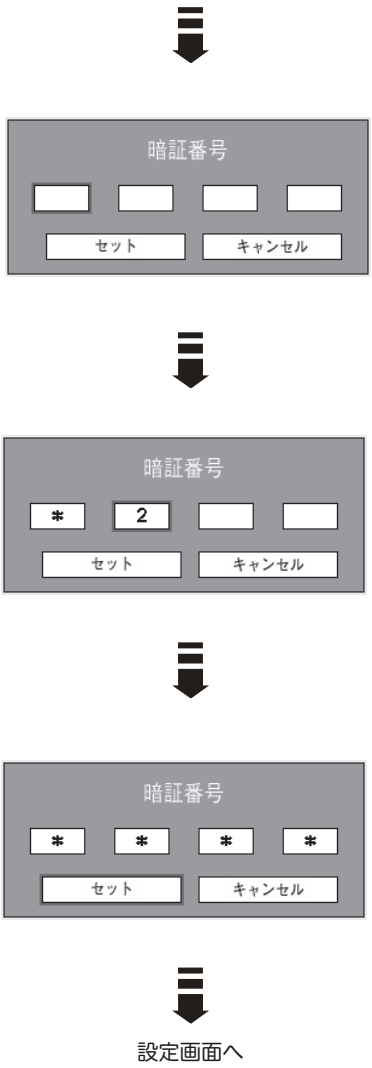
前ページ「*1* ～ *2*」に続いて、

3 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「暗証番号ロック」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと暗証番号を入力する画面が現れます。

4 暗証番号を入力します。
※ 下記「暗証番号の入力方法」を参照ください。

5 暗証番号が承認されると、「暗証番号」の「オン 1・オン 2・オフ」の設定と、暗証番号の変更ができる画面が現れます。
「オン 1・オン 2・オフ」は［ポイント］ボタンの左右で切り替え、選択します。
暗証番号の変更は次ページを参照ください。

6 終了するときは、［ポイント］ボタン下でポインタを に移動し、［SELECT］ボタンを押します。



暗証番号の入力方法

リモコンで入力する

1 リモコンの数字ボタンで０～９の数字を選択し、４けた全ての数字を入力します。４けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。
☞ 下記「手順 *3*」へ

本体で入力する

1 ［ポイント］ボタンの上下で０～９の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを２けた目に移動します。（1 けた目の表示が「＊」に変わります。）この操作を繰り返し、４けた全ての数字を入力します。

2 ４けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

3 [SELECT] ボタンを押して決定します。

4 正しく入力されていると、「暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。☞ 上記「手順 *5*」

※ 工場出荷時の暗証番号は、「1234」です。
※ 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは [ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
※「キャンセル」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「暗証番号ロック」の選択画面に移動します。

次ページへ

暗証番号を変更する

1 ［ポイント］ボタンの上下で「暗証番号変更」を選択し、[SELECT] ボタンを押します

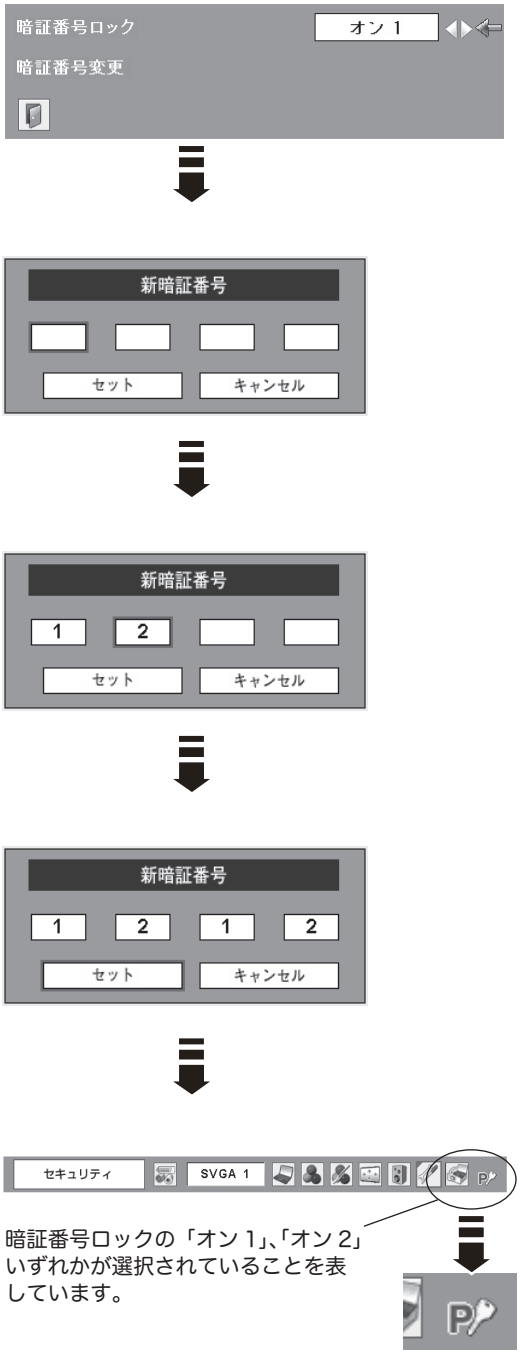
リモコンで入力する	本体で入力する
2 リモコンの数字ボタンで０～９の数字を選択し、４けた全ての数字を入力します。４けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。 ☞ 下記「手順 *4*」へ	*2* ［ポイント］ボタンの上下で０～９の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを２けた目に移動します。この操作を繰り返し、４けた全ての数字を入力します。 *3* ４けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

※ このときは決定した数字も見えています。変更後の数字をはっきり確認していただけるように、数字を見せています。

4 [SELECT] ボタンを押して決定します。

5 さらに「OK?」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

6 「暗証番号ロック」の選択画面に戻ります。



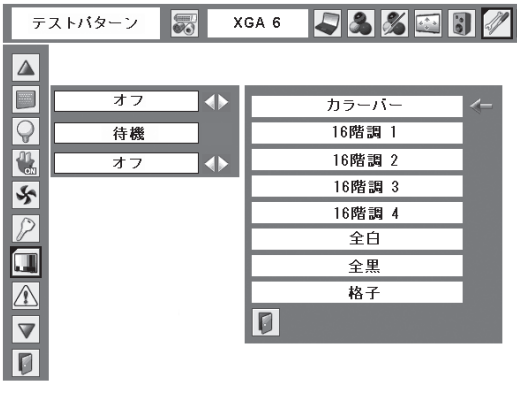
メモ

- 入力を中断し、この機能を操作するのをやめるときは、［ポイント］ボタンの左右で「キャンセル」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、「暗証番号変更」メニューの画面まで戻ります。
- 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは [ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
- 以下のようなときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。
  - 「暗証番号」と入力した数字 (見た目は「＊」) が赤く表示された。
  - 「暗証番号」と入力する枠が赤く表示された。

テストパターン

外部からの信号源が無くても、プロジェクター本体に内蔵されたテストパターンを投影することができます。プロジェクターを設置するときに便利です。
カラーバー、16 階調 1 ～ 4、全白、全黒、格子パターンの８種類の中から選べます。

- テストパターンが全画面表示されているときに、[ポイント] ボタンの上下を押すと、その前後のテストパターンに切り替わります。
- テストパターンを終了するときは、[MENU] ボタン、または [SELECT] ボタンを押します。
  ※ テストパターンのメニュー画面に戻ります。

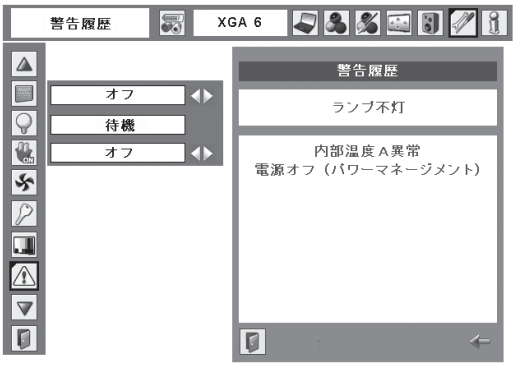


警告履歴

プロジェクターの警告履歴が 10 件まで順を追って表示されます。最上段のカラムに最新の警告が表示され、その下のカラムに過去の履歴が表示されます。

- 履歴が 10 件を超えると履歴の古いものから削除されます。
- 初期設定を実行すると、全て削除されます。

警告履歴（例）

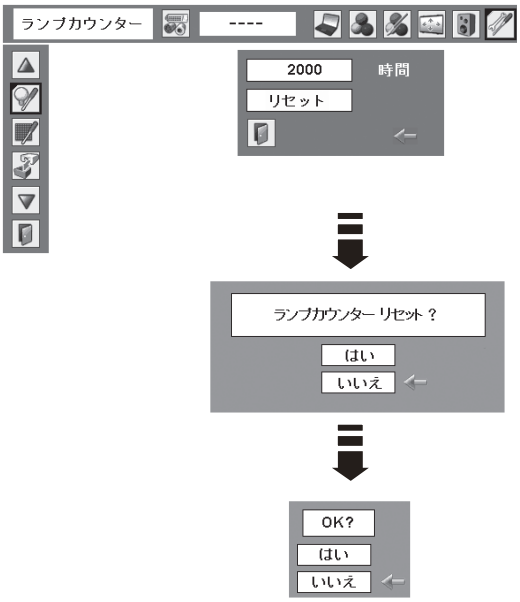


ランプカウンター

ランプカウンター（実使用時間）をリセットします。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると［LAMP REPLACE］インジケータ (黄) の点灯、および「ランプ交換」のお知らせ表示が消えます。☞70、75 ページ

⚠ 注意 ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

ランプカウンター



1. ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「ランプカウンター」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
2. ランプの使用時間と、カウンターをリセットする項目が現れます。［ポイント］ボタンの上下でポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
3. 「ランプカウンターリセット？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
4. さらに、「OK ？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

   ※ポインタは「2」の画面にある に戻ります。

ランプ交換をお知らせする画面表示について

< 図 1 >
ランプ点灯中にランプ交換推奨残時間が 100 時間未満になったとき、画面右上に表示されます。また、その後、下記の操作をしたときにも表示されます。
・電源を入れたとき
・インプットを切り替えたとき

図 1

< 図 2 >
ランプ点灯中にランプ交換推奨残時間が 0 時間になったとき、画面右上に表示されます。また、その後、下記の操作をしたときにも表示されます。
・電源を入れたとき
・インプットを切り替えたとき（アイコンのみ表示）

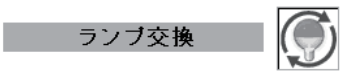


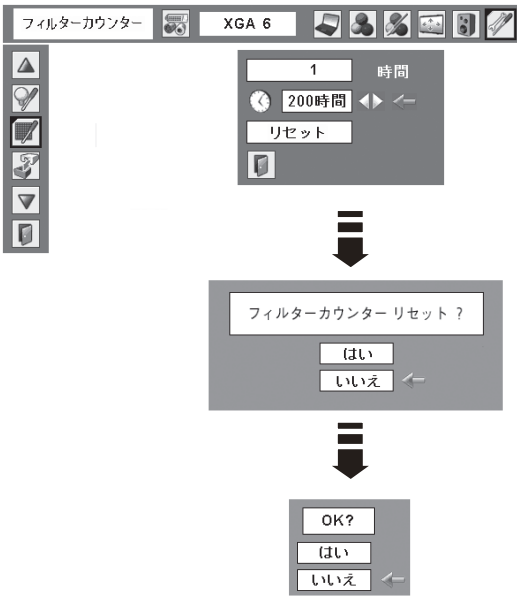
図 2

※ いずれも、「オンスクリーン表示・オフ」(☞60 ページ) のとき、「FREEZE」(☞36 ページ) 中、「NO SHOW」(☞36 ページ) 中は、表示されません。
※ [LAMP REPLACE] インジケータは、ランプ点灯中にランプ交換推奨残時間が 0 時間になった後、点灯します。スタンバイ時も点灯したままです。☞70、75 ページ
※ ランプカウンターをリセットすると、これらの表示が消えます。

フィルターカウンター

フィルターカウンター（実使用時間）のリセットとエアフィルターのお掃除時期を知らせる時間を設定します。エアフィルターの掃除または交換後は必ずフィルターカウンターをリセットしてください。リセットすると［WARNING FILTER］インジケータ (橙) の点灯および「フィルター警告」のお知らせ表示が消えます。
☞72、75 ページ

フィルターカウンター



> **⚠ 注意** エアフィルターを掃除したとき、または交換したとき以外はリセットしないでください。

タイマーの設定

エアフィルターのお掃除時期のお知らせ画面表示を表示させるまでの時間を設定します。（オフ /100 時間 /200 時間 /300 時間）
ポインタをタイマーに合わせ、[ポイント] ボタンの左右で切り替えます。
※ 工場出荷時は「200 時間」に設定されています。

フィルターカウンターのリセット

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「フィルターカウンター」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

2 フィルターの使用時間と、カウンターをリセットする項目が現れます。［ポイント］ボタンの上下でポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

3 「フィルターカウンターリセット？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

4 さらに、「OK ？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

※ポインタは「*2*」の画面にある に戻ります。

エアフィルターお掃除時期のお知らせ画面表示について

< 図 1 > 黄色の「フィルター警告」
ランプ点灯中に「フィルターカウンター」メニューのタイマーで設定した時間（工場出荷時は 200 時間）が経過したとき、画面右上に表示されます。また、下記の操作をしたときにも表示されます。
・電源を入れたとき
・インプットを切り替えたとき（アイコンのみ表示）

※ 「オンスクリーン表示・オフ」(☞60 ページ) のとき、「FREEZE」(☞36 ページ) 中、「NO SHOW」(☞36 ページ) 中は、表示されません。
※ 同様のお知らせ機能として、タイマーで設定した時間が経過したとき、[WARNING FILTER] インジケータ (橙) が点灯します。(スタンバイ時も点灯したままです。)
※ フィルターカウンターをリセットすると、消えます。

図 1 黄色

図 2 赤色

< 図 2 > 赤色の「フィルター警告」
上記のタイマーとは関係なく、エアフィルターの目詰まりを検知したときに画面右上に表示されます。そのまま放置しフィルターの目詰まりが解消されない場合、15 分おきに表示されます。（インプットを切り替えたときは、アイコンのみ表示されます。）

※「FREEZE」中、「NO SHOW」中は、表示されません。
※ 同様のお知らせ機能として、[WARNING FILTER] インジケータが本機の動作中点滅します。(スタンバイ時は消灯します。)
※ タイマーのリセットとは関係なく、目詰まりが解消すれば消えます。

初期設定

下記の設定以外を、工場出荷状態に戻します。
- ランプカウンター（点灯時間）
- フィルターカウンター（実使用時間）
- ロゴ暗証番号ロック
- 暗証番号ロック
- ユーザーロゴ

※ この設定は電源コードを抜いても有効です。

ご注意

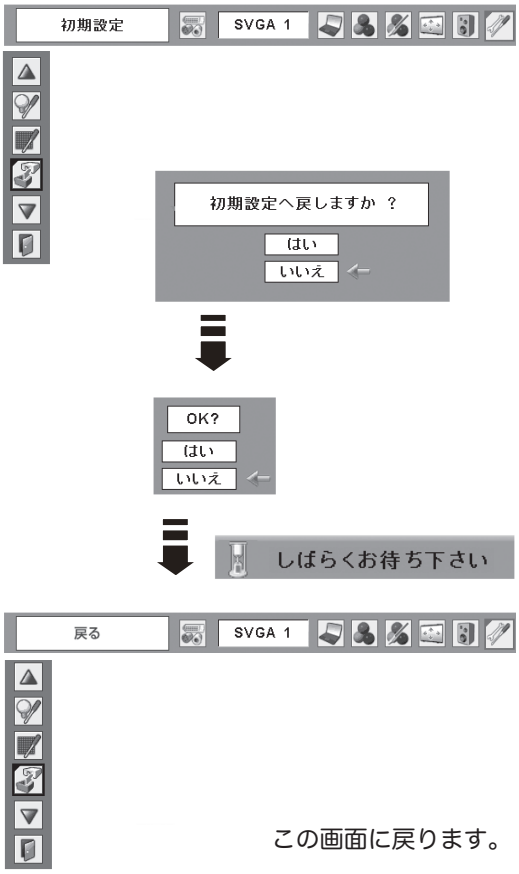
この設定が実行されると、お客さまが設定された内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態となります。

1 ［ポイント］ボタンの上下で「初期設定」にポイントを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

2 「初期設定へ戻しますか？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で「はい」にポイントを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

3 さらに、「OK ？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で「はい」にポイントを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。設定が工場出荷時に戻ります。

初期設定



この画面に戻ります。

リモコンでコンピュータを操作する

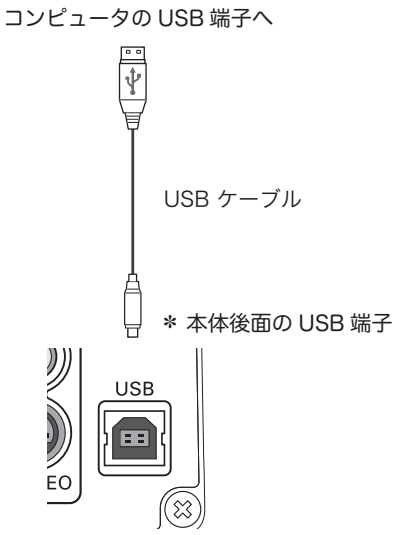
付属のリモコンはコンピュータのワイヤレスマウスとしてお使いいただけます。

準備をしてください

はじめにコンピュータに USB 端子があることを確認してください。
USB 端子以外の端子ではご使用になれません。

1 付属の USB ケーブルで、コンピュータの USB 端子と、本機の［USB］端子＊を接続します。

2 USB ケーブルを接続したら、はじめにプロジェクターの電源を入れてからコンピュータを立ち上げてください。先にコンピュータを立ち上げると正しく動作しない場合があります。



マウス機能を使うときは、以下のことを確認してください。

①コンピュータ入力が選択されており、その入力信号が入力されている。（下記のいずれか）
- 「インプット 1」の「RGB（PC アナログ）」
- 「インプット 1」の「RGB（PC デジタル）」
- 「インプット 2」の「RGB」

②電源が「オン」になっていて、ランプが点灯している。

マウスポインタの動かし方

マウスポインタの操作は、「マウスポインタボタン」「左クリックボタン」「右クリックボタン」で行ないます。

マウスポインタボタン

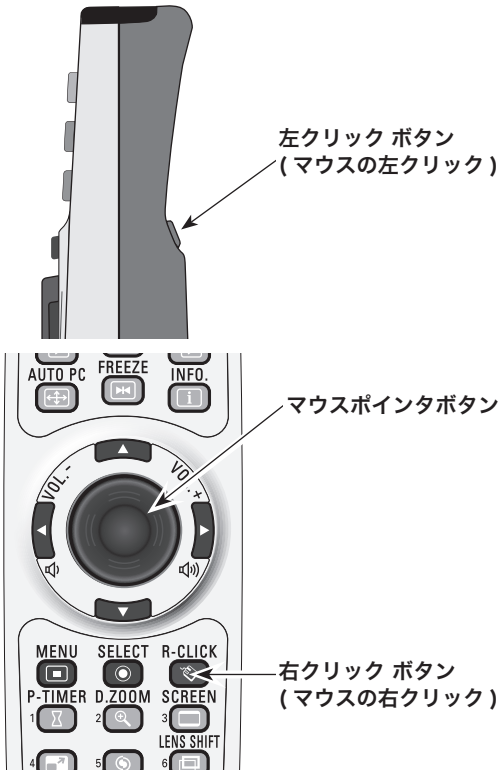
マウスポインタの移動を行ないます。
上下左右方向を押すと、マウスポインタが移動します。

左クリック ボタン

コンピュータマウスの左クリックのはたらきをします。

右クリック ボタン

コンピュータマウスの右クリックのはたらきをします。

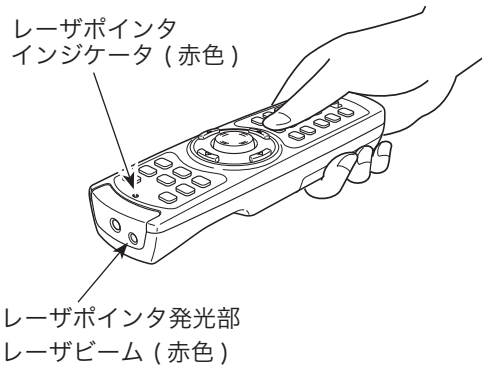


ポインタの操作

レーザポインタ

警　告

リモコンのレーザポインタの発光部をのぞき込んだり、人や鏡など反射するものに向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。



リモコンの［LASER］ボタンを押している間［レーザポインタ］インジケータ (赤色) が点灯し、リモコンのレーザポインタ発光部からレーザビームが出ます。 ☞18 ～ 19 ページ
ボタンを押すのを止めると、レーザビームの発光は止まります。

※ ［LASER］ ボタンは操作パネルにはありません。
※ ［LASER］ボタンを押し続けても、1 分経つと安全のため自動的にレーザビームの発光が止まります。
［LASER］ボタンを押すのを止め、再び ［LASER］ボタンを押すと、レーザビームが出ます。

スポットライト・ポインタ機能に切り替える

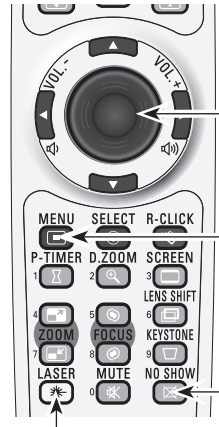
レーザビームをスポットライトやポインタ表示に切り替えることができます。

1 ［MENU］ボタンと［NO SHOW］ボタンを同時に 10 秒押します。レーザポインタ機能からポインタ機能に切り替わります。

2 リモコンの［LASER］ボタンを押して、［LASER］ボタンが緑に点灯するか確かめてください。緑に点灯していれば、スポットライト、またはポインタが表示されます。［プレゼンテーション］ボタンで、スポットライトまたはポインタを画面上で移動させることができます。
※［LASER］ボタンが緑に点灯せず、レーザビームが発光する場合は、ポインタ機能に切り替わっていません。［LASER］ ボタンが緑に点灯するまで、「***1***」の作業を行なってください。

3 スポットライトまたはポインタの表示を消すときは、リモコンをプロジェクターに向けて、［LASER］ボタンを押します。リモコンの［LASER］ボタンの緑の点灯も消えます。

※ 以下の操作でレーザポインタ機能に戻すことができます。
① ［MENU］ボタンと［NO SHOW］ボタンを同時に約 10 秒押す。
② ［RESET/ON/ALL-OFF］スイッチの［RESET］を選択する。(このとき、リモコンコードも「1」に戻ります。)



プレゼンテーションボタン

MENU ボタン

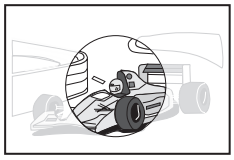
NO SHOW ボタン

［MENU］ボタンと［NO SHOW］ボタンを同時に 10 秒押します。

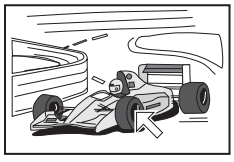
LASER ボタン

レーザポインタ機能からポインタ機能に切り替わると、［LASER］ボタンはポインタ機能の ON-OFF スイッチになります。リモコンをプロジェクターへ向け、［LASER］ ボタンを押し、ボタンが緑に点灯するか確認してください。

スポットライト



ポインタ



スポットライト・ポインタの大きさや形を選ぶことができます。 ☞59 ページ

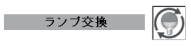
・スポットライト：大・中・小
・ポインタ：指先・矢印・ドット (赤い点)

保守とお手入れ

ランプの交換

[LAMP REPLACE] インジケータと [ランプ交換] 表示について

［LAMP REPLACE］インジケータ (黄) の点灯は、ランプ交換時期の目安です。［LAMP REPLACE］インジケータが点灯したときは、ランプをすみやかに交換してください。ランプカウンターをリセットするまで電源「ON(入)」 のときに点灯します。なお、点灯する前に寿命が尽きる場合もあります。
また、画面右上に現れる「ランプ交換」表示でもランプ交換時期をお知らせします。アイコンのみの場合は交換時期が迫っていることを表します。右図の「ランプ交換」表示に変わったあとは、ランプをすみやかに交換してください。65 ページ



「ランプ交換」の表示

ランプ交換のしかた

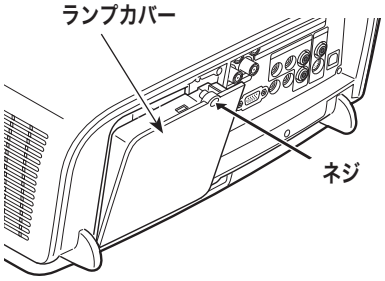
ランプの交換はランプハウスごと行ないます。必ず指定のランプハウスを取りつけてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

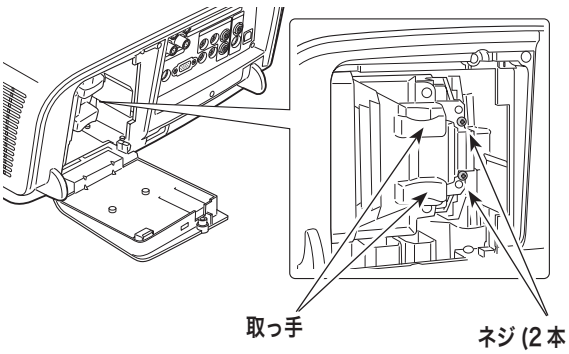
・交換ランプの品番： POA-LMP116　　(サービス部品コード：610 335 8093)
・プロジェクターの品番： LC-XG400D

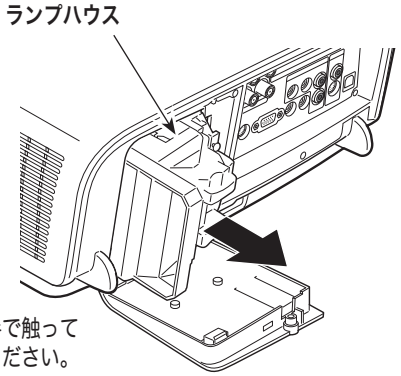
⚠ 注意

動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45 分以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。

1. 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず 45 分以上放置してください。
2. (+) ドライバーで 1 本ネジをゆるめてランプカバーを外します。
3. ランプハウスの 2 本のネジをゆるめ、取っ手を持ってランプハウスごと引き出します。
   - 右図で示したネジ 2 本以外、はずさないでください。
4. 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2 本のネジを締めて固定します。
5. ランプカバーを取り付け、ネジを締めて固定します。







ガラス面を手で触って汚さないでください。

ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると［LAMP REPLACE］インジケータ (黄) の点灯、および「ランプ交換」表示が消えます。
ランプカウンターのリセットのしかたは、「セッティング」メニュー内の「ランプカウンター」を参照ください。
65 ページ

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズキャップをはめ、ケースなどに納めて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで ●

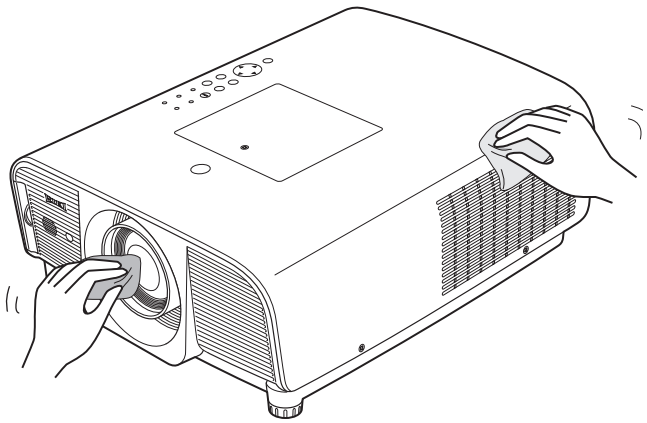
ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブロワーブラシやレンズクリーナー (カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー) で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

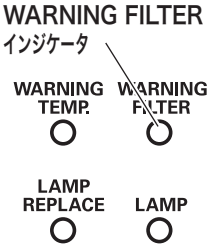
● エアフィルターのお手入れ ●

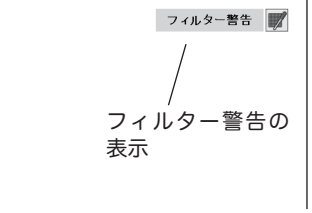
吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。(掃除のしかたは 、次ページを参照)



WARNING FILTER インジケータと「フィルター警告」表示について

[WARNING FILTER] インジケータ (橙) の点灯・点滅は、エアフィルターのお掃除時期の目安です。☞75 ページ
また、「フィルター警告」表示でもエアフィルターのお掃除時期をお知らせします。「フィルターカウンター」でお掃除周期を設定しその時間に達すると表示する黄色の警告と、エアフィルターの目詰まりを検知して表示する赤色の警告の２種類があります。☞66、75 ページ





エアフィルターはこまめに掃除してください

エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターや吸気口にホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇をまねいて故障の原因になります。エアフィルターや吸気口は、こまめに掃除してください。

1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。掃除は必ず電源を切ってから行なってください。

2 プロジェクター全体と通気口の周りのホコリをブラシなどで取ります。

3 フィルターカバーのツメに指をかけてエアフィルターをはずします。

4 エアフィルターのホコリをブラシなどで取ります。

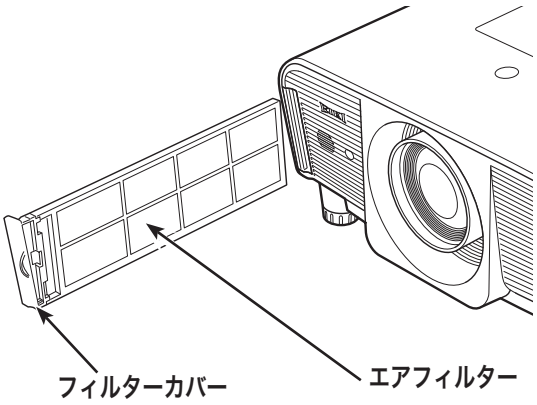
- エアフィルターの汚れがひどいときは、掃除機などでホコリを取りのぞいてください。(水洗いはしないでください)
- それでも汚れが取れないときや、シートが古くなったときは、エアフィルターを新しいものと交換してください。取り替え用エアフィルター (別売) は、お買い上げの販売店にご相談ください。

取り替え用エアフィルターの品番 ： AF-XG300A

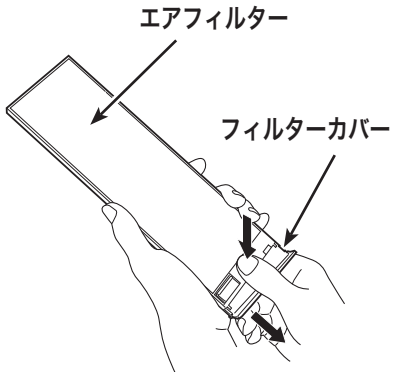
5 エアフィルターを取り付けます。

6 エアフィルター交換後は必ずフィルターカウンターをリセットしてくだい。リセットすると [WARNING FILTER] インジケータの点灯､および｢フィルター警告」表示が消えます。
フィルターカウンターのリセットのしかたは、「セッティング」メニュー内の「フィルターカウンター」を参照ください。☞66 ページ

※ 赤色の「フィルター警告」表示は、エアフィルターの目詰まりが解消すれば、消えます。



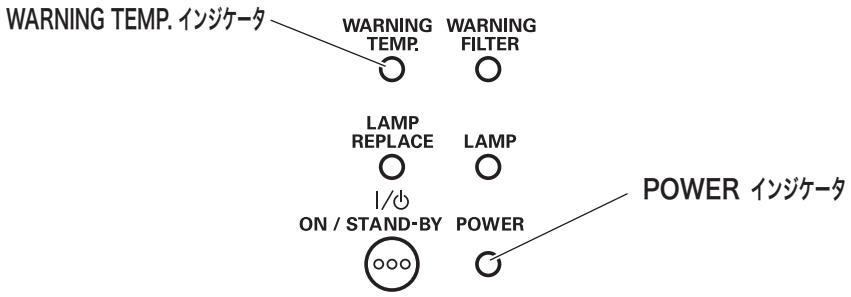
エアフィルターとフィルターカバーを分けるときは、フィルターカバー中央のへこみを指で押さえながら引き離します。



●お掃除の際にご注意ください●

- エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

内部の温度上昇について



［WARNING TEMP.］インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると［WARNING TEMP.］インジケータ (赤) が低速で点滅しはじめます。
さらに温度が高くなると、保護のため自動的に電源が切れ、［WARNING TEMP.］インジケータ が高速の点滅に変わり、[LAMP] インジケータ (赤) が消え、［POWER］インジケータ (緑) が点滅します。（[WARNING TEMP.] インジケータも点滅を続けます。）温度が下がると ［POWER］インジケータが点灯し、リモコンまたは本体の［ON/STAND-BY］ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると［WARNING TEMP.］インジケータの点滅が消えます。［WARNING TEMP.］インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

ここを確認してください

- 側面のエアフィルターにホコリがたまっていませんか。エアフィルターを掃除してください。
- 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。（使用温度範囲：5℃～ 35℃）
- 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

電源を入れるときは、［POWER］インジケータが点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び［WARNING TEMP.］インジケータが点滅して電源が切れます。

プロジェクターの電源が切れ、全てのインジケータ が点滅しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、全てのインジケータが点滅を始めます。このとき、リモコンおよび本体の［ON/STAND-BY］ボタンでの電源入り切りはできなくなります。
このような時は、電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れなおしプロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れ、全てのインジケータが点滅する場合、プロジェクターの点検をお買い上げの販売店、または修理相談窓口にご依頼ください。電源コンセントを接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは、下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。
また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

WARNING TEMP. インジケータ

インジケータ			プロジェクターの状態
POWER 緑	LAMP 赤	WARNING TEMP. 赤	
●	●	●	電源コードがコンセントから抜けています。
◯	●	●	ランプの冷却中です。[POWER] インジケータが点灯に変わるまで、［ON/STAND-BY］ボタンを押して始動することはできません。
◯	●	●	プロジェクターはスタンバイ状態です。［ON/STAND-BY］ボタンを押すと動作します。
◯	◯	●	プロジェクターは正常に動作しています。
◯	◯	●	パワーマネージメントモードになっています。プロジェクターを操作すると、ランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。
◯	◯	◯	プロジェクターの内部温度が高くなると、[WARNING TEMP.] インジケータが低速で点滅を始めます。
◯	●	◯	プロジェクターの内部温度がさらに高くなると、[WARNING TEMP.] インジケータが高速の点滅に変わり [LAMP] インジケータが消え、自動的に電源が切れます。［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、［POWER］インジケータが点灯に変わります。［ON/STAND-BY］ボタンを押してプロジェクターを始動することができます。（［WARNING］インジケータは点滅したままです。）エアフィルターの点検などを行なってください。
◯	●	◯	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。［ON/STAND-BY］ボタンを押すと、［WARNING TEMP.］インジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行なってください。
POWER、LAMP、WARNING FILTER、LAMP REPLACE 全インジケータが同時に点滅する。		◯	プロジェクターの内部に異常が検出されました。［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。一度電源コードをコンセントから抜き、電源を入れなおしてください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理をお客様相談センターへご依頼ください。点灯したままで放置しないでください。火災や感電の原因となります。

インジケータの状態　◯・・・点灯　◯・・・点滅　●・・・消灯

WARNING FILTER インジケータ、および「フィルター警告」画面表示

インジケータ			プロジェクターの状態
POWER 緑	LAMP 赤	WARNING FILTER 橙	
○	○	↯ ○	エアフィルターの目詰まりを検知しました。ただちにご使用を中止して、エアフィルターの掃除または交換を行ってください。フィルターの目詰まりが解消すれば、[WARNING FILTER] インジケータは消えます。
(赤) フィルター警告			同上（電源オン時、またはインプット切り替え時に、画面に表示されます。）
–	–	○	「フィルターカウンター」のタイマーで設定した時間が経過しました。なるべく早くエアフィルターの掃除または交換を行ない、フィルターカウンターをリセットしてください。
(黄) フィルター警告			同上（電源オン時、またはインプット切り替え時に、画面に表示されます。）

LAMP REPLACE インジケータ、および「ランプ交換」画面表示

インジケータ			プロジェクターの状態
POWER 緑	LAMP 赤	LAMP REPLACE 黄	
↯ ○	●	↯ ○	ランプが点灯しません。（ランプの冷却中です。[POWER] インジケータが再度点灯した後、[ON/STAND-BY] ボタンを押してください。）
○	●	↯ ○	ランプが点灯しません。（ランプの冷却中が完了しました。[ON/STAND-BY] ボタンを押してください。）
–	–	○	ランプ交換推奨時間が既に経過し、ランプの寿命です。速やかにランプを交換した後、ランプカウンターをリセットしてください。リセット後、[LAMP REPLACE] インジケータは消えます。
			ランプ交換推奨時間まで 100 時間未満となりました。なるべく早くランプを交換した後、ランプカウンターをリセットしてください。リセット後、画面表示は消えます。（電源オン時、またはインプット切り替え時に、画面に表示されます。）
ランプ交換			ランプ交換推奨時間が既に経過し、ランプの寿命です。速やかにランプを交換した後、ランプカウンターをリセットしてください。リセット後、画面表示は消えます。（電源オン時、またはインプット切り替え時に、画面に表示されます。）

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、つぎのことをお確かめください。また、「インフォメーション」メニューで、信号の状況やセッティングの状況をお確かめください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源・初期設定	電源が入らない	● 電源コードは接続されていますか。 ● 電源は入っていますか。[ON/STAND-BY] ボタンを押してみてください。 ● [POWER] インジケータが消えているとき、または低速点滅しているときは、[ON/STAND-BY] ボタンを押しても電源が 入りません。 ● [WARNING TEMP.] インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、[ON/STAND-BY] ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が 下がるまでお待ちください。 ● 「キーロック」がはたらいていませんか。リモコンの [ON/STAND-BY] ボタンを押してみてください。	28 30 74 74 62
	電源を入れたら、暗証番号を要求された	● 「暗証番号ロック」が設定されています。登録した（または工場出荷時の）暗証番号を入力してください。解除、または設定の変更は「セッティング」の「暗証番号ロック」を確認してください。	62～64
オープニング	オープニング画面が出ない	● 「オンスクリーン表示」が「オフ」または「カウントダウンオフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	60
	オープニング画面が初期設定の画像とちがう	● 「ロゴ」が「ユーザー」または「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	56
	インプットモードとランプモード以外の表示が現れた	● ランプまたはエアフィルターの状態をお知らせしています。ランプまたはエアフィルターを確認してください。	30、65～66
画像・画質	画像が映らない	● コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。 ● 電源を入れたあと約 30 秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。（「オンスクリーン表示・オフ」、「カウントダウン・オフ」のときをのぞく） ● レンズキャップをとりましたか。 ● コンピュータモードのときはコンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。 ● 使用温度範囲（5℃～ 35℃）からはずれていませんか。 ● 「NO SHOW」モードになっていませんか。リモコンの [NO SHOW] ボタンを押してみてください。 ● コンピュータが外部出力に切り換わっていますか。出力の切換はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。	25～27 42～43 36
	画像が不鮮明	● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。 ● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。 ● スクリーンに対して過度に斜めに投影しているときは、画面に台形ひずみ（あおり）ができ、 部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。 ● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。 ● レンズシフト機能で画面位置を変えたときは、多少画面が暗くなることがあります。	33 23 24 33
	画面が暗い	● 「コントラスト」や「明るさ」が、正しく調整されていますか。調整してみてください。 ● 「イメージモード」が、正しく選択されていますか。「イメージ選択」メニューを確認してみてください。 ● 「ランプコントロール」が、正しく選択されていますか。「エコモード」は暗くなります。 ● ランプ交換時期が来ていませんか。ランプの輝度は寿命が近づくにつれじょじよに暗くなる性質があります。「ランプ交換」のお知らせ表示でランプ交換時期をお知らせします。表示が出たら、新しいランプに交換してください。	48 47 59 65、70、75
	画像の色がおかしい	● 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、または、コンピュータのシステムモードは合っていますか。また、「イメージ調整」を確認してください。	42～43 48～49
	逆さまに映っている	● 「リア投映」や「天吊り」機能が「オン」になっていませんか。「スクリーン」メニューを確認してください。	54
	画像がゆがんだり切れたりする	● 「PC 調整」や「スクリーン」メニューを確認・調整してください。	45～46 50～53
	画像の端がゆがんで見える	● 「レンズシフト」を最大まで動かしていませんか。「レンズシフト」を確認してください。	33

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
音声	音が出ない	● コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。 ● 音量が最小になっていませんか。[VOLUME +] ボタンを押してみてください。 ● 消音状態になっていませんか。[MUTE] ボタンを押すか、[VOLUME +] ボタンを押してみてください。 ● [AUDIO OUT] 端子にプラグが接続されていませんか。[AUDIO OUT] 端子にプラグが接続されていると内蔵スピーカから音は出ません。	25～27 37 37 25～27
PC調整	自動 PC 調整が働かない	● 入力信号を確認してください。入力信号がデジタルのときは選択できません。	44
	画像がゆがんだり切れたりする	● 「PC 調整」や「スクリーン」メニューを確認・調整してください。	45～46 50～53
設定・操作・調整	表示されない機能がある	● 「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	60
	電源を切る前の設定が残っていない	● 項目の調整後「メモリー登録」を実行しましたか。「メモリー」で登録しないと保存されない項目があります。	45、48
	「パワーマネージメント」が働かない	● 「FREEZE」、「NO SHOW」が動作中は「パワーマネージメント」は作動しません。	60
	「キャプチャー」が働かない	● 無信号状態ではないですか。接続を確認してください。	56
	選択できないメニューがある	● ビデオ入力画面とコンピュータ入力画面では、選択できるメニューにそれぞれ制限があります。	39
リモコン	リモコンで操作できない	● 電池は正しく入っていますか。＋－を正しく入れてください。 ● 電池がなくなっていませんか。新しい電池と交換してください。 ● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。 ● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。 ● リモコンの［ALL OFF］スイッチが、「ON」側になっているか確認してください。 ● リモコンコードを切り替えていませんか。リモコンコードを確認してください。 ● 「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。操作パネルから「セッティング」を確認してください。 ● 「リモコン受光部」を前面または後面いずれか単独にセットしていませんか。 ● ワイヤードリモコンケーブルが本体またはリモコンに接続されていませんか。いずれかにケーブルが接続されているとワイヤレスリモコンとして機能しません。	20 20 21 21 18 20、59 62 60 21
	コンピュータのワイヤレスマウスとして動作しない	● 接続するコンピュータににマウスドライバがインストールされていますか。ワイヤレスマウスとして使うにはコンピュータにマウスドライバがインストールされている必要があります。 ● 一旦電源を切り、プロジェクターの電源を先に入れてからコンピュータを立ち上げてみてください。	68
その他	インジケータが点滅・点灯している	● 「インジケータ表示とプロジェクターの状態」で、プロジェクターの動作を確認してください。	74、75
	キーロックの解除ができない / ロゴ暗証番号・暗証番号を忘れた	● お手数ですが、お買い上げの販売店または修理相談窓口へご相談ください。	
	ボタンを押したのに「!」マークが表示された	● プロジェクターがその操作を受け付けられないことをお知らせする表示です。接続や入力信号などを確認してみてください。	

コンピュータシステムモード一覧

コンピュータの信号がデジタルの場合

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。（「カスタムモード 1 ～ 10 」は含みません。）接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード 画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA 1	640x480	31.47	59.88
VGA 2	720x400	31.47	70.09
VGA 3	640x400	31.47	70.09
VGA 4	640x480	37.86	74.38
VGA 5	640x480	37.86	72.81
VGA 6	640x480	37.50	75.00
VGA 7	640x480	43.269	85.00
MAC LC13	640x480	34.97	66.60
MAC 13	640x480	35.00	66.67
480p	640x480	31.47	59.88
575p	768x575	31.25	50.00
575i	768x576	15.625	50.00 (インターレース)
480i	640x480	15.734	60.00 (インターレース)
SVGA 1	800x600	35.156	56.25
SVGA 2	800x600	37.88	60.32
SVGA 3	800x600	46.875	75.00
SVGA 4	800x600	53.674	85.06
SVGA 5	800x600	48.08	72.19
SVGA 6	800x600	37.90	61.03
SVGA 7	800x600	34.50	55.38
SVGA 8	800x600	38.00	60.51
SVGA 9	800x600	38.60	60.31
SVGA 10	800x600	32.70	51.09
SVGA 11	800x600	38.00	60.51
MAC 16	832x624	49.72	74.55
XGA 1	1024x768	48.36	60.00
XGA 2	1024x768	68.677	84.997
XGA 3	1024x768	60.023	75.03
XGA 4	1024x768	56.476	70.07
XGA 5	1024x768	60.31	74.92
XGA 6	1024x768	48.50	60.02
XGA 7	1024x768	44.00	54.58
XGA 8	1024x768	63.48	79.35
XGA 9	1024x768	36.00	87.17 (インターレース)
XGA 10	1024x768	62.04	77.07
XGA 11	1024x768	61.00	75.70
XGA 12	1024x768	35.522	86.96 (インターレース)
XGA 13	1024x768	46.90	58.20
XGA 14	1024x768	47.00	58.30
XGA 15	1024x768	58.03	72.00
MAC 19	1024x768	60.24	75.08
SXGA 1	1152x864	64.20	70.40
SXGA 2	1280x1024	62.50	58.60
SXGA 3	1280x1024	63.90	60.00

システムモード 画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	
SXGA 4	1280x1024	63.34	59.98	
SXGA 5	1280x1024	63.74	60.01	
SXGA 6	1280x1024	71.69	67.19	
SXGA 7	1280x1024	81.13	76.107	
SXGA 8	1280x1024	63.98	60.02	
SXGA 9	1280x1024	79.976	75.025	
SXGA 10	1280x960	60.00	60.00	
SXGA 11	1152x900	61.20	65.20	
SXGA 12	1152x900	71.40	75.60	
SXGA 13	1280x1024	50.00	86.00 (インターレース)	
SXGA 14	1280x1024	50.00	94.00 (インターレース)	
SXGA 15	1280x1024	63.37	60.01	
SXGA 16	1280x1024	76.97	72.00	
SXGA 17	1152x900	61.85	66.00	
SXGA 18	1280x1024	46.43	86.70 (インターレース)	
SXGA 19	1280x1024	63.79	60.18	
SXGA 20	1280x1024	91.146	85.024	
SXGA+ 1	1400x1050	63.97	60.19	
SXGA+ 2	1400x1050	65.35	60.12	
SXGA+ 3	1400x1050	65.12	59.90	
MAC 21	1152x870	68.68	75.06	
MAC	1280x960	75.00	75.08	
MAC	1280x1024	80.00	75.08	
WXGA 1	1366x768	48.36	60.00	
WXGA 2	1360x768	47.70	60.00	
WXGA 3	1376x768	48.36	60.00	
WXGA 4	1360x768	56.16	72.00	
WXGA 6	1280x768	47.776	59.87	
WXGA 7	1280x768	60.289	74.893	
WXGA 8	1280x768	68.633	84.837	
UXGA 1	1600x1200	75.00	60.00	*1
UXGA 2	1600x1200	81.25	65.00	*1
UXGA 3	1600x1200	87.50	70.00	*1
UXGA 4	1600x1200	93.75	75.00	*1
UXGA 5	1600x1200	106.25	85.00	*1
720p	1280x720	45.00	60.00	
720p	1280x720	ーーーーー	50.00	
1035i	1920x1035	33.75	60.00 (インターレース)	
1080i/60	1920x1080	33.75	60.00 (インターレース)	
1080i/50	1920x1080	28.125	50.00 (インターレース)	

コンピュータの信号がデジタルの場合

DVI 入力端子からデジタル信号を入力する場合、以下のシステムモードに対応しています。

システムモード 画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
D-VGA	640x480	31.47	59.94
D-480p	720x480	31.47	59.88
D-575p	768x575	31.25	50.00
D-SVGA	800x600	37.879	60.32
D-XGA	1024x768	43.363	60.00
D-WXGA 1	1366x768	48.36	60.00
D-WXGA 2	1360x768	47.70	60.00
D-WXGA 3	1376x768	48.36	60.00
D-WXGA 4	1360x768	56.16	72.00
D-WXGA 5	1366x768	46.50	50.00
D-WXGA 6	1280x768	47.776	59.87
D-WXGA 7	1280x768	60.289	74.893

システムモード 画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	
D-SXGA 1	1280x1024	63.98	60.02	*1
D-SXGA 2	1280x1024	60.276	58.069	
D-SXGA 3	1280x1024	31.65	29.80	
D-SXGA+ 1	1400x1050	63.97	60.19	*1
D-720p	1280x720	45.00	60.00	
D-1035i	1920x1035	33.75	60.00 (インターレース)	
D-1080i	1920x1080	33.75	60.00 (インターレース)	
D-1080i	1920x1080	28.125	50.00 (インターレース)	

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。
※ ドットクロックが 140MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。
※ ご使用のコンピュータによっては、D-SXGA 1 および D-SXGA 2、D-SXGA 3 の画像は正しく映らない場合があります。
※ SXGA、WXGA、UXGA、MAC21、MAC、720p、1035i、1080i の信号を投影するときは、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

*1：「PC 調整」メニュー内で調整できないメニューが生じる場合があります。

メニュー内容一覧

コンピュータ / ビデオ　インプット

- **インプット**
  - インプット 1
    - RGB (PC アナログ) → システム (1)
    - RGB (Scart)
    - RGB (PC デジタル)
    - RGB (AV HDCP)
    - 戻る
  - インプット 2
    - RGB → システム (1)
    - Video → システム (3)
    - Component → システム (2)
    - 戻る
  - インプット 3
    - Auto → システム (3)
    - Video → システム (3)
    - S-video → システム (3)
    - 戻る

サウンド

- **サウンド**
  - 音量 — 0 - 63
  - 消音 — オン / オフ
  - 戻る

インフォメーション

- **インフォメーション**
  - インプット
  - 水平周波数
  - 垂直周波数
  - スクリーン
  - 言語
  - ランプ状態
  - パワーマネージメント
  - セキュリティ
    - キーロック
    - 暗証番号ロック
  - リモコンコード

コンピュータ入力

SVGA 1

- **システム** (1)
  - モード 1
  - モード 2
  - XGA 1
  - - - - -

＊ 表示される内容は入力された信号によって異なります。

- **PC 調整**
  - 自動 PC 調整
  - トラッキング — 0 - 31
  - 総ドット数
  - 水平位置
  - 垂直位置
  - コンピュータ情報
    - 水平周波数
    - 垂直周波数
    - 戻る
  - クランプ
  - 画面領域 H
  - 画面領域 V
  - リセット — はい / いいえ
  - データ消去
    - モード 1
    - モード 2
    - :
    - モード 10
    - 戻る
  - メモリー
    - モード 1
    - モード 2
    - :
    - モード 10
    - 戻る
  - 戻る

- **イメージ選択**
  - ダイナミック
  - 標準
  - リアル
  - イメージ 1
  - イメージ 2
  - イメージ 3
  - イメージ 4

- **イメージ調整**
  - コントラスト — 0 - 63
  - 明るさ — 0 - 63
  - 色温度 — 高 / 中 / 低 / 超低 / 調整中
  - 赤 — 0 - 63
  - 緑 — 0 - 63
  - 青 — 0 - 63
  - 画質 — 0 - 15
  - ガンマ補正 — 0 - 15
  - リセット — はい / いいえ
  - メモリー
    - イメージ 1
    - イメージ 2
    - イメージ 3
    - イメージ 4
    - 戻る
  - 戻る

- **スクリーン**
  - ノーマル
  - リアル
  - ワイド
  - フルスクリーン
  - カスタム — スケール / H & V / ポジション / 共通 / リセット
  - デジタルズーム +
  - デジタルズーム –
  - キーストーン
    - メモリー
    - リセット
  - 天吊り — オン / オフ
  - リア投映 — オン / オフ

ビデオ入力

Auto

システム (2)
- Auto
- 1080i
- 1035i
- 720p
- 575p
- 480p
- 575i
- 480i

Auto

システム (3)
- Auto
- PAL
- SECAM
- NTSC
- NTSC 4.43
- PAL-M
- PAL-N

イメージ選択
- ダイナミック
- 標準
- シネマ
- イメージ 1
- イメージ 2
- イメージ 3
- イメージ 4

イメージ調整
- コントラスト — 0 - 63
- 明るさ — 0 - 63
- 色の濃さ — 0 - 63
- 色合い — 0 - 63
- 色温度 — 高 / 中 / 低 / 超低 / 調整中
- 赤 — 0 - 63
- 緑 — 0 - 63
- 青 — 0 - 63
- 画質 — 0 - 15
- ガンマ補正 — 0 - 15
- ノイズリダクション — オフ / L1 / L2
- プログレッシブ — オフ / L1 / L2 / フィルム
- リセット — はい / いいえ
- メモリー
  - イメージ 1
  - イメージ 2
  - イメージ 3
  - イメージ 4
  - 戻る
- 戻る

スクリーン
- ノーマル
- ワイド
- カスタム — スケール / H & V / ポジション / 共通 / リセット
- キーストーン
  - リセット
  - メモリー
- 天吊り — オン / オフ
- リア投映 — オン / オフ

セッティング

セッティング
- 言語
  - 英語
  - ドイツ語
  - フランス語
  - イタリア語
  - スペイン語
  - ポルトガル語
  - オランダ語
  - スウェーデン語
  - ロシア語
  - 中国語
  - 韓国語
  - 日本語
  - 戻る
- ロゴ
  - ロゴ選択 — オフ / 初期設定 / ユーザー
  - キャプチャー — はい / いいえ
  - ロゴ暗証番号ロック
    - オン / オフ
    - ロゴ暗証番号変更
    - 戻る
  - 戻る
- バックグラウンド — 青 / ユーザー / 黒
- ランプコントロール — オート 1/ オート 2/ ハイ / ノーマル / エコ 1/ エコ 2
- ポインタ
  - スポットライト / ポインタ
  - 戻る
- リモコンコード
  - コード 1 ～ 8
  - 戻る
- リモコン受光部 — 両方 / 前 / 後
- オンスクリーン表示 — オン / カウントダウンオフ / オフ
- パワーマネージメント
  - オフ / 待機 / シャットダウン
  - 1 ～ 30（タイマー：分）
  - 戻る
- オンスタート — オン / オフ
- ファン制御
  - 傾斜設定 — オフ / L1/L2
  - 高地設定 — オン / オフ
- セキュリティ
  - キーロック
    - オフ
    - プロジェクター (全部)
    - プロジェクター (一部)
    - リモコン (全部)
    - リモコン (一部)
  - 暗証番号ロック
    - オフ / オン 1 / オン 2
    - 暗証番号変更
  - 戻る
- テストパターン
  - ８種類のパターン
  - 戻る
- 警告履歴
- ランプカウンター
  - 時間（使用時間）
  - リセット — はい / いいえ
  - 戻る
- フィルターカウンター
  - 時間（使用時間）
  - オフ /100/200/300(タイマー:時間)
  - リセット — はい / いいえ
  - 戻る
- 初期設定 — はい / いいえ
- 戻る

仕　様

プロジェクター本体

型　　名	LC-XG400D/XG400DL
種　　類	液晶プロジェクター
表 示 方 式	液晶パネル 3 枚 3 原色光シャッター方式
液晶パネル	サイズ : 0.99 型 x 3
	アスペクト比 4:3 駆動方式 : ポリシリコン TFT アクティブマトリクス方式 画素配列 : ストライプ、画素数 :786,432 画素 (1,024 × 768) × 3 枚 総画素数 2,359,296 画素
レンズ	1.3 倍ズームレンズ F= 1.7 ～ 2.1 f= 33 ～ 43 mm (LC-XG400D)
光　　源	330W NSH ランプ
画面サイズ (投影距離)	最小 30 ～ 最大 300 型 (1.2m ～ 10.0m) (LC-XG400D)
ズーム / フォーカス調整	電動
入出力 コンピュータ	 DVI 入力 (1 系統):DVI-D コネクター (24 ピン) デジタル :TMDS (Transition Minimized Differential Signaling) アナログ RGB 入力 (入力 2 系統): ミニ D-sub_15 ピン、BNC x 5 ピン アナログ RGB 信号 :0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75 Ω 水平・垂直同期 :TTL レベル、負または正極性 (G 信号中のコンポジット同期 :0.3Vp-p、負極性、インピーダンス 75 Ω) アナログ RGB 出力 (出力 1 系統): ミニ D-sub_15 ピン
ビ デ オ	ビデオ入力 (3 系統) 映像 : ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω S 映像 : セパレート YC 信号、ミニ DIN_4 ピン Y;1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω C;0.286Vp-p (バースト信号)、インピーダンス 75 Ω コンポーネント : セパレート Y Cb/Pb Cr/Pr 信号、BNC x 5 ピン Y;1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω Cb/Pb;0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω Cr/Pr;0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω
音　声	音声入力 (2 系統): ミニジャック (ステレオ)、400mVrms、インピーダンス 47K Ω以上 音声入力 (1 系統): ピンジャック、400mVrms、インピーダンス 47K Ω以上 (左モノ : 右) 音声モニター出力 (コンピュータ / ビデオ兼用): ミニジャック (ステレオ)、可変出力、インピーダンス 1K Ω以下
制御入出力、他	コントロールポート : ミニ DIN 8 ピン USB 端子 :USB コネクター (1 系統、シリーズ B) ワイヤード リモコン端子 : ミニジャック PJ-to NetDirector コネクター
走査周波数	水平 _15K ～ 100KHz、垂直 _50 ～ 100Hz
カラーシステム	6 システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)
音声出力	モノラル 1W (JEITA)
スピーカ	2.8 cm 円形 1 個
電　　源	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	500W、12W (待機中消費電力)
本 体 寸 法	幅 348.1 ×高さ 156.5 ×奥行 444 mm (突起物を含まず)
質　　量	8.9 Kg (LC-XG400D)、8.1 Kg (LC-XG400DL)

※ 高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 適合品

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。投影中 0.01 % 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

リモコン

電源	DC3.0V　単四形アルカリ乾電池 2 本使用
到達距離	約 5m (受信部正面)
本体寸法	幅 45 ×高さ 25 ×奥行 145mm
質量	99g (電池を含む)
レーザーポインタレーザ出力 (IEC60825-1, Am.1997)	クラス 2 レーザ製品 最大出力：1 mW 波　　長：640 ～ 660 nm

付属品

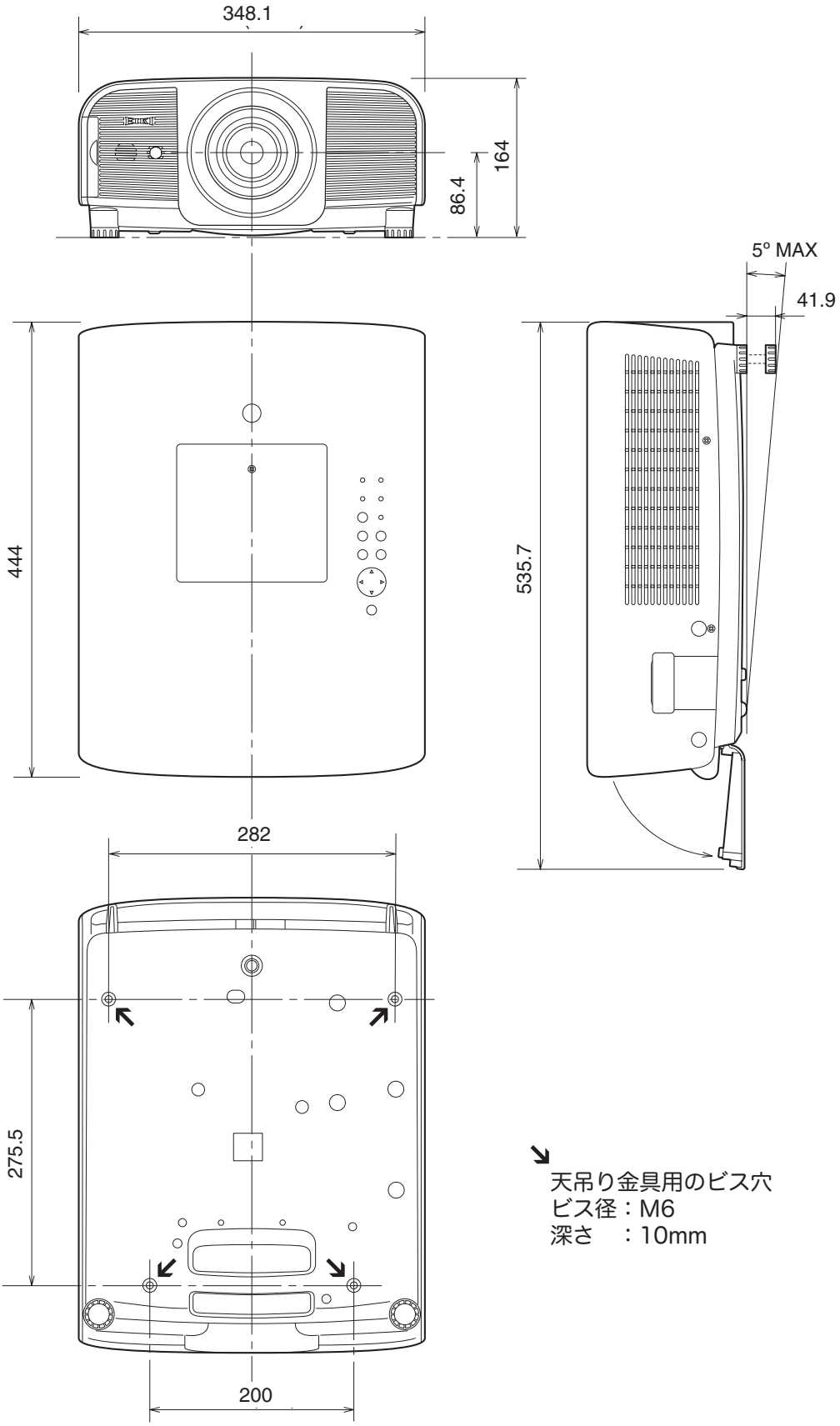
- ■ リモコン（CXWC）・・ 1 個
- ■ リモコン用 アルカリ乾電池・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 本
- ■ 電源コード ・・・ 1 本
- ■ 電源プラグアダプタ ・・・ 1 個
- ■ コンピュータ接続ケーブル（D-sub 用）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 本
- ■ USB ケーブル・・ 1 本
- ■ シリアルコントロールケーブル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 本
- ■ リモコン接続ケーブル ・・・ 1 本
- ■ 取扱説明書 ・・ 1 冊
- ■ 保証書
- ■ 保証登録書（はがき）
- ■ PIN code lock シール ・・・ 1 枚
- ■ レンズキャップ (LC-XG400D) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 個
- ■ レンズカバー (LC-XG400DL、本体に装着)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 個

別売品

- ■ **長焦点ズームレンズ ・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：AH-23541**
- ■ **長焦点ズームレンズ ・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：AH-23661**
- ■ **短焦点ズームレンズ ・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：AH-23511**
- ■ **固定・短焦点レンズ ・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：AH-23631**
- ■ **PJ-to NetDirector・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：PjNET-30**

※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

寸法図


348.1
164
86.4
5° MAX
41.9
444
535.7
282
275.5
200
天吊り金具用のビス穴
ビス径：M6
深さ　：10mm

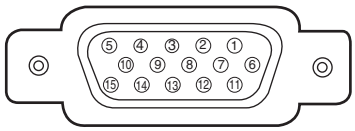
単位： mm

端子の仕様

ANALOG IN / ANALOG OUT（コンピュータ アナログ入力 / アナログ出力端子）

コンピュータからのアナログ RGB 出力を接続したり、コンピュータへアナログ RGB 出力を出したりする端子です。接続には、コンピュータ接続ケーブル（D-sub 用）を使用します。

ミニ D-sub 15 ピン

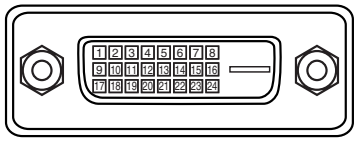


1	R 入出力	9	+5V パワー / 未接続
2	G 入出力	10	接地（垂直同期）
3	B 入出力	11	接地 / 未接続
4	未接続	12	DDC データ / 未接続
5	接地（水平同期）	13	水平同期 入出力（ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ：水平垂直同期）
6	接地 (R)	14	垂直同期 入出力
7	接地 (G)	15	DDC クロック / 未接続
8	接地 (B)		

DIGITAL DVI-D（コンピュータ DVI-D 入力端子）

コンピュータからのデジタル (TMDS) 出力を接続する端子です。接続には、DVI 用コンピュータ接続ケーブル (別売) を使用します。

DVI 24 ピン

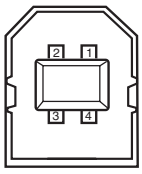


1	T.M.D.S. データ 2–	9	T.M.D.S. データ 1–	17	T.M.D.S. データ 0–
2	T.M.D.S. データ 2+	10	T.M.D.S. データ 1+	18	T.M.D.S. データ 0+
3	T.M.D.S. データ 2 シールド	11	T.M.D.S. データ 1 シールド	19	T.M.D.S. データ 0 シールド
4	未接続	12	未接続	20	未接続
5	未接続	13	未接続	21	未接続
6	DDC クロック	14	+5V パワー	22	T.M.D.S. クロック シールド
7	DDC データ	15	接地 (+5V)	23	T.M.D.S. クロック +
8	アナログ垂直同期	16	ホットプラグ検知	24	T.M.D.S. クロック –

USB（ユニバーサルシリアルバス端子）

USB 規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用する端子です。（シリーズ B）

USB コネクター（シリーズ B）

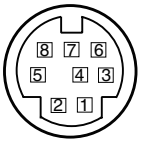


1	VCC(5V)
2	– DATA
3	+ DATA
4	接地

CONTROL PORT（コントロールポート端子）

シリアルでコンピュータ機器からプロジェクターを操作するときに、コンピュータ機器との接続に使用する端子です。

ミニ DIN 8 ピン



1	RXD	5	RTS/CTS
2	——	6	TXD
3	——	7	接地
4	接地	8	接地

暗証番号がわからなくなったとき

暗証番号を忘れるとプロジェクターの操作ができなくなります

暗証番号を忘れると、プロジェクターの操作ができなくなります。以下の記入欄に登録した暗証番号を書き留めておくことをおすすめします。ただし、第三者に見られたり、持ち出されたりしないように、取扱説明書は大切に保管してください。暗証番号がわからなくなってしまったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

暗証番号ロック
の暗証番号

工場出荷時の暗証番号： １２３４*

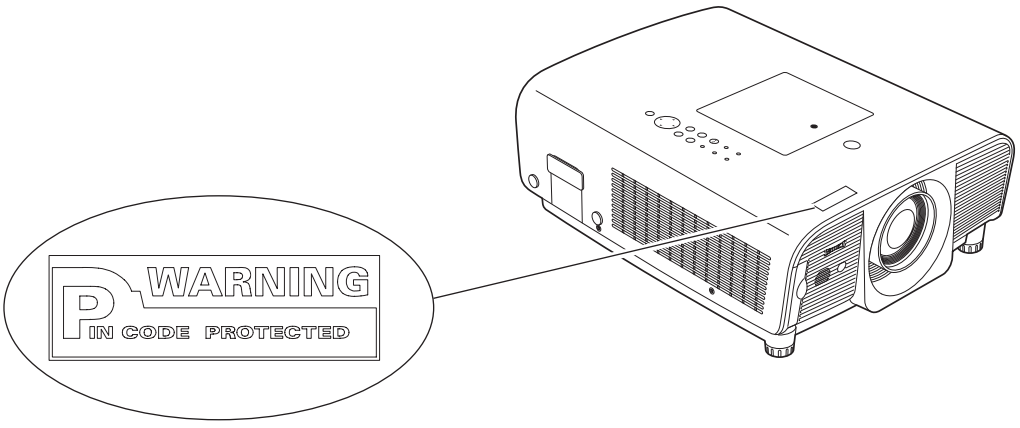
ロゴ暗証番号ロック
の暗証番号

工場出荷時の暗証番号： ４３２１*

* 暗証番号を変更された場合は、工場出荷時の暗証番号は無効になります。

暗証番号が登録されていることをシールでわかるようにしましょう

暗証番号を登録し、暗証番号を有効にしているとき、付属のシールを本体の目立つところへ貼り付けます。



PJ Link について

このプロジェクターは JBMIA(Japan Business Machine and Information System Industries Association：社団法人　ビジネス機械･情報システム産業協会) の PJLink 標準定義の Class1 に準拠しています。 このプロジェクターは、PJLink Class1 によって定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink 標準定義 Class1 との適合を検証しています。

プロジェクターの入力名		PJ Link	
		入力名	パラメータ
INPUT 1	RGB (PC Analog)	RGB 1	11
	RGB (Scart)	RGB 2	12
	RGB (PC Digital)	DIGITAL 1	31
	RGB (AV HDCP)	DIGITAL 2	32
INPUT 2	RGB	RGB 3	13
	Video	VIDEO 1	21
	Component	VIDEO 2	22
INPUT 3	Auto	VIDEO 3	23
	Video	VIDEO 4	24
	S-video	VIDEO 5	25
INPUT 4	Network	NETWORK 1	51

PJ Link について

2003 年 9 月、データプロジェクタ部会の中に、PJLink 分科会が設立されました。この PJLink 分科会の第 1 期の活動において、 プロジェクターの新たなインターフェース仕様として PJLink が規定されました。
PJLink はプロジェクターを操作・ 管理するための統一規格です。
メーカを問わずに、プロジェクターの集中管理やコントローラからの操作を実現します。
今後主流となるネットワーク経由のプロジェクター監視･制御において､早期の体系化を JBMIA による推進で実現し、ユーザの利便性をあげ、プロジェクターの普及促進を図ることを目的としています。

Class 1：プロジェクタの基本機能の制御・監視仕様を標準化
基本的なプロジェクタ制御：電源制御、入力切り替えなど
プロジェクタの各種情報・状態を取得：電源状態、入力切り替え状態、エラー状態、ランプ使用時間など

JBMIA：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会。
　　1960 年に発足した日本事務機械工業会が、2002 年 4 月 1 日より改称した団体です。

PJLink™ PJLink は JBMIA の登録商標です。

PJLink　サイト URL
　http://pjlink.jbmia.or.jp

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときのご注意

修理を依頼されるときはお買上の販売店に次のことをお知らせのうえ、修理をご依頼ください。

・ 品名、型名
・ 故障の症状
・ お名前、おところ

保証書について

保証期間はお買上日より１年間です。保証書の記載内容により修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

補修用性能部品について

補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。

※補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

映機工業株式会社

本　　社	〒530-0028	大阪市北区万才町 4 番 12 号（浪速ビル）	☎ (06)6311-9475（代表）
大阪営業所	〒664-0026	伊丹市寺本 6 丁目 23 番地	☎ (072)782-7491（代表）
東京支社	〒135-0042	東京都江東区木場 3 丁目 14 番 4 号（はが木場三ビル）	☎ (03)5621-3051（代表）
九州支社	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東 1 丁目 11 番 15 号（博多駅東口ビル）	☎ (092)431-0222（代表）
AV ｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ事業本部	〒664-0026	伊丹市寺本 6 丁目 23 番地	☎ (072)781-3861（代表）

1AA6P1P5441 – –　(KP3D)